第３章　事業者アンケート

１．実施概要

１.１ 調査の概要

仙台市では、令和7年度に仙台市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しを行うこととしており、近年のごみの排出状況や事業者の意見・要望等について、アンケートによる調査を実施した。

前々回調査を平成 26 年度、前回調査を令和元年度に実施しており、一部集計結果においては前々回調査及び前回調査との比較を行った。

(1) 調査の目的

仙台市では、一般廃棄物処理に係る基本的な方向性を定める「仙台市一般廃棄物処理基本計画」を令和 3 年 3 月に策定した。本調査では、同計画の策定から 5 年を経過した時点で行われる中間の見直しに向けた情報の収集を目的とし、ごみの排出状況、ごみの減量・リサイクル・現状での課題及び事業者の意向等を把握するため実施した。

(2) 調査項目

「回答者の属性について」、「ごみの排出について（産業廃棄物を除く）」、「ごみの減量・リサイクルの取り組み等について」、「食品廃棄物・食品ロスについて」、「プラスチックについて」、「紙類について」、「布類・衣類について」、「循環経済の実現に向けた取り組みについて」、「自由回答」の計 9 項目を調査した。

(3) 調査対象及び調査期間

調査対象、発送日、締切日、調査方法については以下の通り。

- 調査対象 ： 無作為に抽出された仙台市内の 3,500 事業所
- 発送日　　： 令和 6 年 11 月 7 日（木）
- 締切日　　： 令和 6 年 11 月 29 日（金）
- 調査方法 ： 郵送による発送、郵送回収・WEB 併用回収

(4) 調査結果の留意点

調査結果の留意点は以下の通り。

- 端数処理の関係から、割合の合計が 100%とならないことがある。
- 複数の選択肢を選択する問の割合は、設問項目毎の回答数を有効回答者で除したものとなっている。
- 自由回答については、主なものを掲載している。原則、回答通りに記載しているが、誤字・脱字等に関して、原文の表現を一部加工している。

１.２ 回答率

3,500 件の送付に対し、総回答数は 1,191 件（郵送回収：1,046 件、WEB 回収：145 件）で、回答率は 34.0%だった。

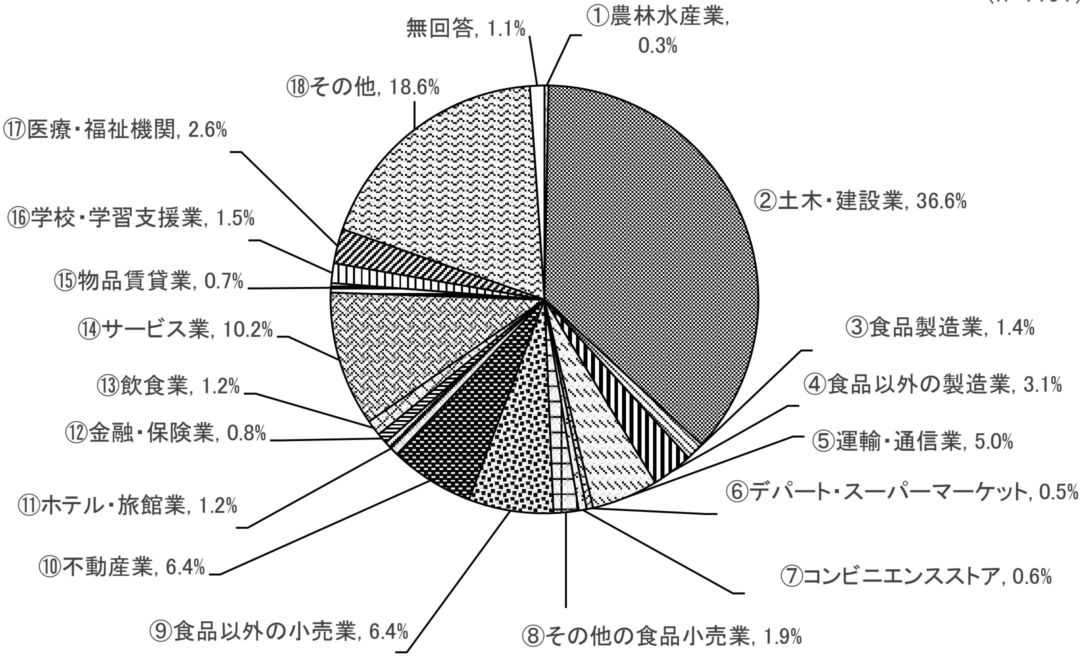
２．調査結果

２.１ 回答排出業者の属性

２.１.１ 業種

「②土木・建設業」の割合が最も高く 36.6%となっている。次いで、「⑱その他（18.6%）」、「⑭サービス業（10.2%）」となっている。

図表 137 業種



図表 138 業種(⑱その他の内訳)

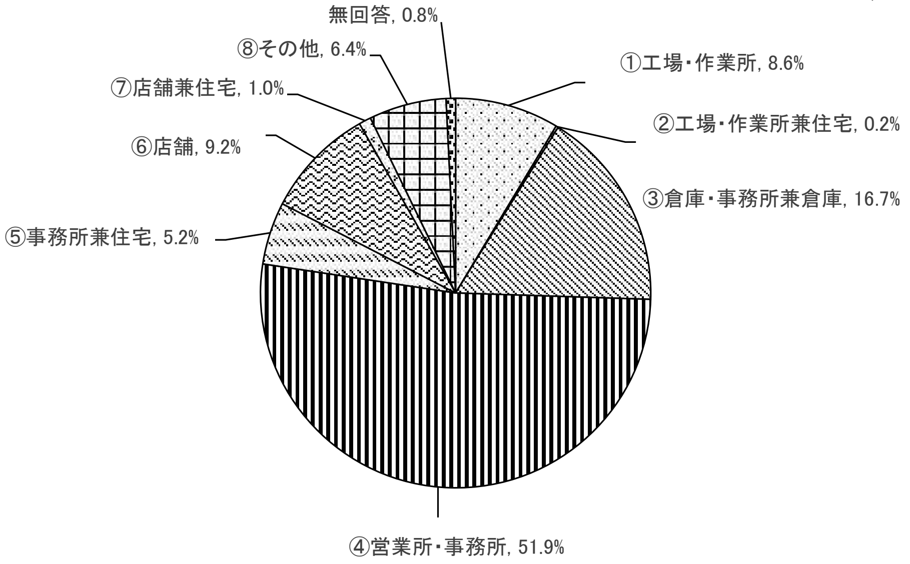
分類	件数	割合
卸売業	84	37.8%
販売業	15	6.8%
情報通信・ソフトウェア	10	4.5%
官公庁・行政機関	10	4.5%
不動産運用・管理	8	3.6%
廃棄物処理・リサイクル	8	3.6%
小売業	7	3.2%
製造業	6	2.7%
印刷	6	2.7%
広告業	3	1.4%
倉庫業	3	1.4%
商社	3	1.4%
建築・設計	2	0.9%
その他サービス業	22	9.9%
その他工事・検査等	14	6.3%
その他	15	6.8%
無回答	6	2.7%
合計	222	100.0%

2.1.2 事業者の形態

「④営業所・事務所」の割合が最も高く 51.9%となっている。次いで、「③倉庫・事務所兼倉庫（16.7%）」、「⑥店舗（9.2%）」となっている。

図表 139 事業者の形態

（n=1191）

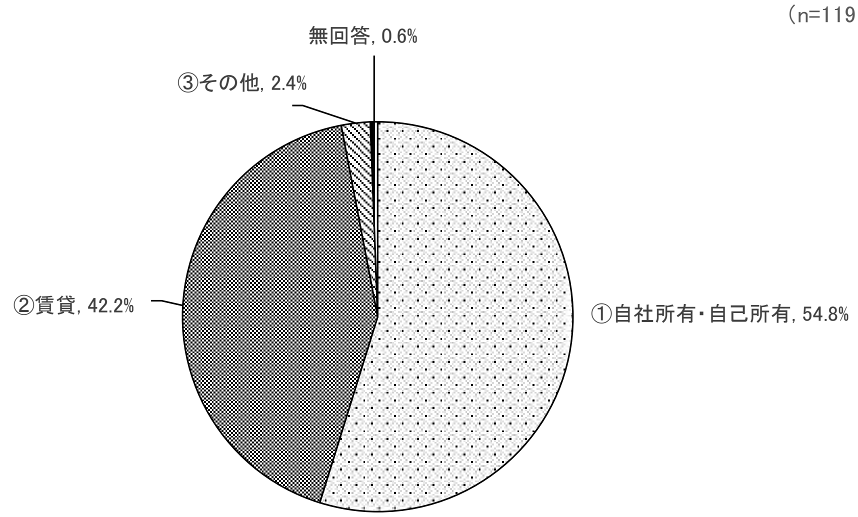


2.1.3 建物の所有状況

「①自社所有・自己所有」の割合が最も高く 54.8%となっている。次いで、「②賃貸（42.2%）」、「③その他（2.4%）」となっている。

図表 140 建物の所有状況

（n=1191）

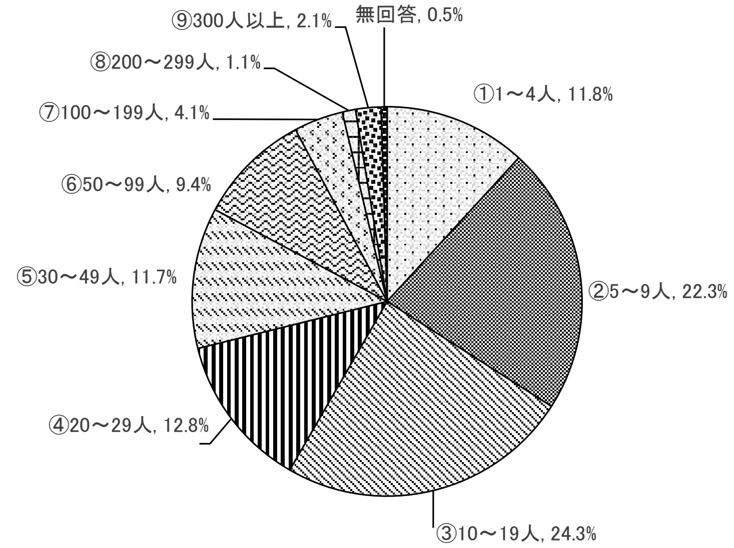


2.1.4 従業員数

「③10～19 人」の割合が最も高く 24.3%となっている。次いで、「②5～9 人（22.3%）」、「④20～29 人（12.8%）」となっている。

図表 141 従業員数

（n=1191）

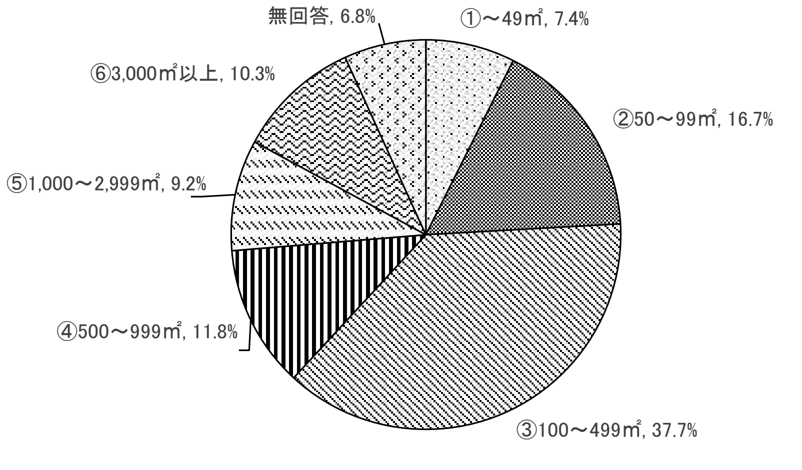


2.1.5 延べ床面積

「③100～499 ㎡」の割合が最も高く 37.7%となっている。次いで、「②50～99 ㎡（16.7%）」、「④500～999 ㎡（11.8%）」となっている。

図表 142 延べ床面積

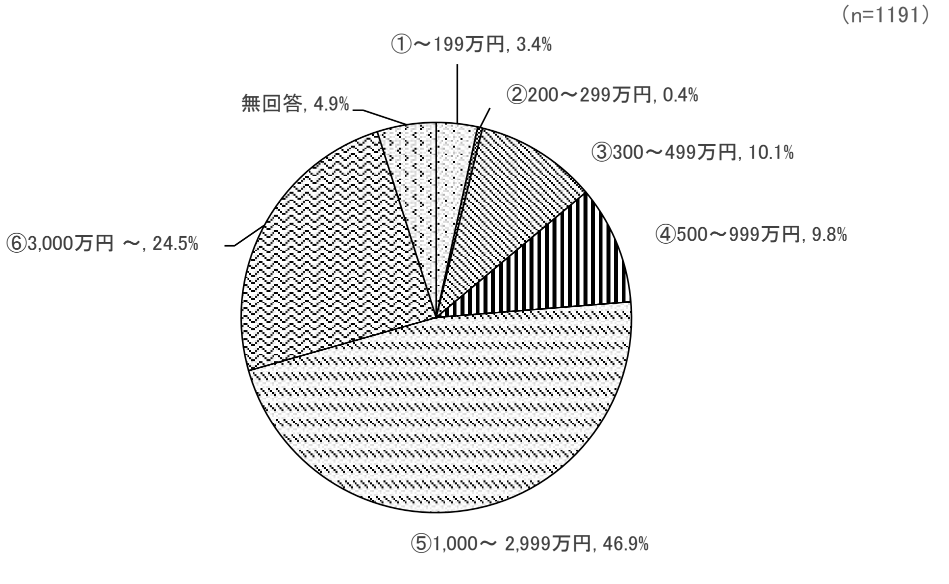
（n=1191）



２.１.６ 資本金

「⑤1,000～2,999 万円」の割合が最も高く 46.9％となっている。次いで、「⑥3,000 万円～(24.5％)」、「③300～499 万円（10.1％）」となっている。

図表 143 資本金

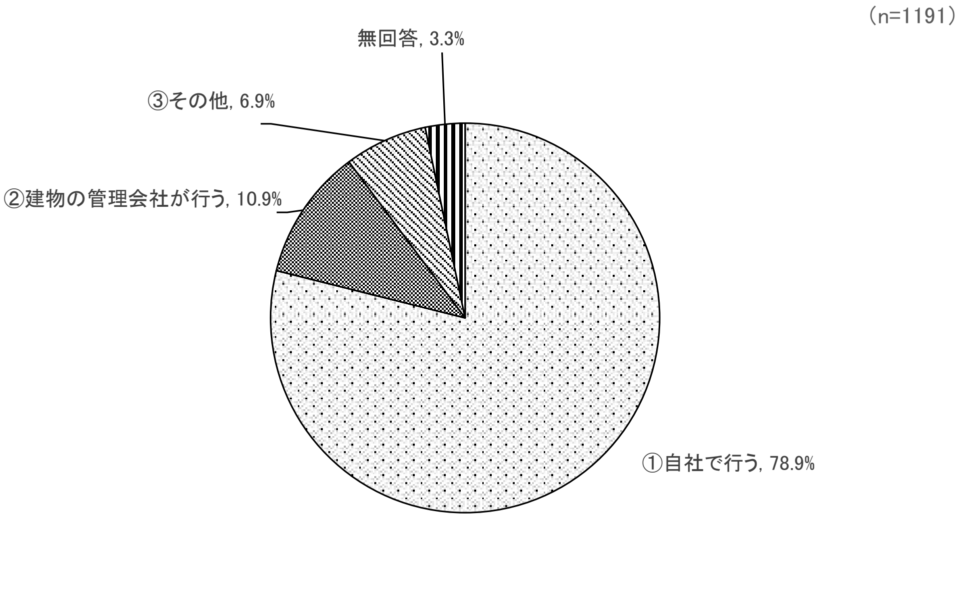


２.２ ごみの排出について（産業廃棄物を除く）

２.２.１ ごみの排出主体

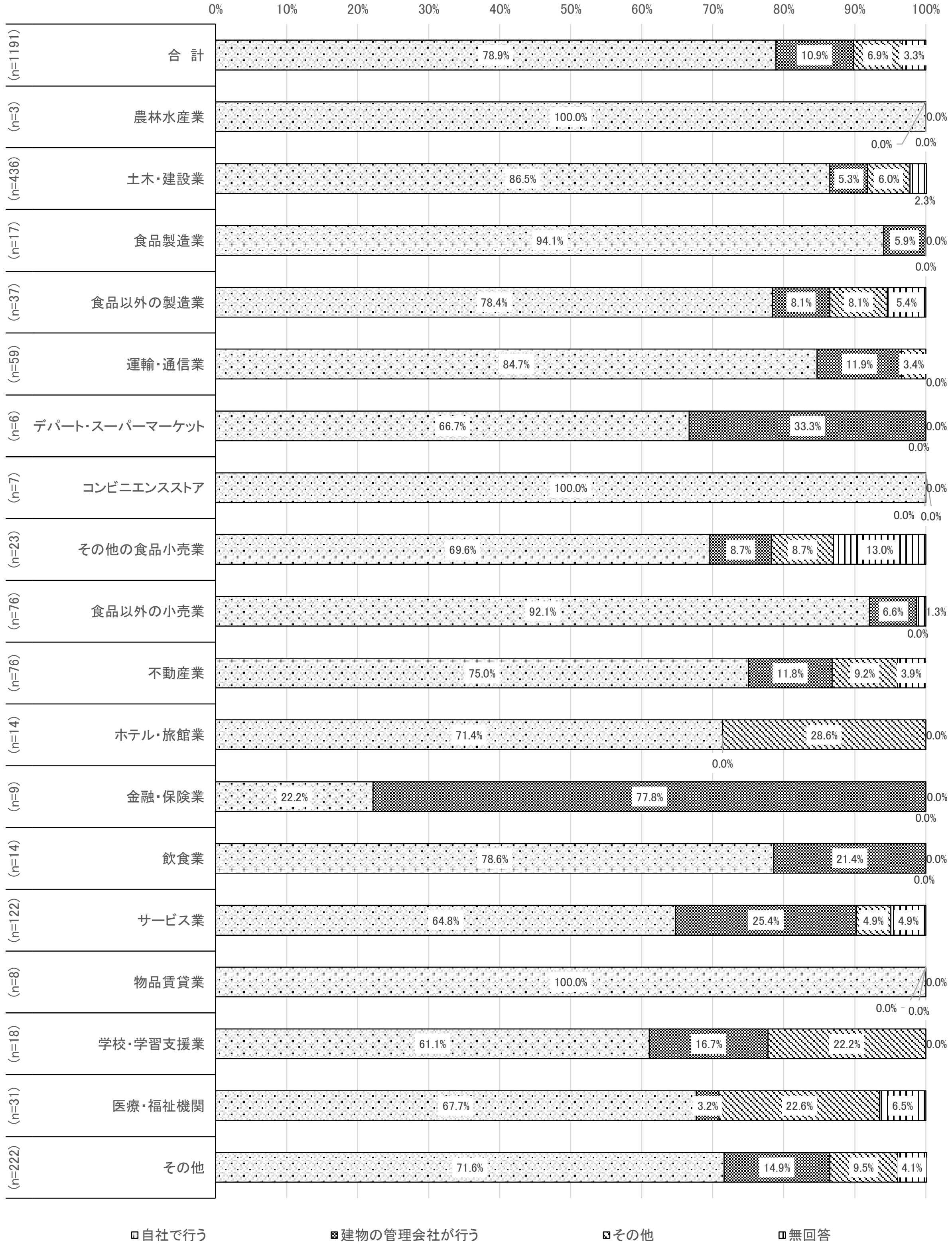
「①自社で行う」の割合が最も高く 78.9％となっている。次いで、「②建物の管理会社が行う（10.9％）」、「③その他（6.9％）」となっている。

図表 144 ごみの排出主体



業種別に見ると、「自社で行う」の割合は、「農林水産業」、「コンビニエンスストア」、「物品賃貸業」がいずれも100.0%と最も高くなっている。「建物の管理会社が行う」の割合は、「金融・保険業（77.8%）」、「デパート・スーパーマーケット（33.3%）」、「サービス業（25.4%）」の順に高い。

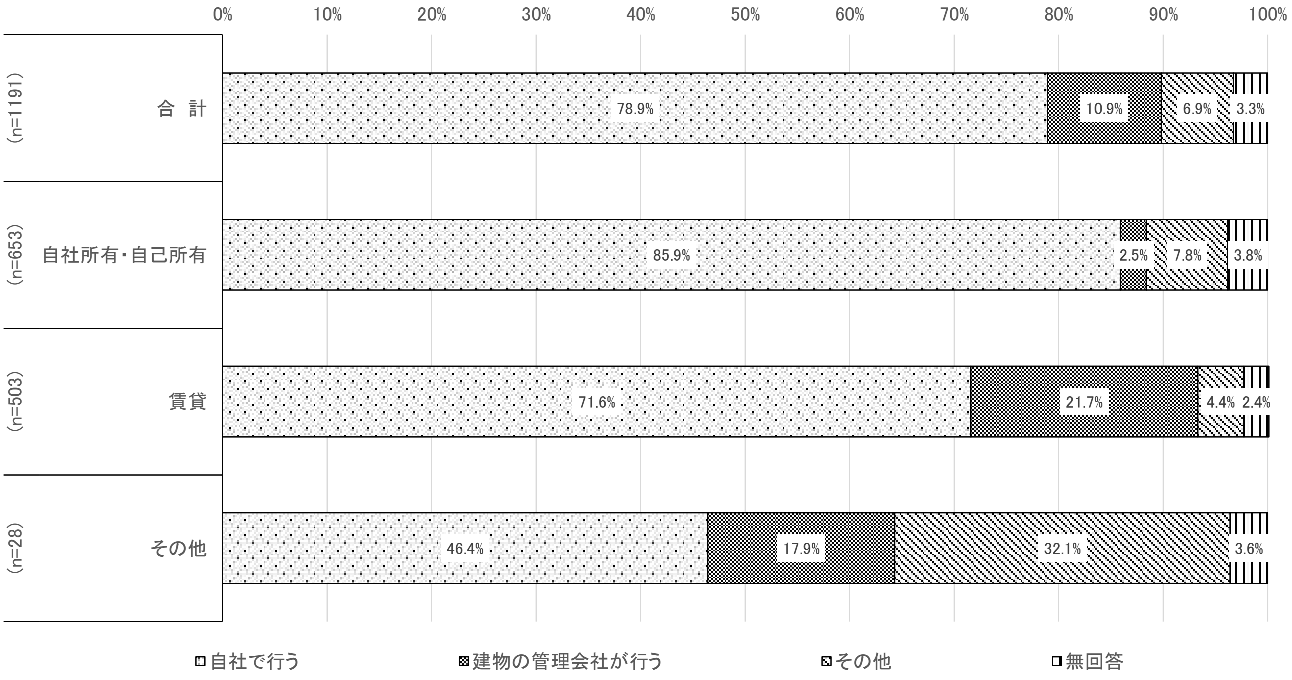
図表 145 ごみの排出主体（業種別）



	合　計	自社で行う	建物の管理会社が行う	その他	無回答
合　計	1191	940	130	82	39
	100.0%	78.9%	10.9%	6.9%	3.3%
農林水産業	3	3	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
土木・建設業	436	377	23	26	10
	100.0%	86.5%	5.3%	6.0%	2.3%
食品製造業	17	16	1	0	0
	100.0%	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%
食品以外の製造業	37	29	3	3	2
	100.0%	78.4%	8.1%	8.1%	5.4%
運輸・通信業	59	50	7	2	0
	100.0%	84.7%	11.9%	3.4%	0.0%
デパート・スーパーマーケット	6	4	2	0	0
	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
コンビニエンスストア	7	7	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の食品小売業	23	16	2	2	3
	100.0%	69.6%	8.7%	8.7%	13.0%
食品以外の小売業	76	70	5	0	1
	100.0%	92.1%	6.6%	0.0%	1.3%
不動産業	76	57	9	7	3
	100.0%	75.0%	11.8%	9.2%	3.9%
ホテル・旅館業	14	10	0	4	0
	100.0%	71.4%	0.0%	28.6%	0.0%
金融・保険業	9	2	7	0	0
	100.0%	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%
飲食業	14	11	3	0	0
	100.0%	78.6%	21.4%	0.0%	0.0%
サービス業	122	79	31	6	6
	100.0%	64.8%	25.4%	4.9%	4.9%
物品賃貸業	8	8	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学校・学習支援業	18	11	3	4	0
	100.0%	61.1%	16.7%	22.2%	0.0%
医療・福祉機関	31	21	1	7	2
	100.0%	67.7%	3.2%	22.6%	6.5%
その他	222	159	33	21	9
	100.0%	71.6%	14.9%	9.5%	4.1%

建物の所有状況別に見ると、「自社所有・自己所有」においては「自社で行う」が 85.9%と最も高く、「賃貸」においては「自社で行う」が 71.6%、「建物の管理会社が行う」が 21.7%となっている。

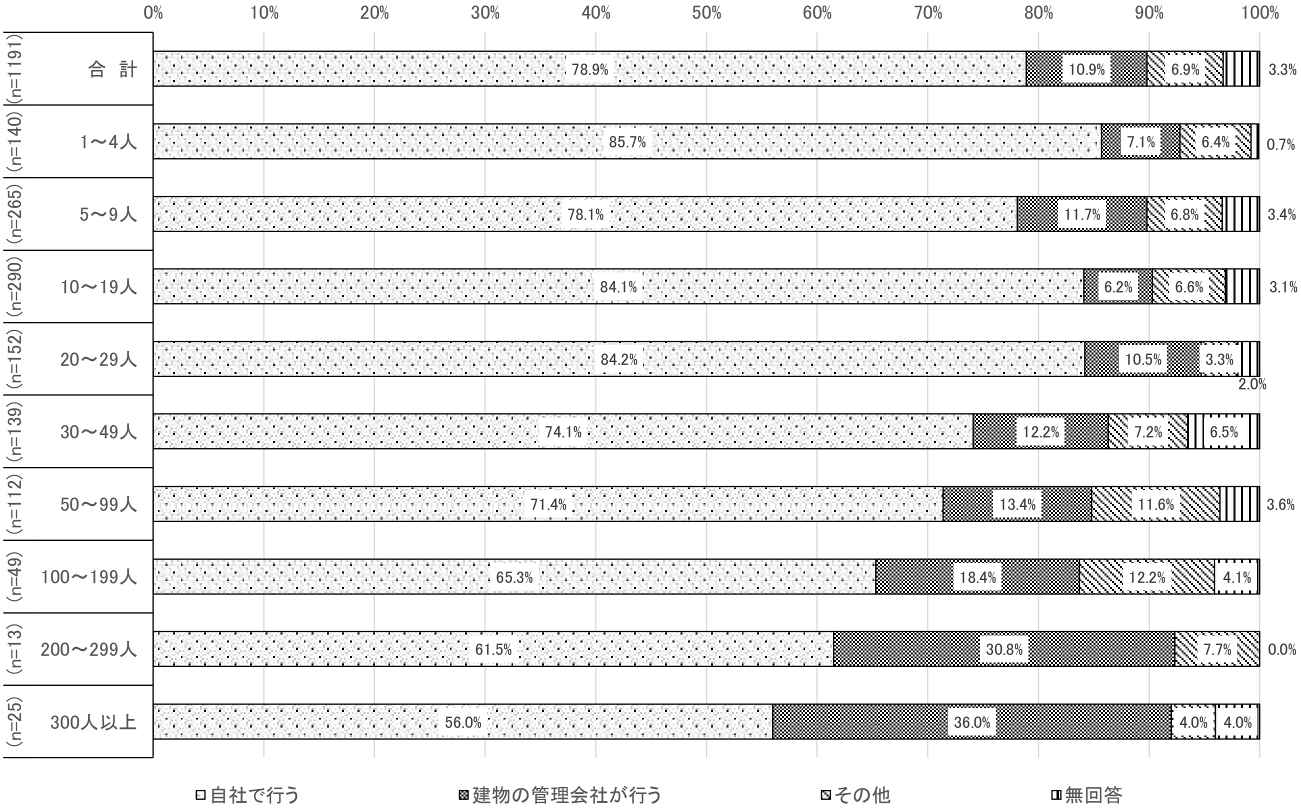
図表 146 ごみの排出主体(建物の所有状況別)



	合 計	自社で行う	建物の管理会社が行う	その他	無回答
合 計	1191	940	130	82	39
	100.0%	78.9%	10.9%	6.9%	3.3%
自社所有・自己所有	653	561	16	51	25
	100.0%	85.9%	2.5%	7.8%	3.8%
賃貸	503	360	109	22	12
	100.0%	71.6%	21.7%	4.4%	2.4%
その他	28	13	5	9	1
	100.0%	46.4%	17.9%	32.1%	3.6%

従業員数別に見ると、「自社で行う」の割合は、「1～4 人（85.7%）」が最も高く、従業員が多いほど低い傾向にある。「建物の管理会社が行う」の割合は、「300 人以上（36.0%）」が最も高く、従業員数が多いほど高い傾向にある。

図表 147 ごみの排出主体(従業員数別)



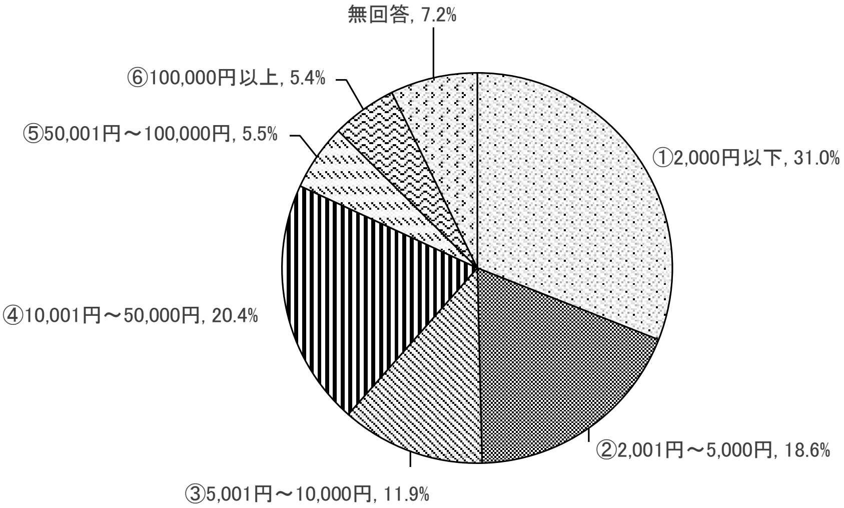
	合 計	自社で行う	建物の管理会社が行う	その他	無回答
合 計	1191	940	130	82	39
	100.0%	78.9%	10.9%	6.9%	3.3%
1～4人	140	120	10	9	1
	100.0%	85.7%	7.1%	6.4%	0.7%
5～9人	265	207	31	18	9
	100.0%	78.1%	11.7%	6.8%	3.4%
10～19人	290	244	18	19	9
	100.0%	84.1%	6.2%	6.6%	3.1%
20～29人	152	128	16	5	3
	100.0%	84.2%	10.5%	3.3%	2.0%
30～49人	139	103	17	10	9
	100.0%	74.1%	12.2%	7.2%	6.5%
50～99人	112	80	15	13	4
	100.0%	71.4%	13.4%	11.6%	3.6%
100～199人	49	32	9	6	2
	100.0%	65.3%	18.4%	12.2%	4.1%
200～299人	13	8	4	1	0
	100.0%	61.5%	30.8%	7.7%	0.0%
300人以上	25	14	9	1	1
	100.0%	56.0%	36.0%	4.0%	4.0%

2.2.2 1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用

「①2,000 円以下」の割合が最も高く 31.0%となっている。次いで、「④10,001 円～50,000 円（20.4%）」、「②2,001 円～5,000 円（18.6%）」となっている。

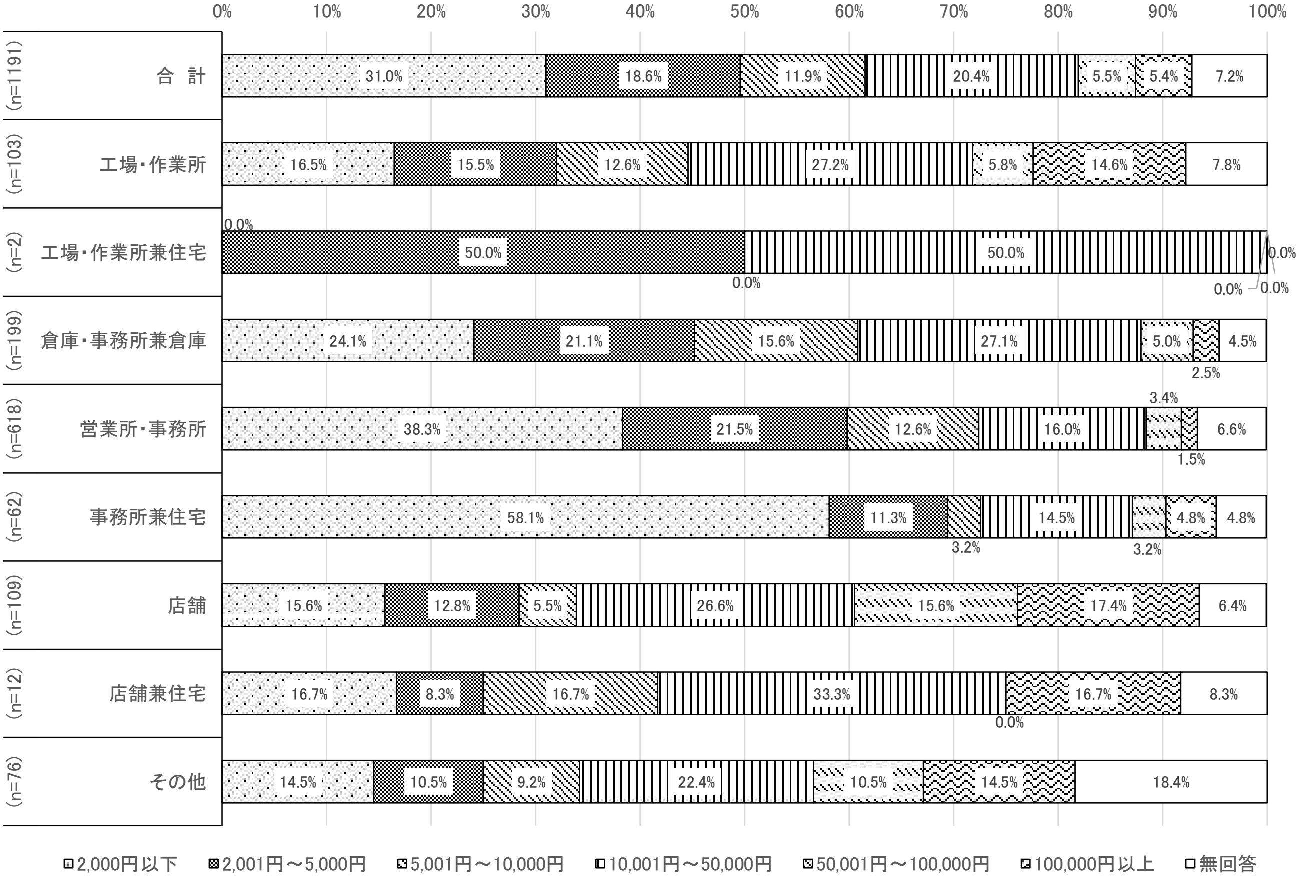
図表 148 1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用

（n=1191）



事業所の形態別に見ると、「2,000 円以下」の割合は、「事務所兼住宅（58.1%）」、「営業所・事務所（38.3%）」、「倉庫・事務所兼倉庫（24.1%）」の順に高い。

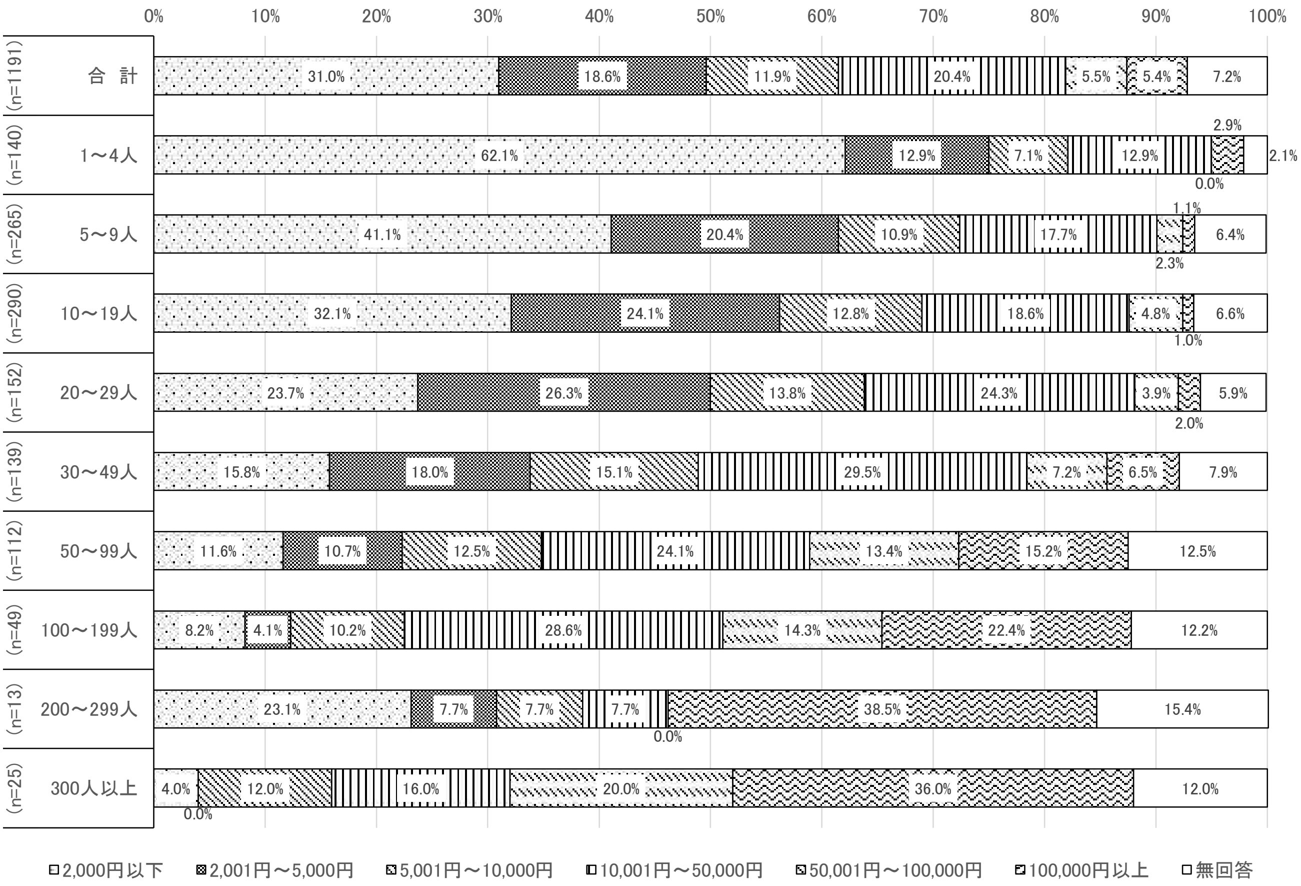
図表 149 1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用（事業所の形態別）



	合 計	2,000円以下	2,001円～5,000円	5,001円～10,000円	10,001円～50,000円	50,001円～100,000円	100,000円以上	無回答
合 計	1191	369	222	142	243	65	64	86
	100.0%	31.0%	18.6%	11.9%	20.4%	5.5%	5.4%	7.2%
工場・作業所	103	17	16	13	28	6	15	8
	100.0%	16.5%	15.5%	12.6%	27.2%	5.8%	14.6%	7.8%
工場・作業所兼住宅	2	0	1	0	1	0	0	0
	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
倉庫・事務所兼倉庫	199	48	42	31	54	10	5	9
	100.0%	24.1%	21.1%	15.6%	27.1%	5.0%	2.5%	4.5%
営業所・事務所	618	237	133	78	99	21	9	41
	100.0%	38.3%	21.5%	12.6%	16.0%	3.4%	1.5%	6.6%
事務所兼住宅	62	36	7	2	9	2	3	3
	100.0%	58.1%	11.3%	3.2%	14.5%	3.2%	4.8%	4.8%
店舗	109	17	14	6	29	17	19	7
	100.0%	15.6%	12.8%	5.5%	26.6%	15.6%	17.4%	6.4%
店舗兼住宅	12	2	1	2	4	0	2	1
	100.0%	16.7%	8.3%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%	8.3%
その他	76	11	8	7	17	8	11	14
	100.0%	14.5%	10.5%	9.2%	22.4%	10.5%	14.5%	18.4%

従業員数別に見ると、「2,000 円以下」の割合は、従業員数が多いほど低い傾向がある。

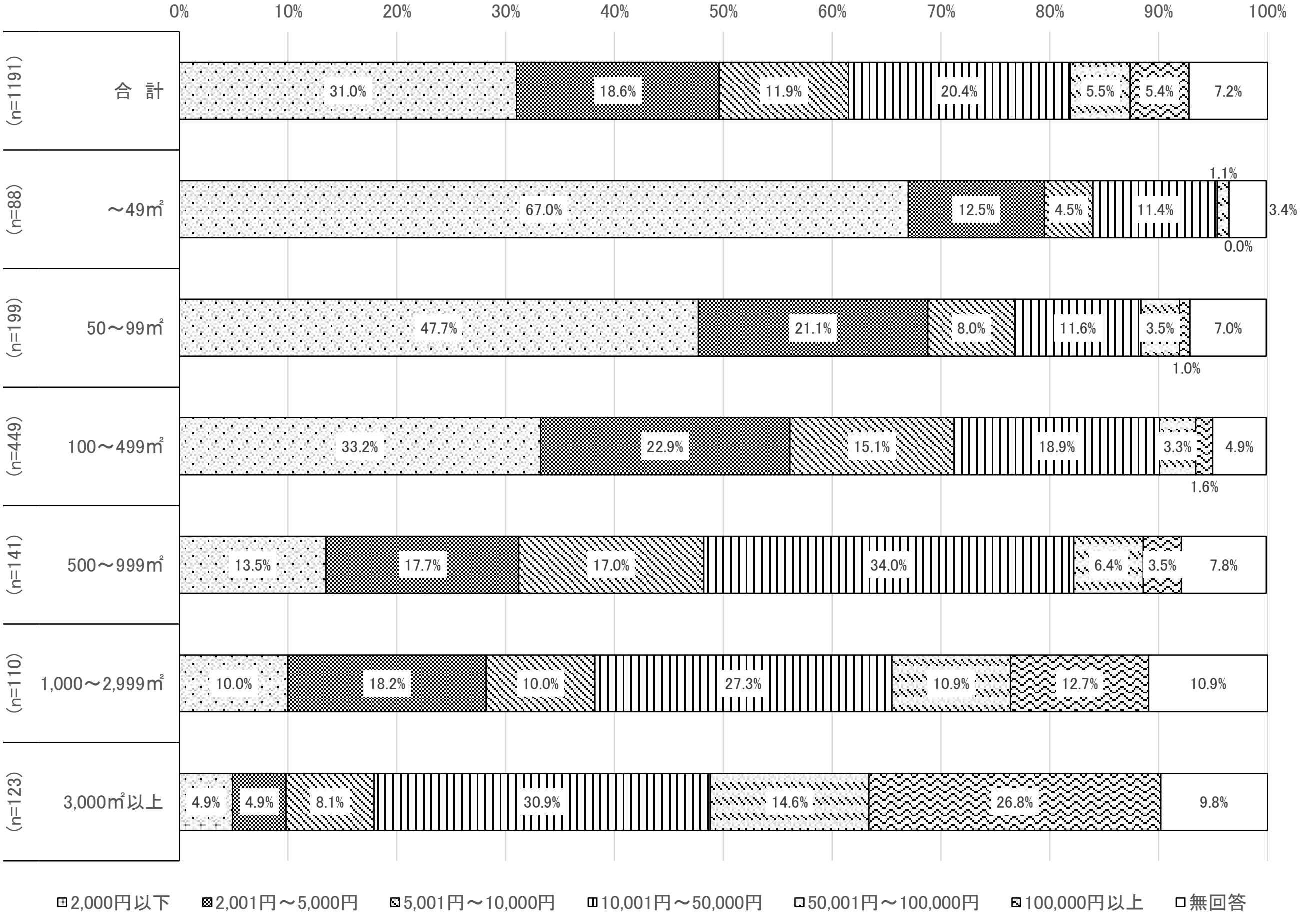
図表 150　1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用（従業員数別）



	合　計	2,000円以下	2,001円～5,000円	5,001円～10,000円	10,001円～50,000円	50,001円～100,000円	100,000円以上	無回答
合　計	1191	369	222	142	243	65	64	86
	100.0%	31.0%	18.6%	11.9%	20.4%	5.5%	5.4%	7.2%
1～4人	140	87	18	10	18	0	4	3
	100.0%	62.1%	12.9%	7.1%	12.9%	0.0%	2.9%	2.1%
5～9人	265	109	54	29	47	6	3	17
	100.0%	41.1%	20.4%	10.9%	17.7%	2.3%	1.1%	6.4%
10～19人	290	93	70	37	54	14	3	19
	100.0%	32.1%	24.1%	12.8%	18.6%	4.8%	1.0%	6.6%
20～29人	152	36	40	21	37	6	3	9
	100.0%	23.7%	26.3%	13.8%	24.3%	3.9%	2.0%	5.9%
30～49人	139	22	25	21	41	10	9	11
	100.0%	15.8%	18.0%	15.1%	29.5%	7.2%	6.5%	7.9%
50～99人	112	13	12	14	27	15	17	14
	100.0%	11.6%	10.7%	12.5%	24.1%	13.4%	15.2%	12.5%
100～199人	49	4	2	5	14	7	11	6
	100.0%	8.2%	4.1%	10.2%	28.6%	14.3%	22.4%	12.2%
200～299人	13	3	1	1	1	0	5	2
	100.0%	23.1%	7.7%	7.7%	7.7%	0.0%	38.5%	15.4%
300人以上	25	1	0	3	4	5	9	3
	100.0%	4.0%	0.0%	12.0%	16.0%	20.0%	36.0%	12.0%

延べ床面積別に見ると、「2,000 円以下」の割合は、延べ床面積が大きいほど低い傾向にある。一方で、「50,001 円～100,000 円」、「100,000 円以上」の割合は、いずれも延べ床面積が大きいほど高い傾向にある。

図表 151 1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用(延べ床面積別)



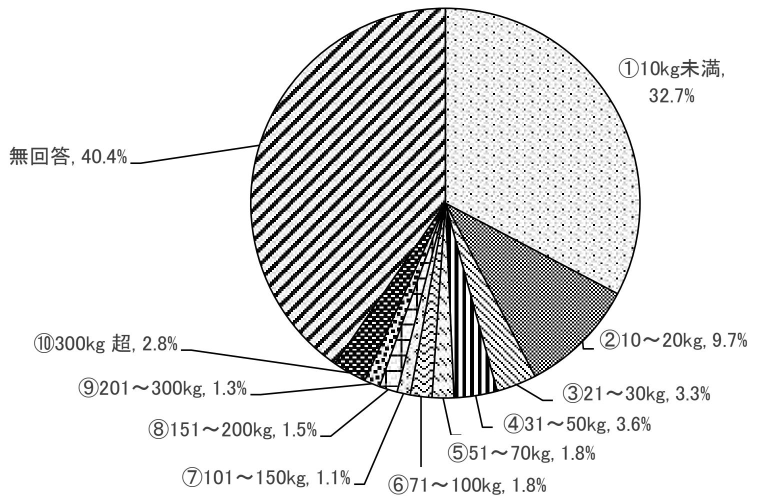
	合 計	2,000円以下	2,001円～5,000円	5,001円～10,000円	10,001円～50,000円	50,001円～100,000円	100,000円以上	無回答
合 計	1191	369	222	142	243	65	64	86
	100.0%	31.0%	18.6%	11.9%	20.4%	5.5%	5.4%	7.2%
～49㎡	88	59	11	4	10	1	0	3
	100.0%	67.0%	12.5%	4.5%	11.4%	1.1%	0.0%	3.4%
50～99㎡	199	95	42	16	23	7	2	14
	100.0%	47.7%	21.1%	8.0%	11.6%	3.5%	1.0%	7.0%
100～499㎡	449	149	103	68	85	15	7	22
	100.0%	33.2%	22.9%	15.1%	18.9%	3.3%	1.6%	4.9%
500～999㎡	141	19	25	24	48	9	5	11
	100.0%	13.5%	17.7%	17.0%	34.0%	6.4%	3.5%	7.8%
1,000～2,999㎡	110	11	20	11	30	12	14	12
	100.0%	10.0%	18.2%	10.0%	27.3%	10.9%	12.7%	10.9%
3,000㎡以上	123	6	6	10	38	18	33	12
	100.0%	4.9%	4.9%	8.1%	30.9%	14.6%	26.8%	9.8%

2.2.3　1週間あたり可燃ごみの排出量

無回答を除き、「①10kg 未満」の割合が最も高く 32.7%となっている。次いで、「②10～20kg（9.7%）」、「④31～50kg（3.6%）」となっている。

図表 152　1週間あたり可燃ごみの排出量

（n=1191）

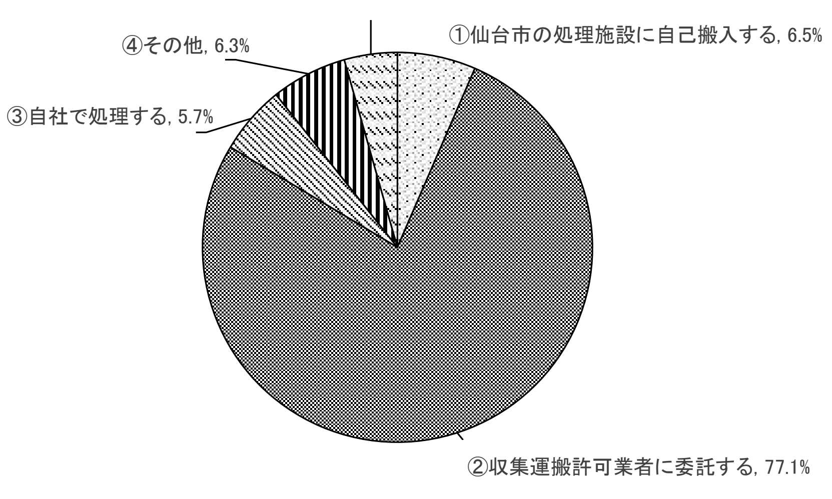


2.2.4　可燃ごみの処理方法

「②収集運搬許可業者に委託する」の割合が最も高く 77.1%となっている。次いで、「①仙台市の処理施設に自己搬入する（6.5%）」、「④その他（6.3%）」となっている。

図表 153　可燃ごみの処理方法

（n=1191）

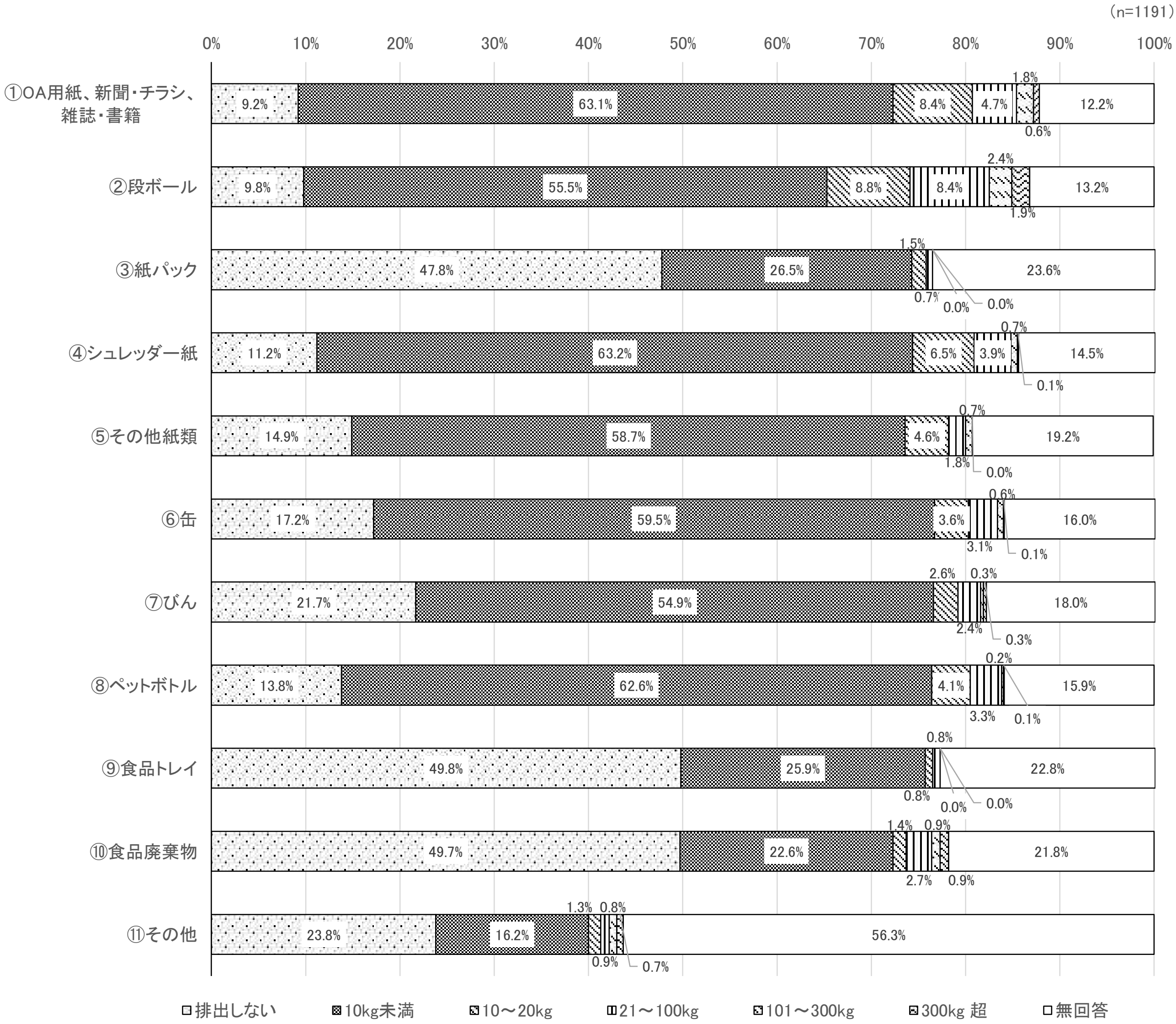


２.２.５　１週間あたりの資源物の排出実態及び処理方法

（1）排出実態

資源物の排出量は、「排出しない」あるいは「10kg 未満」の占める割合が高く、両者の合計で概ね７割を占めている。「排出しない」の割合は、「⑨食品トレイ（49.8%）」、「⑩食品廃棄物（49.7%）」、「③紙パック（47.8%）」の順に高い。なお、図では、「21～30kg」・「31～50kg」・「51～70kg」・「71～100kg」をまとめて「21～100kg」、「101～150kg」・「151～200kg」・「201～300kg」をまとめて「101～300kg」として集計した。

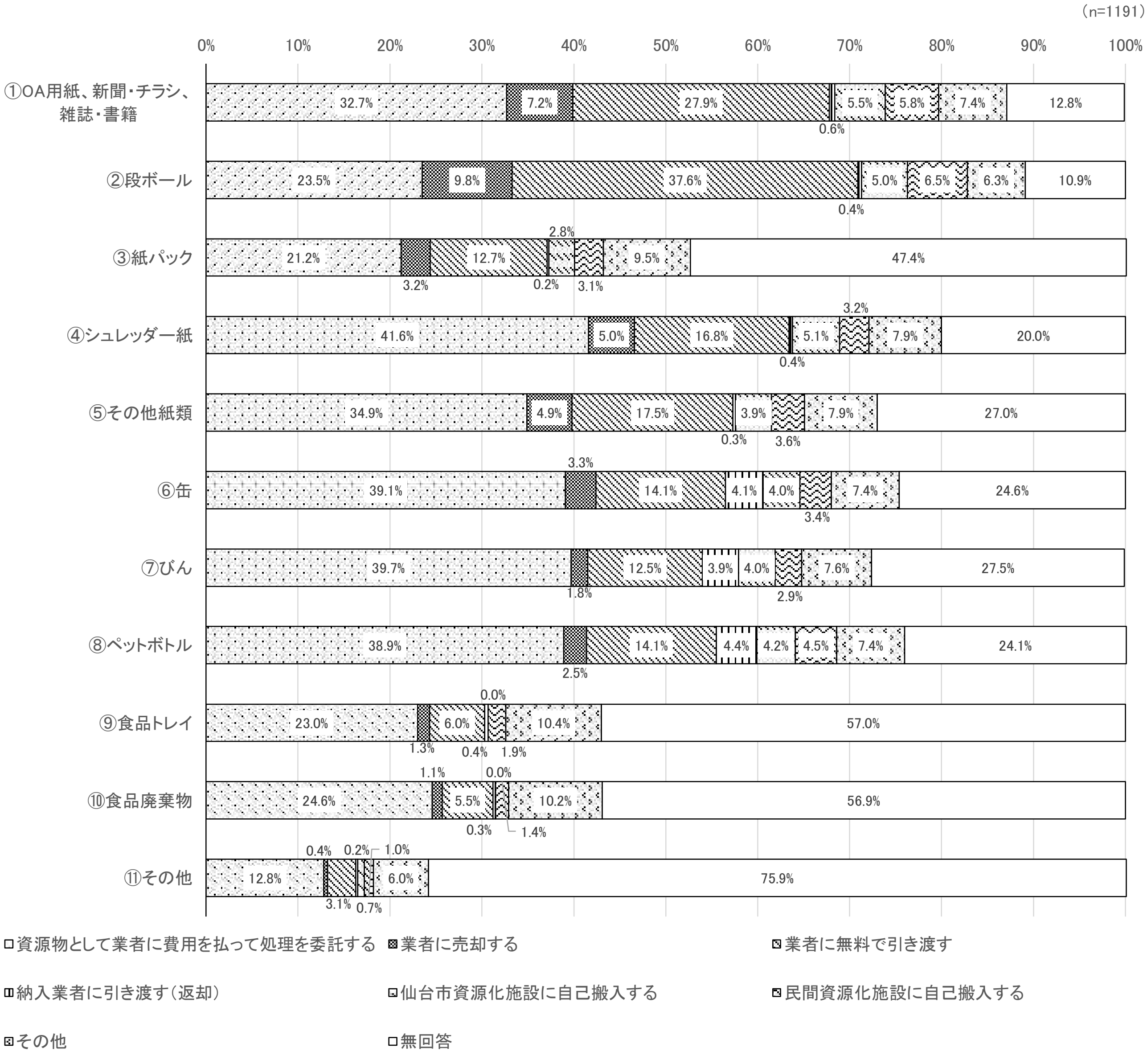
図表 154　１週間あたりの資源物の排出実態



（2）処理方法

「資源物として業者に費用を払って処理を委託する」の割合は、「④シュレッダー紙（41.6%）」、「⑦びん（39.7%）」、「⑥缶（39.1%）」の順に高い。「業者に無料で引き渡す」の割合は、「②段ボール（37.6%）」、「①OA 用紙、新聞・チラシ、雑誌・書籍（27.9%）」、「⑤その他紙類（17.5%）」の順に高い。

図表 155　1週間あたりの資源物の処理方法

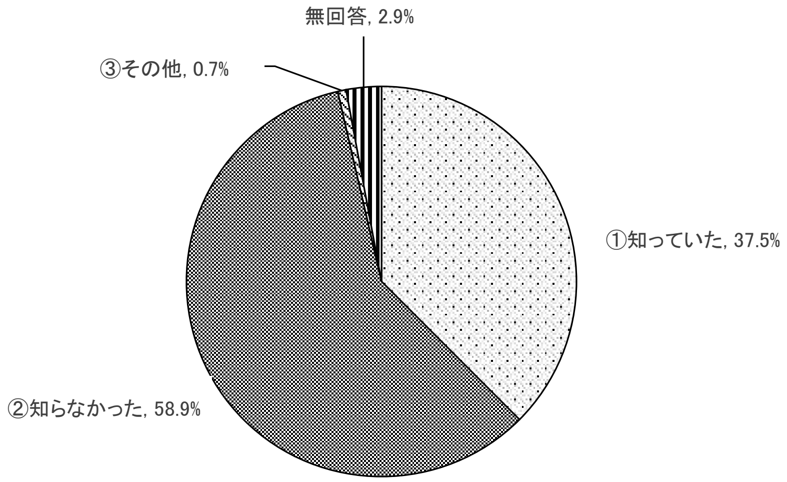


２.２.６ 収集運搬費用に施設搬入手数料が含まれていることの認知度

「②知らなかった」の割合が最も高く 58.9％となっている。次いで、「①知っていた（37.5％）」となっている。

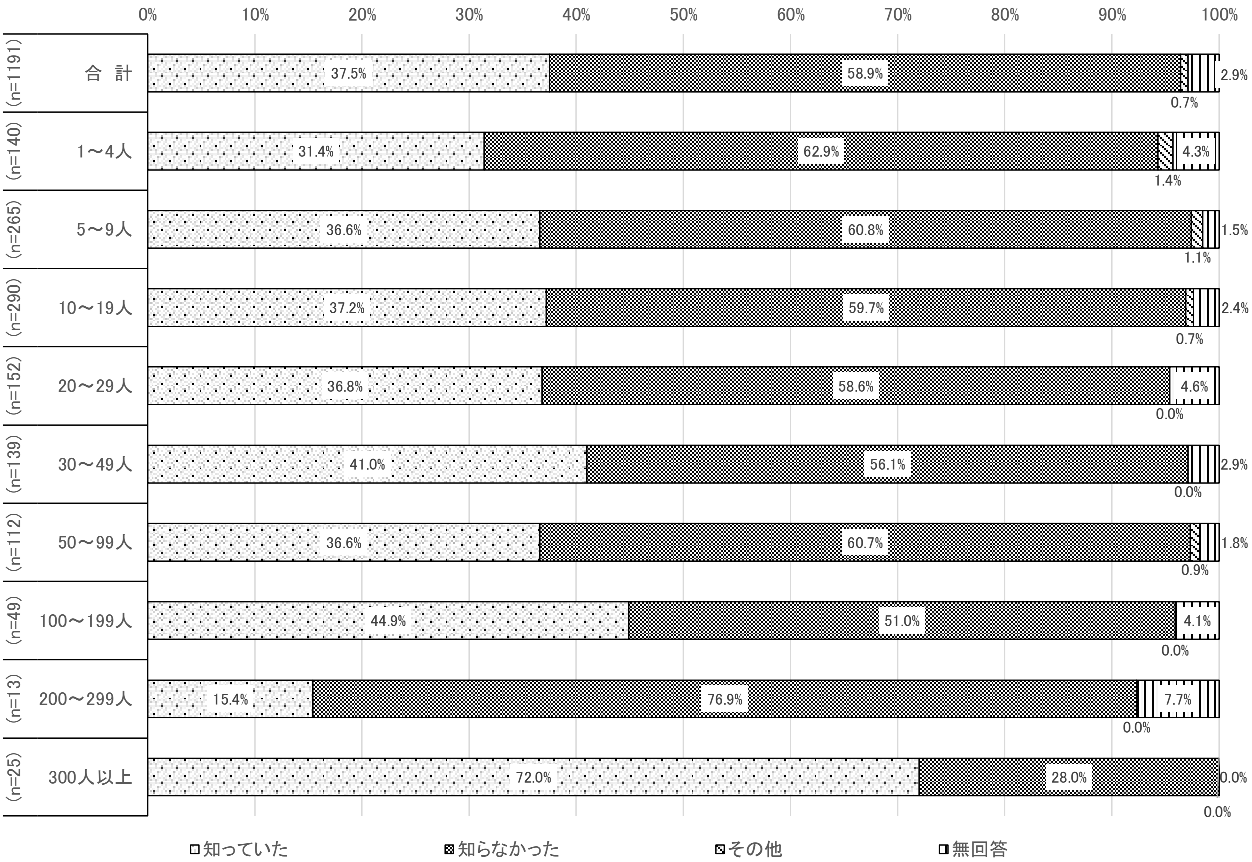
図表 156 収集運搬費用に施設搬入手数料が含まれていることの認知度

（n=1191）



従業員数別に見ると、「知っていた」事業者は、「300 人以上（72.0%）」が最も高い。「知らなかった」事業者は、「200～299 人（76.9%）」が最も高い。

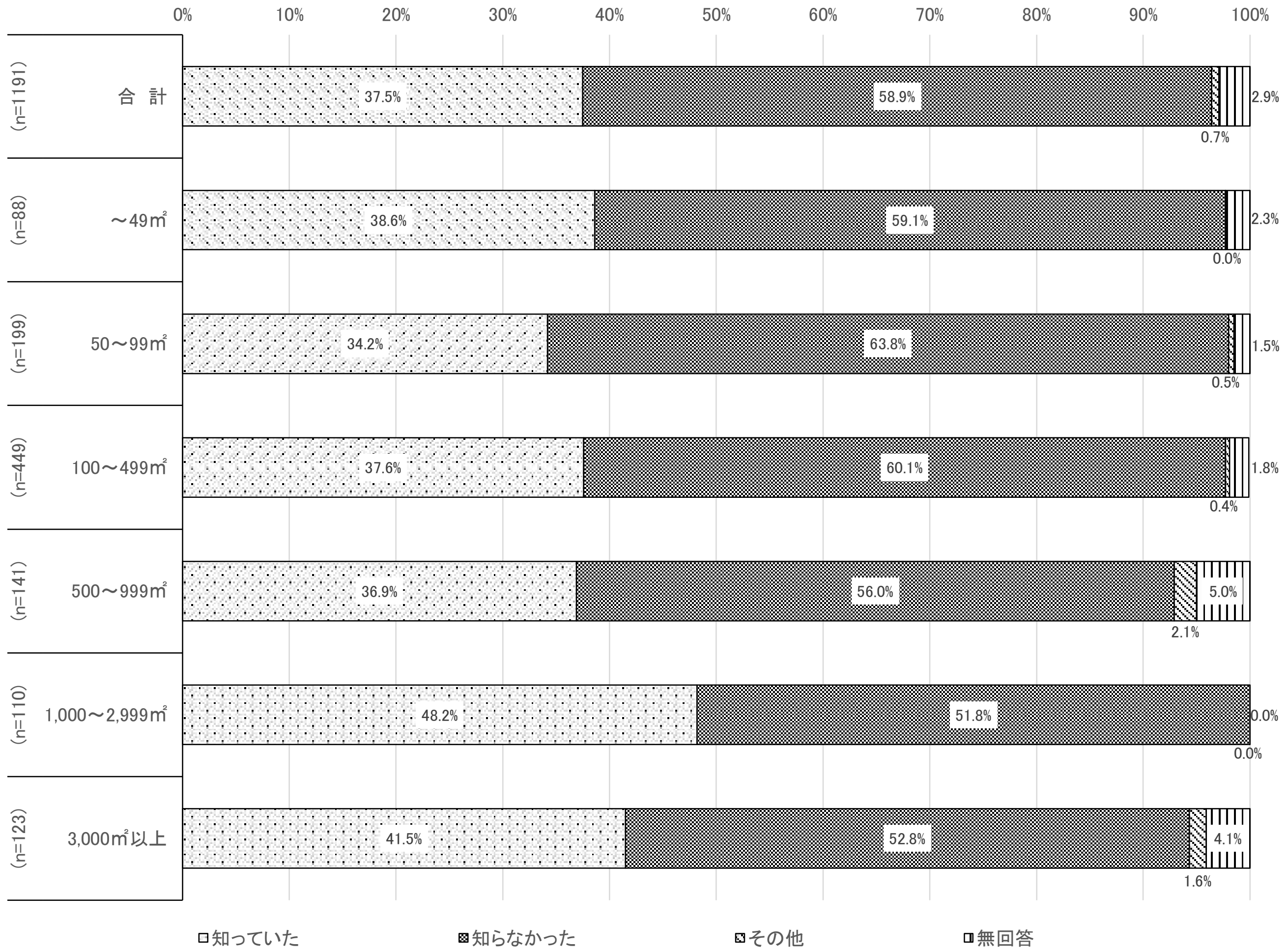
図表 157 収集運搬費用に施設搬入手数料が含まれていることの認知度（従業員数別）



	合 計	知っていた	知らなかった	その他	無回答
合 計	1191	447	702	8	34
	100.0%	37.5%	58.9%	0.7%	2.9%
1～4人	140	44	88	2	6
	100.0%	31.4%	62.9%	1.4%	4.3%
5～9人	265	97	161	3	4
	100.0%	36.6%	60.8%	1.1%	1.5%
10～19人	290	108	173	2	7
	100.0%	37.2%	59.7%	0.7%	2.4%
20～29人	152	56	89	0	7
	100.0%	36.8%	58.6%	0.0%	4.6%
30～49人	139	57	78	0	4
	100.0%	41.0%	56.1%	0.0%	2.9%
50～99人	112	41	68	1	2
	100.0%	36.6%	60.7%	0.9%	1.8%
100～199人	49	22	25	0	2
	100.0%	44.9%	51.0%	0.0%	4.1%
200～299人	13	2	10	0	1
	100.0%	15.4%	76.9%	0.0%	7.7%
300人以上	25	18	7	0	0
	100.0%	72.0%	28.0%	0.0%	0.0%

延べ床面積別に見ると、「知っていた」の割合は「1,000～2,999 ㎡（48.2%）」が最も高く、「知らなかった」の割合は「50～99 ㎡（63.8%）」が最も高い。

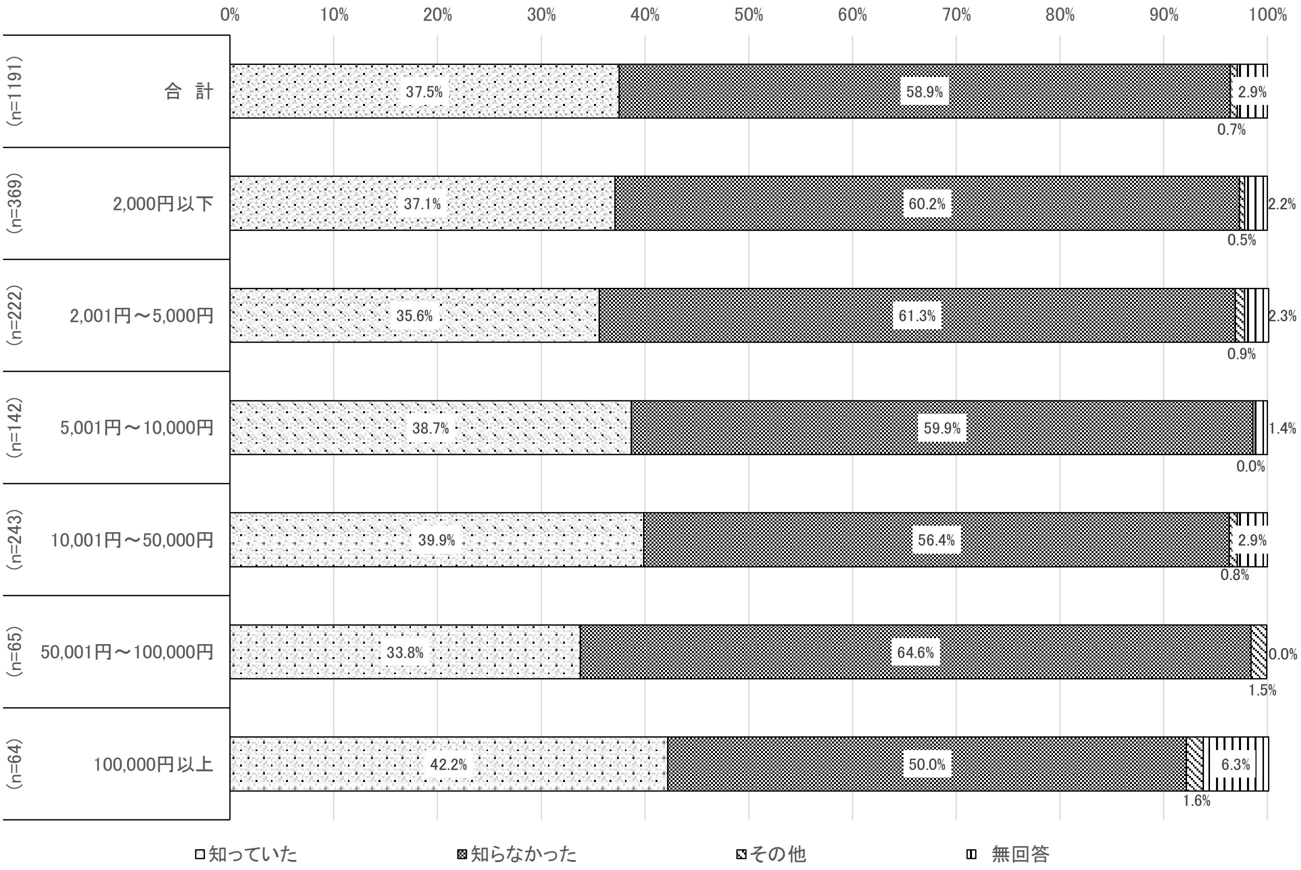
図表 158 収集運搬費用に施設搬入手数料が含まれていることの認知度（延べ床面積別）



	合 計	知っていた	知らなかった	その他	無回答
合 計	1191	447	702	8	34
	100.0%	37.5%	58.9%	0.7%	2.9%
～49㎡	88	34	52	0	2
	100.0%	38.6%	59.1%	0.0%	2.3%
50～99㎡	199	68	127	1	3
	100.0%	34.2%	63.8%	0.5%	1.5%
100～499㎡	449	169	270	2	8
	100.0%	37.6%	60.1%	0.4%	1.8%
500～999㎡	141	52	79	3	7
	100.0%	36.9%	56.0%	2.1%	5.0%
1,000～2,999㎡	110	53	57	0	0
	100.0%	48.2%	51.8%	0.0%	0.0%
3,000㎡以上	123	51	65	2	5
	100.0%	41.5%	52.8%	1.6%	4.1%

1ヶ月あたりのごみ･資源物処理費用別に見ると､「知っていた」の割合は「100,000円以上（42.2%）」が最も高く、「知らなかった」の割合は「50,001 円～100,000 円（64.6%）」が最も高い。

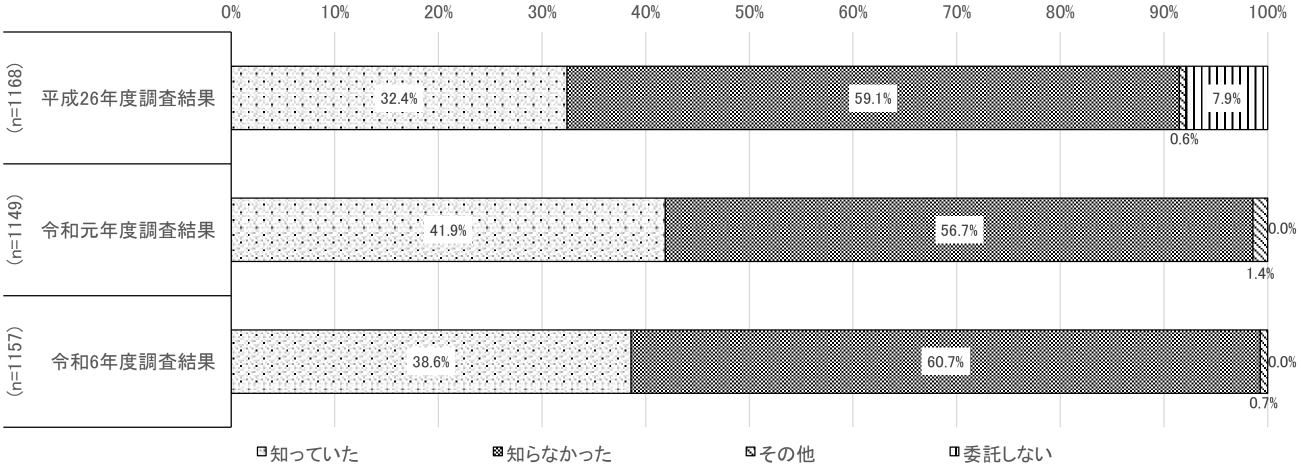
図表 159 収集運搬費用に施設搬入手数料が含まれていることの認知度
（1ヶ月あたりのごみ･資源物処理費用別）



	合 計	知っていた	知らなかった	その他	無回答
合 計	1191	447	702	8	34
	100.0%	37.5%	58.9%	0.7%	2.9%
2,000円以下	369	137	222	2	8
	100.0%	37.1%	60.2%	0.5%	2.2%
2,001円～5,000円	222	79	136	2	5
	100.0%	35.6%	61.3%	0.9%	2.3%
5,001円～10,000円	142	55	85	0	2
	100.0%	38.7%	59.9%	0.0%	1.4%
10,001円～50,000円	243	97	137	2	7
	100.0%	39.9%	56.4%	0.8%	2.9%
50,001円～100,000円	65	22	42	1	0
	100.0%	33.8%	64.6%	1.5%	0.0%
100,000円以上	64	27	32	1	4
	100.0%	42.2%	50.0%	1.6%	6.3%

令和 6 年度調査の「知らなかった」の割合は 60.7%、令和元年度調査の「知らなかった」の割合は 56.7%であり、顕著な変化は見られない。

図表 160 平成 26 年度及び令和元年度調査結果との比較

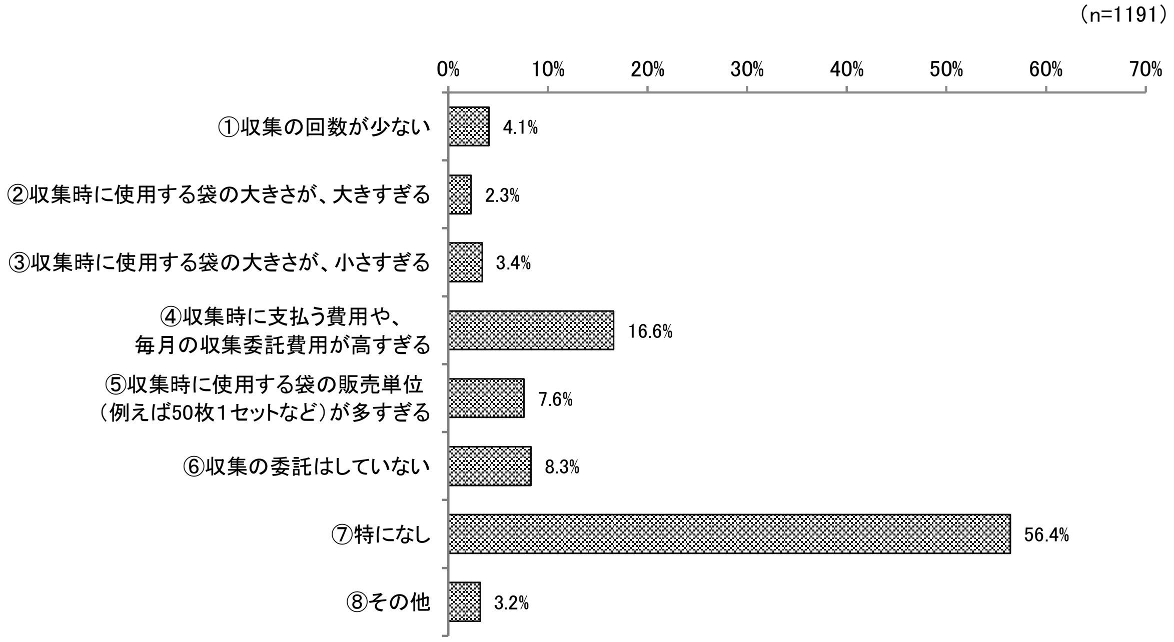


※無回答を除いて集計。平成 26 年度調査では、「委託しない」という選択肢あり

2.2.7 収集に関して普段感じていること

「⑦特になし」の割合が最も高く 56.4%となっている。次いで、「④収集時に支払う費用や、毎月の収集委託費用が高すぎる（16.6%)」、「⑥収集の委託はしていない（8.3%)」となっている。

図表 161 収集に関して普段感じていること ※該当するものすべてを回答

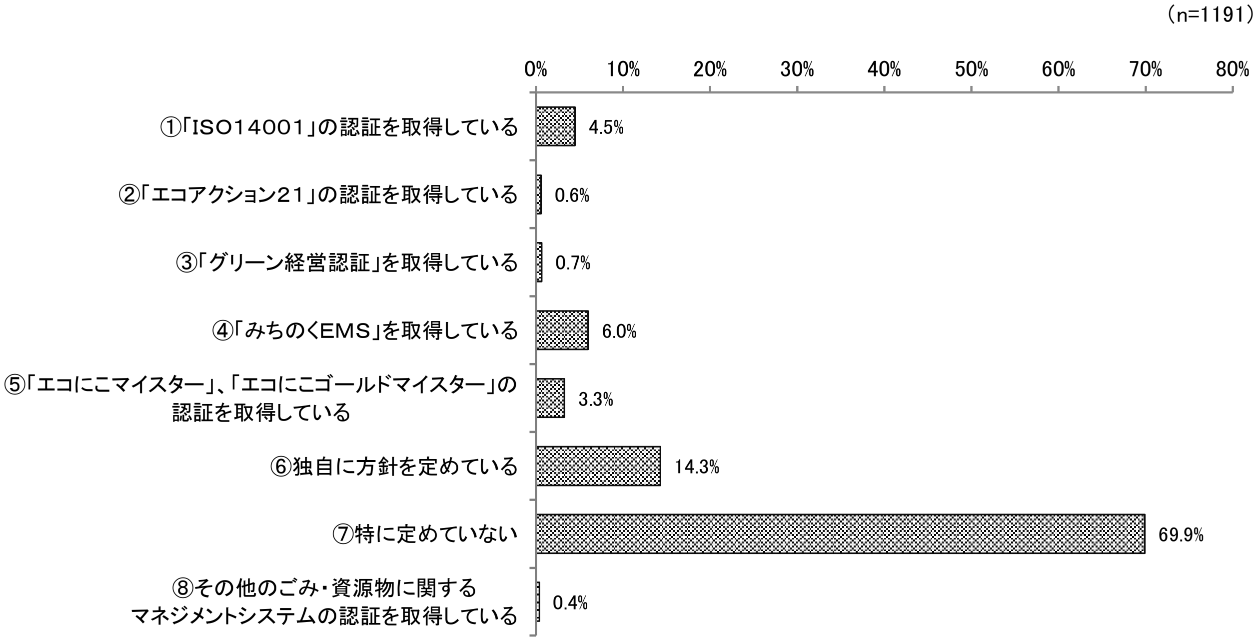


２.３ ごみの減量・リサイクルの取り組み等について

２.３.１ ごみ減量・リサイクルの方針の策定状況

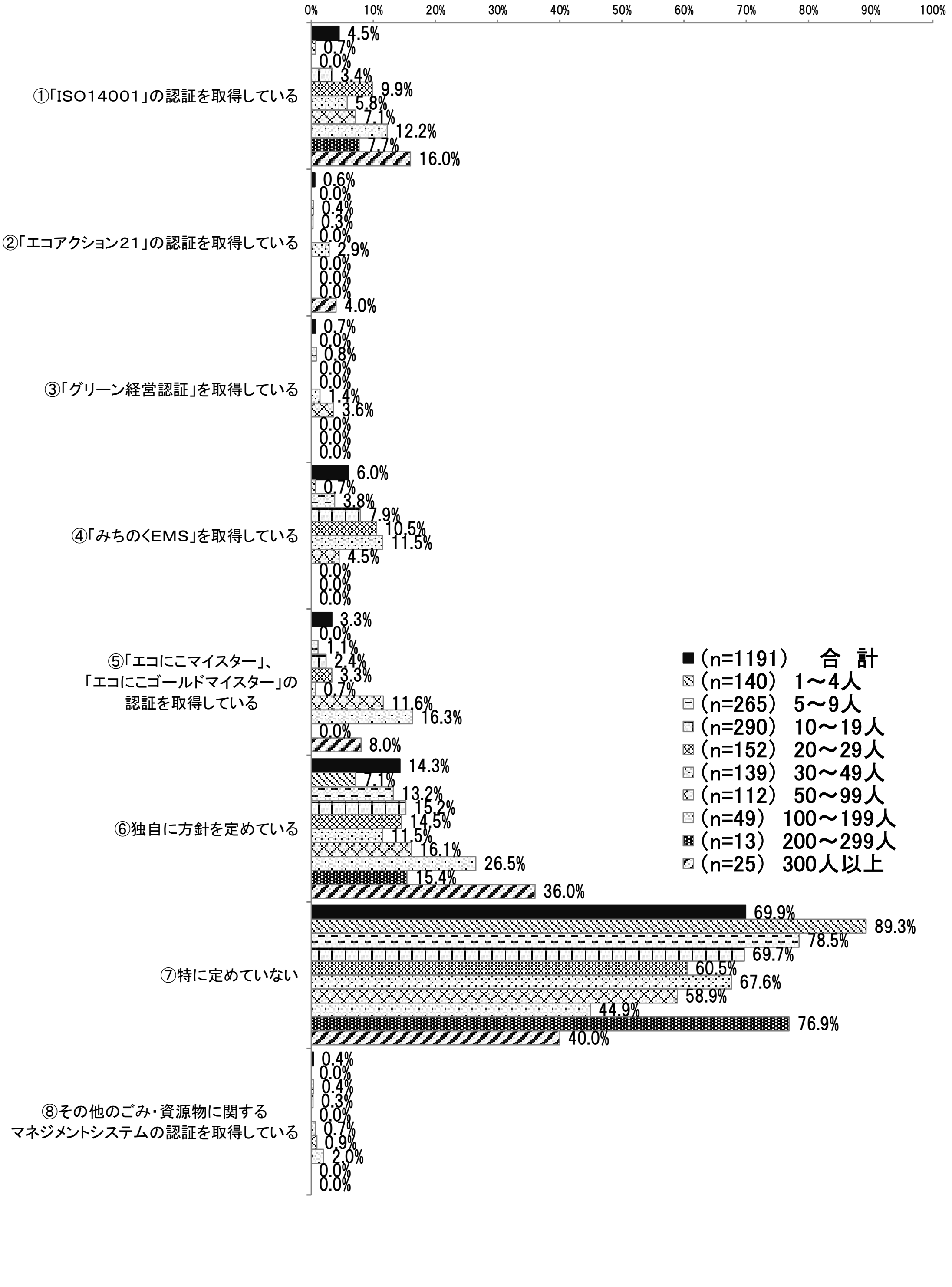
「⑦特に定めていない」の割合が最も高く 69.9%となっている。次いで、「⑥独自に方針を定めている（14.3%）」、「④「みちのくＥＭＳ」を取得している（6.0%）」となっている。

図表 162 ごみ減量・リサイクルの方針の策定状況 ※該当するものすべてを回答



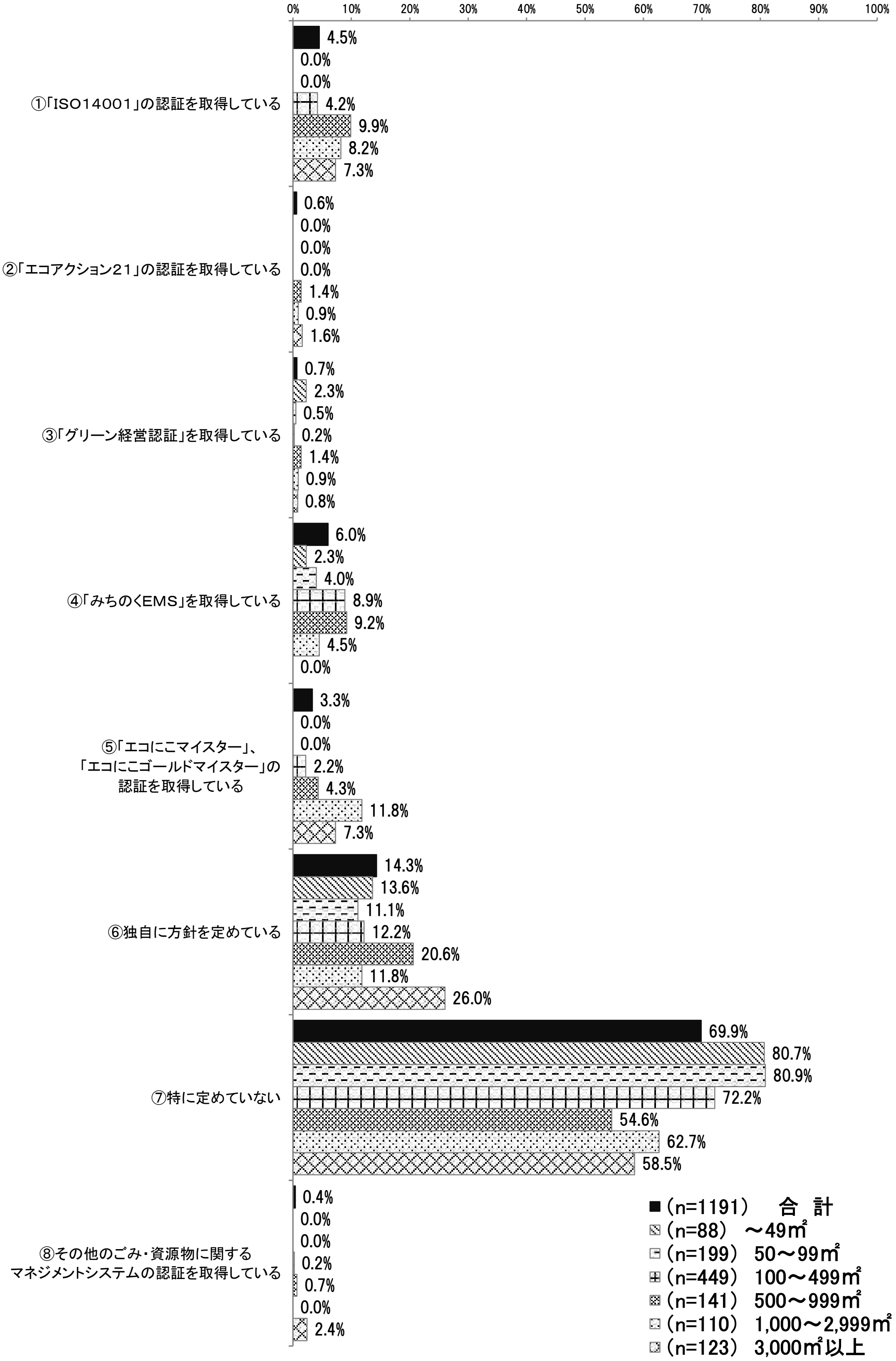
従業員数別に見ると、「⑦特に定めていない」の割合は、「200～299 人」を除き、従業員数が多いほど低い傾向にある。「①「ISO14001」の認証を取得している」や「⑥独自に方針を定めている」の割合は、従業員数が多いほど高い傾向にある。

図表 163 ごみ減量・リサイクルの方針の策定状況（従業員数別）



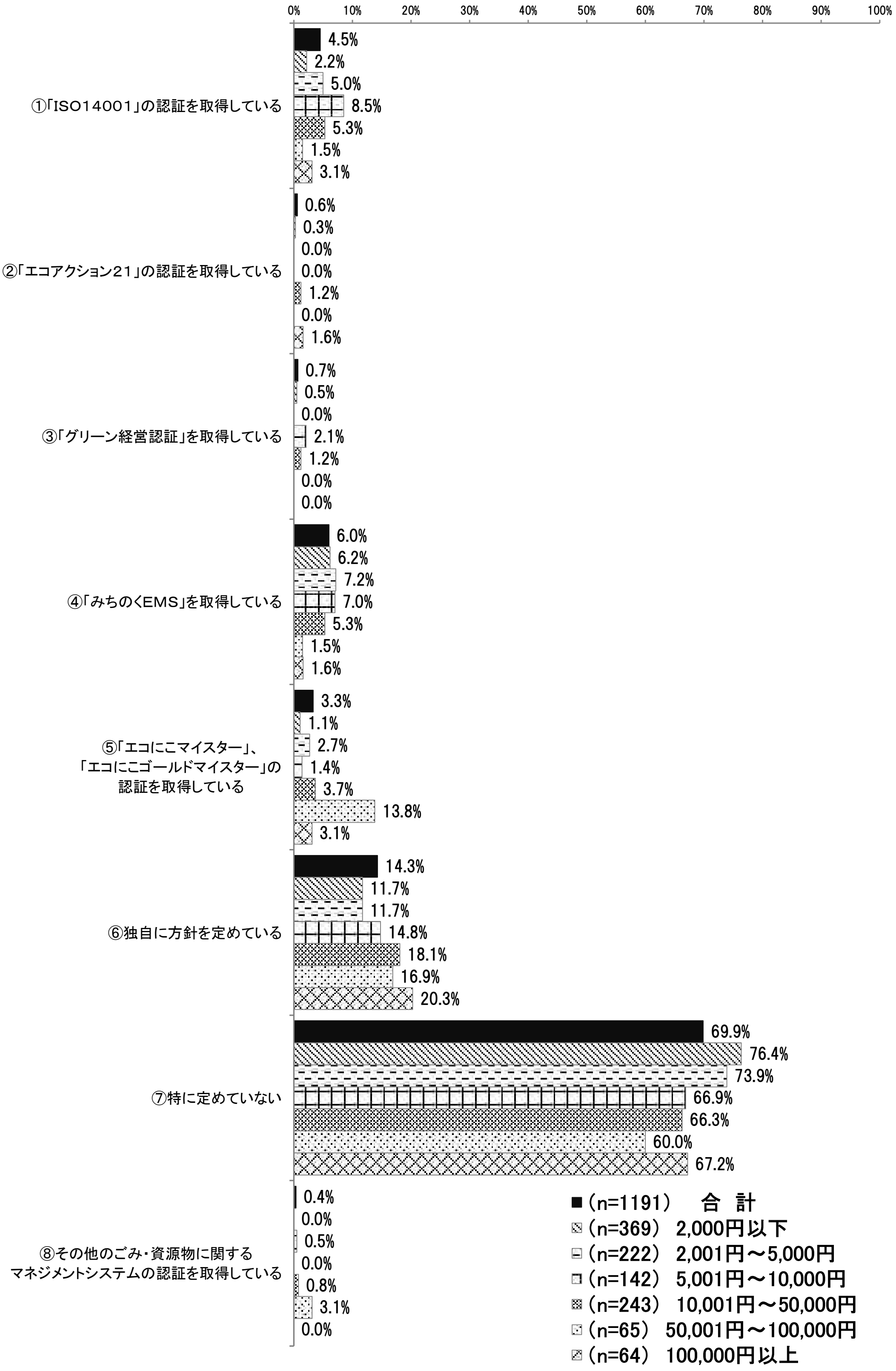
延べ床面積別に見ると、「⑦特に定めていない」の割合は、延べ床面積が大きいほど低い傾向にある。「⑥独自に方針を定めている」の割合は、延べ床面積が大きいほど高い傾向にある。

図表 164 ごみ減量・リサイクルの方針の策定状況（延べ床面積別）



1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別に見ると、いずれも「⑦特に定めていない」の割合が高い。「⑥独自に方針を定めている」の割合は、1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用が高いほど高い傾向にある。

図表 165 ごみ減量・リサイクルの方針の策定状況（1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別）

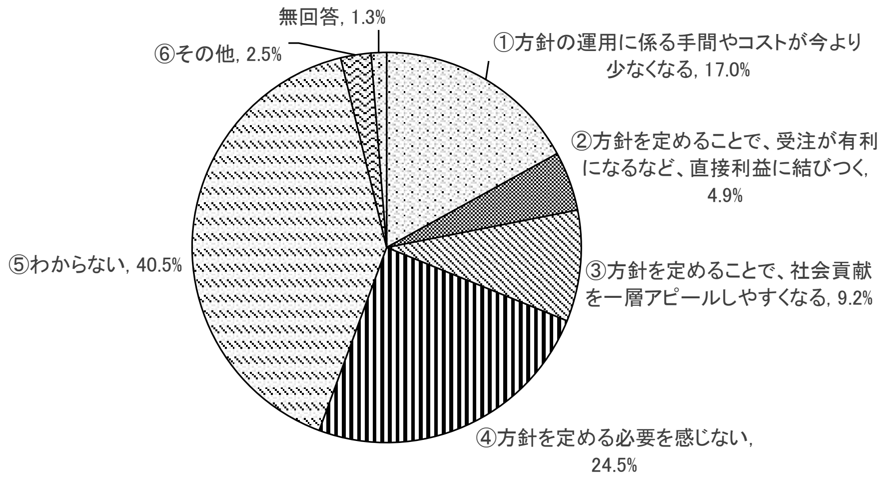


２.３.２ ごみ減量・リサイクルの方針策定の条件

「⑤わからない」の割合が最も高く 40.5%となっている。次いで、「④方針を定める必要を感じない（24.5%）」、「①方針の運用に係る手間やコストが今より少なくなる（17.0%）」となっている。

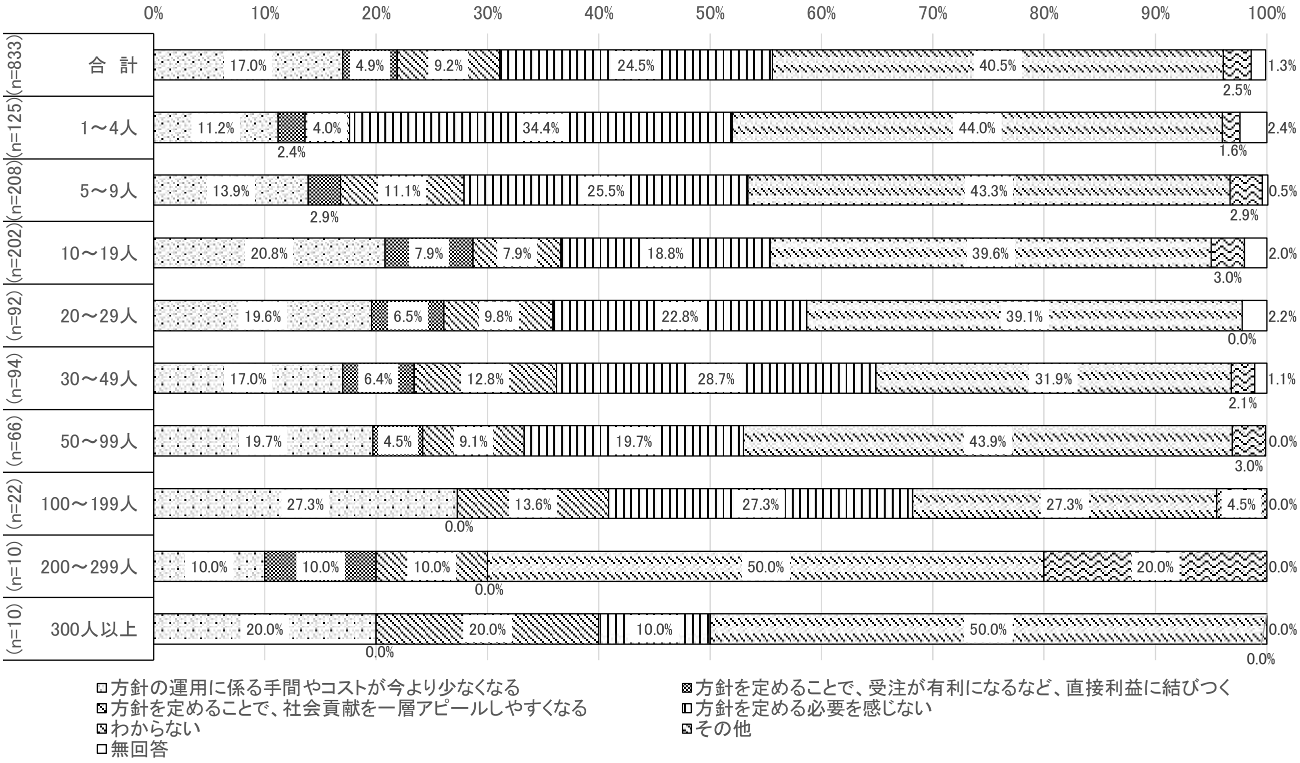
図表 166 ごみ減量･リサイクルの方針策定の条件

（n=833）



従業員数別に見ると、「方針を定める必要を感じない」の割合は、従業員数が多いほど低い傾向にある。

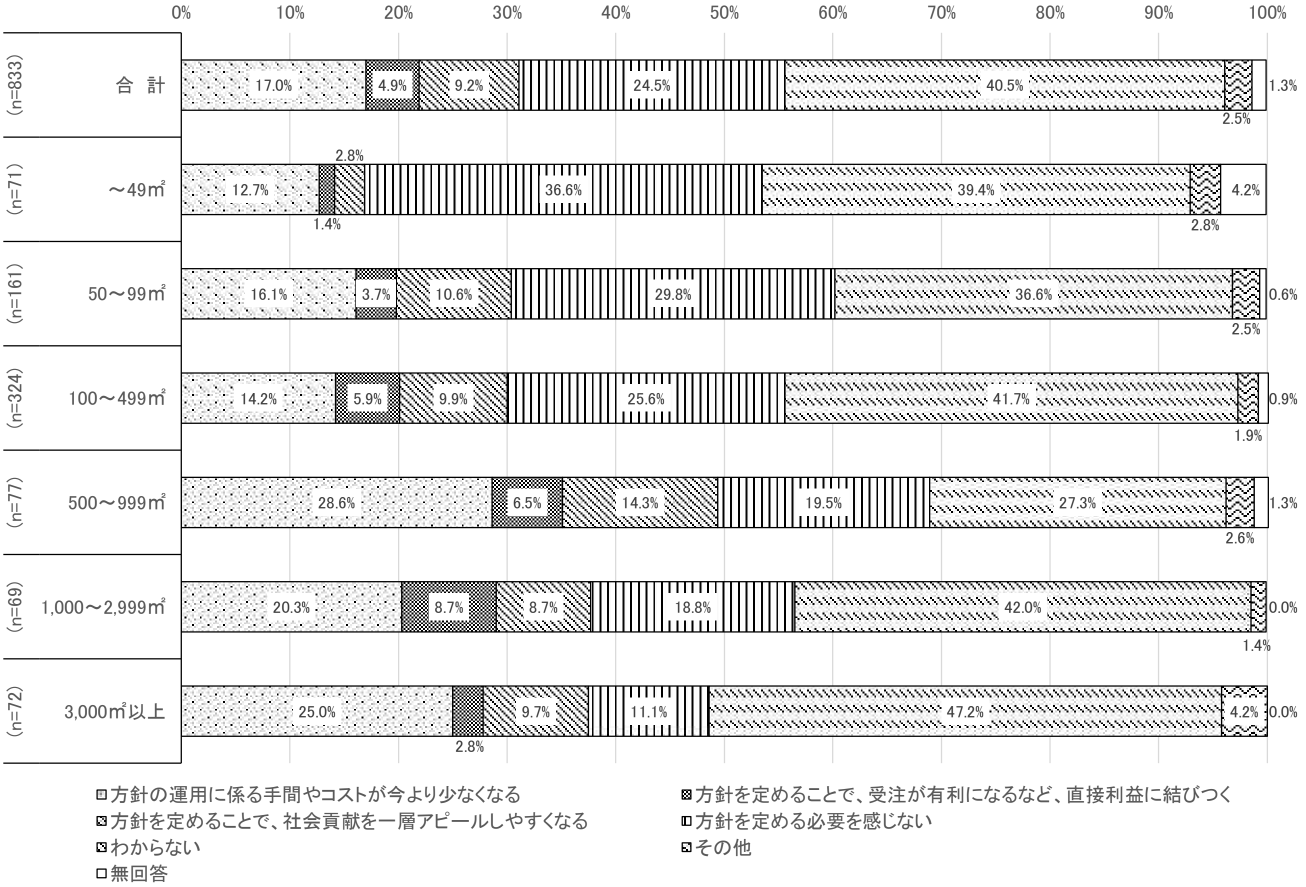
図表 167 ごみ減量・リサイクルの方針策定の条件（従業員数別）



	合 計	方針の運用に係る手間やコストが今より少なくなる	方針を定めることで、受注が有利になるなど、直接利益に結びつく	方針を定めることで、社会貢献を一層アピールしやすくなる	方針を定める必要を感じない	わからない	その他	無回答
合 計	833	142	41	77	204	337	21	11
	100.0%	17.0%	4.9%	9.2%	24.5%	40.5%	2.5%	1.3%
1〜4人	125	14	3	5	43	55	2	3
	100.0%	11.2%	2.4%	4.0%	34.4%	44.0%	1.6%	2.4%
5〜9人	208	29	6	23	53	90	6	1
	100.0%	13.9%	2.9%	11.1%	25.5%	43.3%	2.9%	0.5%
10〜19人	202	42	16	16	38	80	6	4
	100.0%	20.8%	7.9%	7.9%	18.8%	39.6%	3.0%	2.0%
20〜29人	92	18	6	9	21	36	0	2
	100.0%	19.6%	6.5%	9.8%	22.8%	39.1%	0.0%	2.2%
30〜49人	94	16	6	12	27	30	2	1
	100.0%	17.0%	6.4%	12.8%	28.7%	31.9%	2.1%	1.1%
50〜99人	66	13	3	6	13	29	2	0
	100.0%	19.7%	4.5%	9.1%	19.7%	43.9%	3.0%	0.0%
100〜199人	22	6	0	3	6	6	1	0
	100.0%	27.3%	0.0%	13.6%	27.3%	27.3%	4.5%	0.0%
200〜299人	10	1	1	1	0	5	2	0
	100.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	50.0%	20.0%	0.0%
300人以上	10	2	0	2	1	5	0	0
	100.0%	20.0%	0.0%	20.0%	10.0%	50.0%	0.0%	0.0%

延べ床面積別に見ると、「方針を定める必要を感じない」の割合は、延べ床面積が大きいほど低い傾向にある。

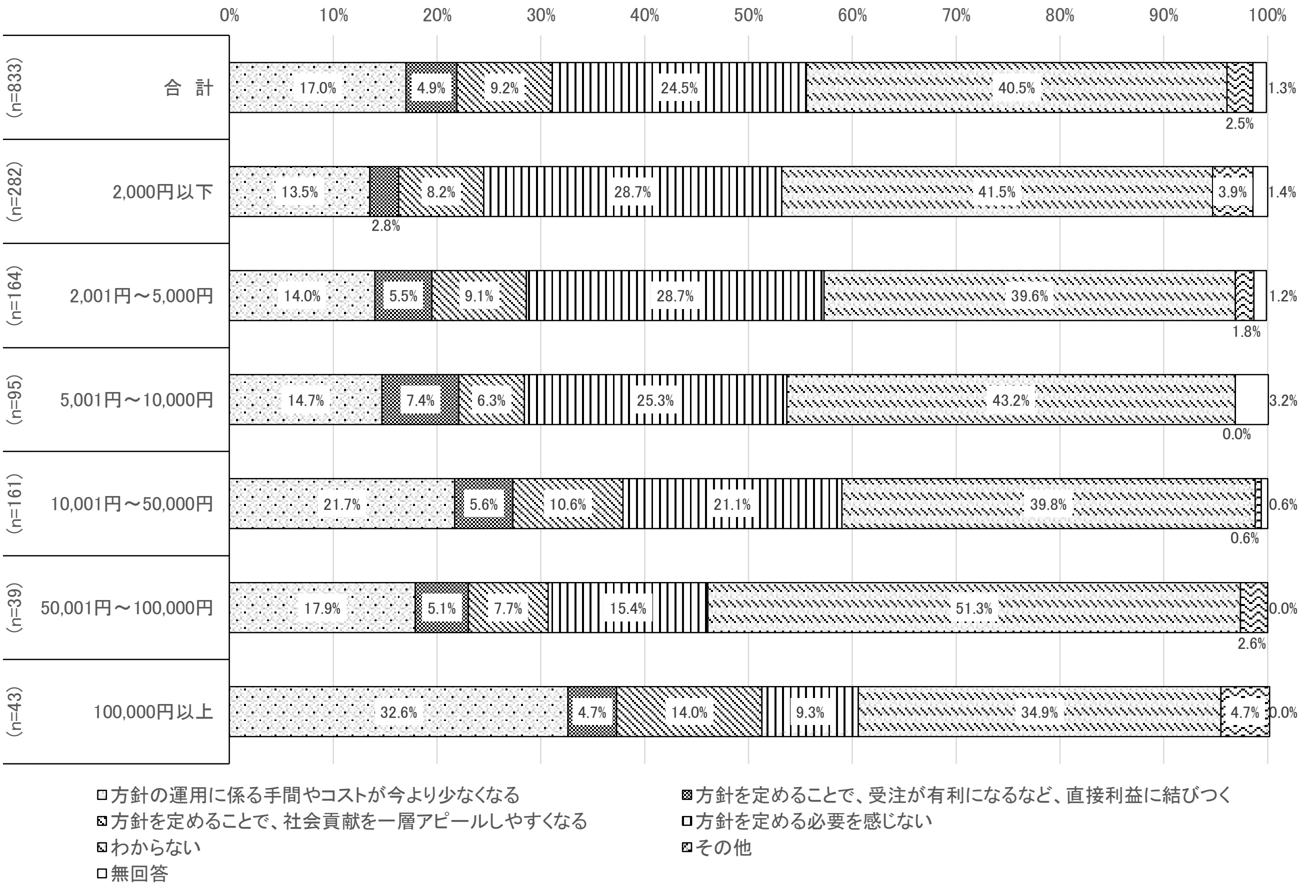
図表 168 ごみ減量･リサイクルの方針策定の条件（延べ床面積別）



	合 計	方針の運用に係る手間やコストが今より少なくなる	方針を定めることで、受注が有利になるなど、直接利益に結びつく	方針を定めることで、社会貢献を一層アピールしやすくなる	方針を定める必要を感じない	わからない	その他	無回答
合 計	833	142	41	77	204	337	21	11
	100.0%	17.0%	4.9%	9.2%	24.5%	40.5%	2.5%	1.3%
～49㎡	71	9	1	2	26	28	2	3
	100.0%	12.7%	1.4%	2.8%	36.6%	39.4%	2.8%	4.2%
50～99㎡	161	26	6	17	48	59	4	1
	100.0%	16.1%	3.7%	10.6%	29.8%	36.6%	2.5%	0.6%
100～499㎡	324	46	19	32	83	135	6	3
	100.0%	14.2%	5.9%	9.9%	25.6%	41.7%	1.9%	0.9%
500～999㎡	77	22	5	11	15	21	2	1
	100.0%	28.6%	6.5%	14.3%	19.5%	27.3%	2.6%	1.3%
1,000～2,999㎡	69	14	6	6	13	29	1	0
	100.0%	20.3%	8.7%	8.7%	18.8%	42.0%	1.4%	0.0%
3,000㎡以上	72	18	2	7	8	34	3	0
	100.0%	25.0%	2.8%	9.7%	11.1%	47.2%	4.2%	0.0%

1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別に見ると、「方針の運用に係る手間やコストが今より少なくなる」の割合は、1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用が高いほど高い傾向にある。「方針を定める必要を感じない」の割合は、1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用が高いほど低い傾向にある。

図表 169 ごみ減量・リサイクルの方針策定の条件（1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別）



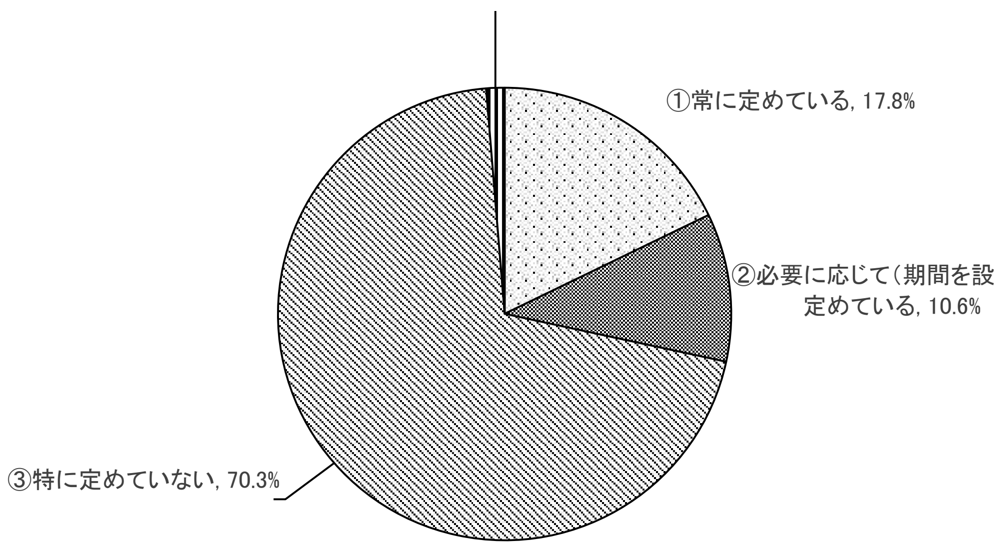
	合 計	方針の運用に係る手間やコストが今より少なくなる	方針を定めることで、受注が有利になるなど、直接利益に結びつく	方針を定めることで、社会貢献を一層アピールしやすくなる	方針を定める必要を感じない	わからない	その他	無回答
合 計	833	142	41	77	204	337	21	11
	100.0%	17.0%	4.9%	9.2%	24.5%	40.5%	2.5%	1.3%
2,000円以下	282	38	8	23	81	117	11	4
	100.0%	13.5%	2.8%	8.2%	28.7%	41.5%	3.9%	1.4%
2,001円～5,000円	164	23	9	15	47	65	3	2
	100.0%	14.0%	5.5%	9.1%	28.7%	39.6%	1.8%	1.2%
5,001円～10,000円	95	14	7	6	24	41	0	3
	100.0%	14.7%	7.4%	6.3%	25.3%	43.2%	0.0%	3.2%
10,001円～50,000円	161	35	9	17	34	64	1	1
	100.0%	21.7%	5.6%	10.6%	21.1%	39.8%	0.6%	0.6%
50,001円～100,000円	39	7	2	3	6	20	1	0
	100.0%	17.9%	5.1%	7.7%	15.4%	51.3%	2.6%	0.0%
100,000円以上	43	14	2	6	4	15	2	0
	100.0%	32.6%	4.7%	14.0%	9.3%	34.9%	4.7%	0.0%

2.3.3 ごみ減量化の責任者の有無

「③特に定めていない」の割合が最も高く 70.3％となっている。次いで、「①常に定めている（17.8％）」、「②必要に応じて（期間を設けて）定めている（10.6％）」となっている。

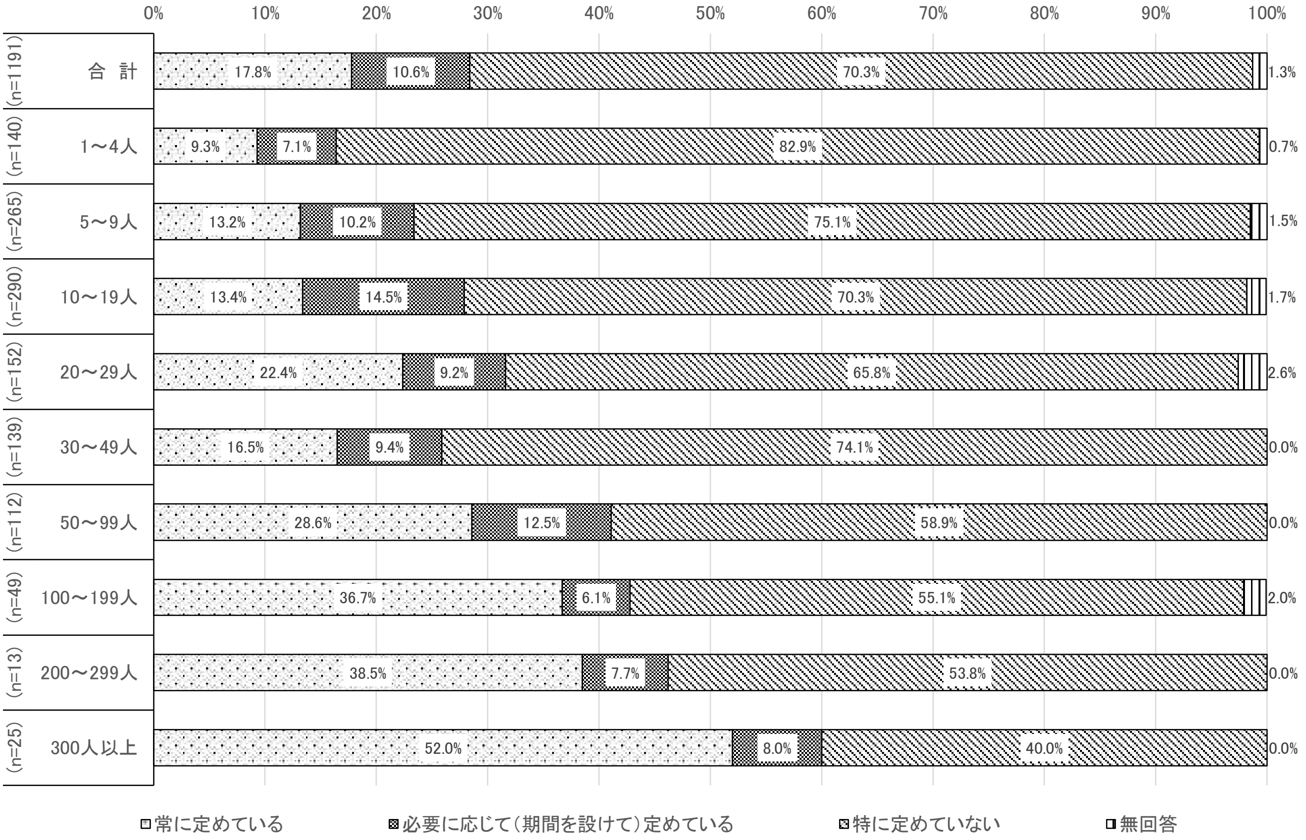
図表 170 ごみ減量化の責任者の有無

（n=1191）



従業員数別に見ると、「常に定めている」の割合は、従業員数が多いほど高い傾向にある。「特に定めていない」の割合は、従業員数が多いほど低い傾向にある。

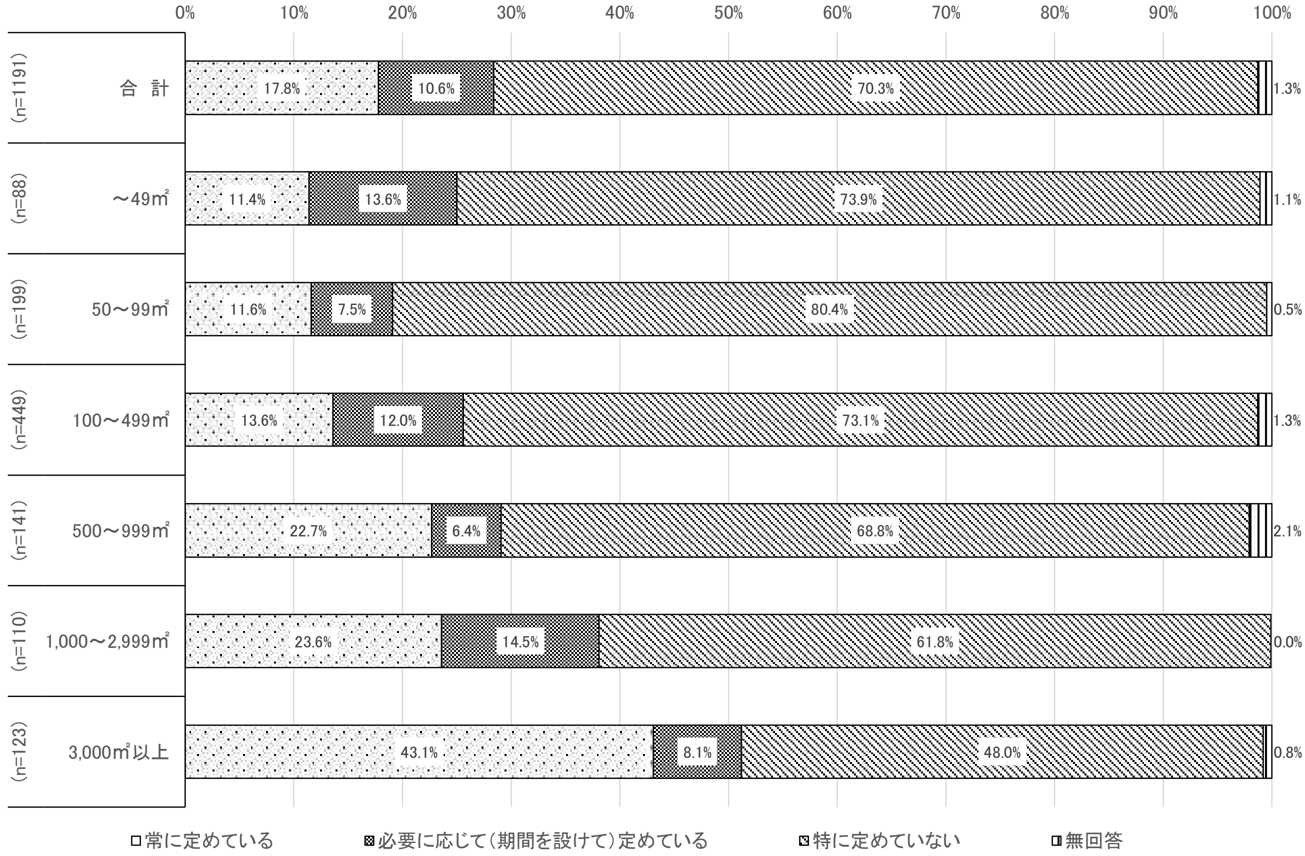
図表 171 ごみ減量化の責任者の有無(従業員数別)



	合 計	常に定めている	必要に応じて(期間を設けて)定めている	特に定めていない	無回答
合 計	1191	212	126	837	16
	100.0%	17.8%	10.6%	70.3%	1.3%
1～4人	140	13	10	116	1
	100.0%	9.3%	7.1%	82.9%	0.7%
5～9人	265	35	27	199	4
	100.0%	13.2%	10.2%	75.1%	1.5%
10～19人	290	39	42	204	5
	100.0%	13.4%	14.5%	70.3%	1.7%
20～29人	152	34	14	100	4
	100.0%	22.4%	9.2%	65.8%	2.6%
30～49人	139	23	13	103	0
	100.0%	16.5%	9.4%	74.1%	0.0%
50～99人	112	32	14	66	0
	100.0%	28.6%	12.5%	58.9%	0.0%
100～199人	49	18	3	27	1
	100.0%	36.7%	6.1%	55.1%	2.0%
200～299人	13	5	1	7	0
	100.0%	38.5%	7.7%	53.8%	0.0%
300人以上	25	13	2	10	0
	100.0%	52.0%	8.0%	40.0%	0.0%

延べ床面積別に見ると、「常に定めている」の割合は、延べ床面積が大きいほど高い傾向にある。「特に定めていない」の割合は、延べ床面積が大きいほど低い傾向にある。

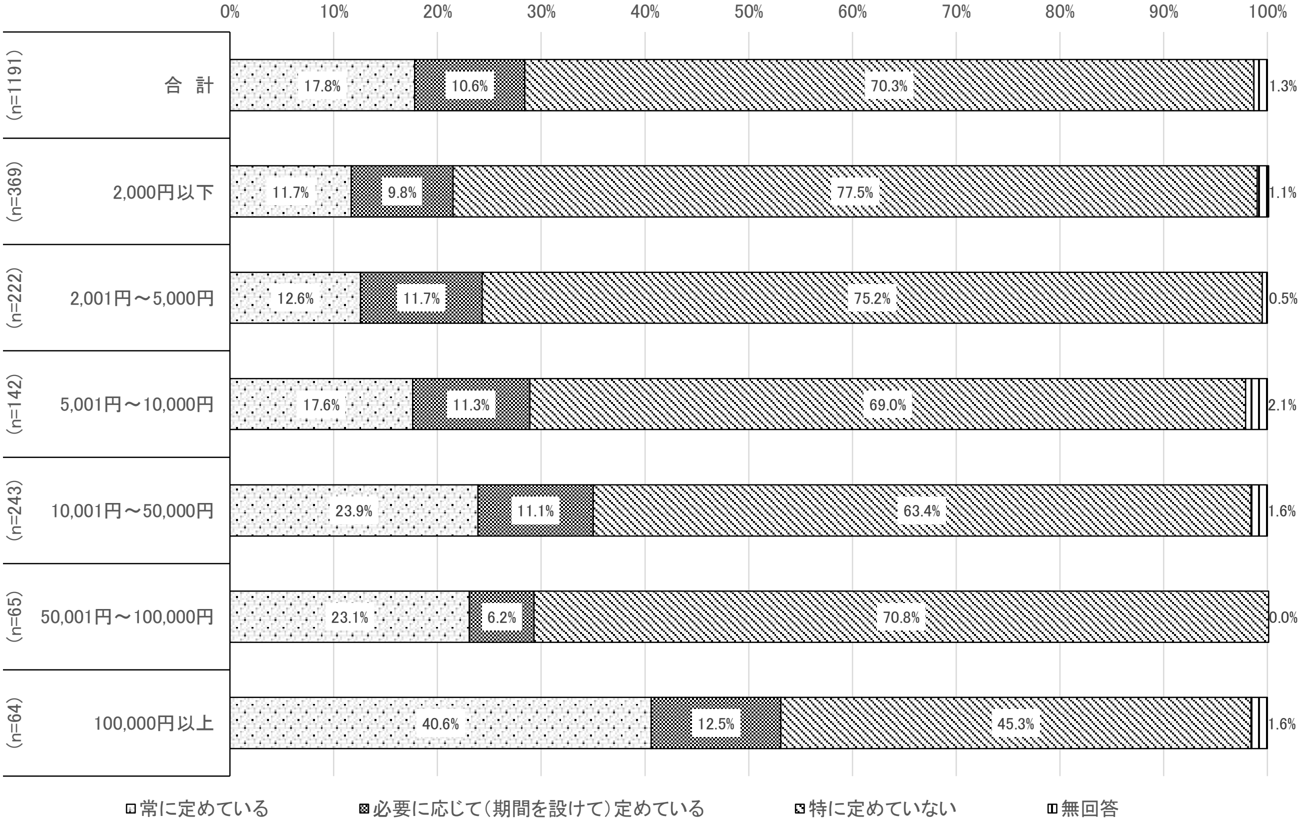
図表 172 ごみ減量化の責任者の有無(延べ床面積別)



	合 計	常に定めている	必要に応じて(期間を設けて)定めている	特に定めていない	無回答
合 計	1191	212	126	837	16
	100.0%	17.8%	10.6%	70.3%	1.3%
～49㎡	88	10	12	65	1
	100.0%	11.4%	13.6%	73.9%	1.1%
50～99㎡	199	23	15	160	1
	100.0%	11.6%	7.5%	80.4%	0.5%
100～499㎡	449	61	54	328	6
	100.0%	13.6%	12.0%	73.1%	1.3%
500～999㎡	141	32	9	97	3
	100.0%	22.7%	6.4%	68.8%	2.1%
1,000～2,999㎡	110	26	16	68	0
	100.0%	23.6%	14.5%	61.8%	0.0%
3,000㎡以上	123	53	10	59	1
	100.0%	43.1%	8.1%	48.0%	0.8%

1 ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別に見ると、「常に定めている」の割合は、1 ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用が高いほど高い傾向にある。「特に定めていない」の割合は、1 ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用が高いほど低い傾向にある。

図表 173 ごみ減量化の責任者の有無（1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別）



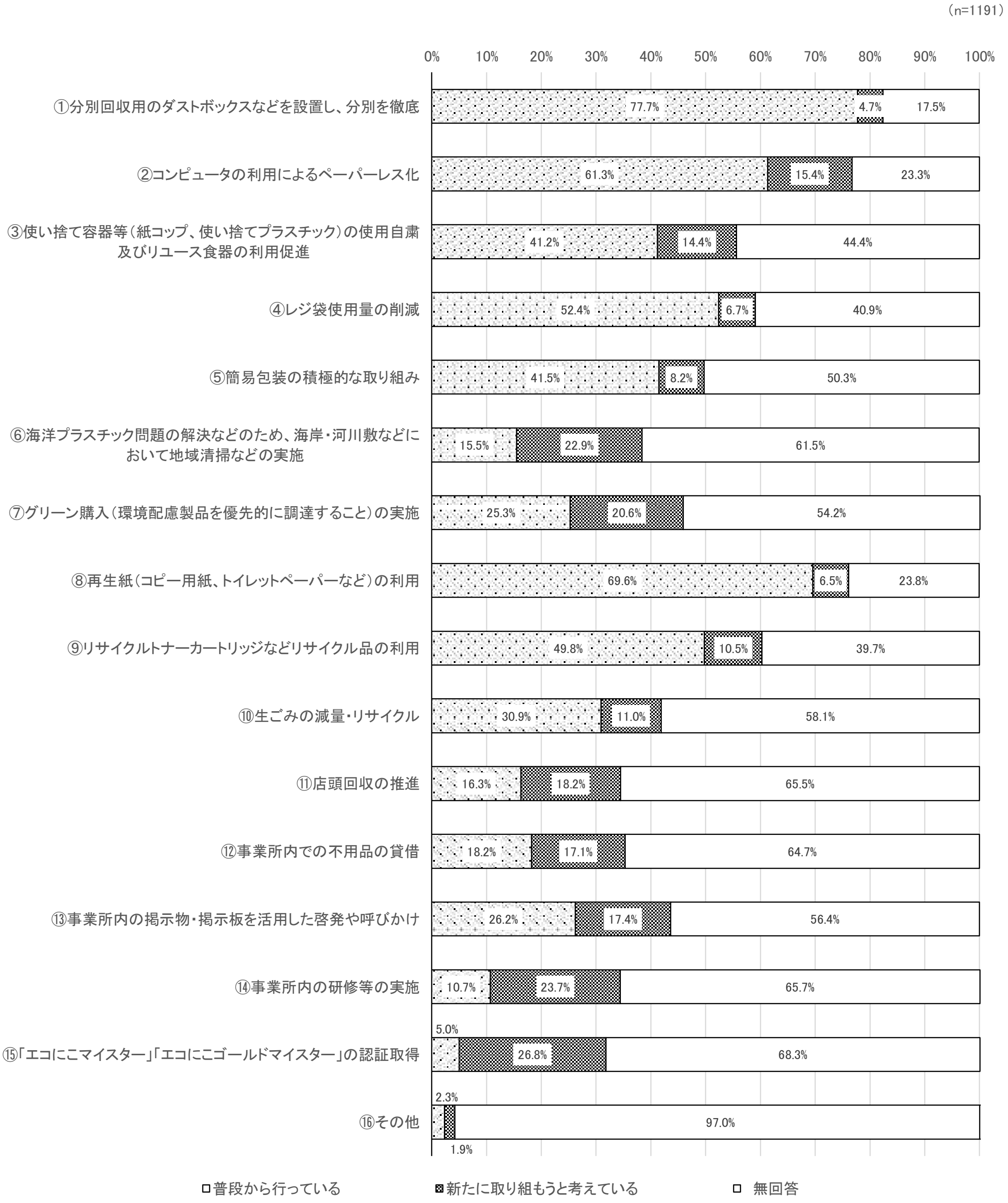
	合 計	常に定めている	必要に応じて（期間を設けて）定めている	特に定めていない	無回答
合 計	1191	212	126	837	16
	100.0%	17.8%	10.6%	70.3%	1.3%
2,000円以下	369	43	36	286	4
	100.0%	11.7%	9.8%	77.5%	1.1%
2,001円～5,000円	222	28	26	167	1
	100.0%	12.6%	11.7%	75.2%	0.5%
5,001円～10,000円	142	25	16	98	3
	100.0%	17.6%	11.3%	69.0%	2.1%
10,001円～50,000円	243	58	27	154	4
	100.0%	23.9%	11.1%	63.4%	1.6%
50,001円～100,000円	65	15	4	46	0
	100.0%	23.1%	6.2%	70.8%	0.0%
100,000円以上	64	26	8	29	1
	100.0%	40.6%	12.5%	45.3%	1.6%

２.３.４ ごみ減量・リサイクルの取り組み状況

「普段から行っている」割合が高い取り組みは、「①分別回収用のダストボックスなどを設置し、分別を徹底（77.7%）」、「⑧再生紙（コピー用紙、トイレットペーパーなど）の利用（69.6%）」、「②コンピュータの利用によるペーパーレス化（61.3%）」となっている。

「新たに取り組もうと考えている」割合が高い取り組みは、「⑮「エコにこマイスター」「エコにこゴールドマイスター」の認証取得（26.8%）」、「⑭事業所内の研修等の実施（23.7%）」、「⑥海洋プラスチック問題の解決などのため、海岸・河川敷などにおいて地域清掃などの実施（22.9%）」となっている。

図表 174 ごみ減量･リサイクルの取り組み状況 ※該当するものすべてを回答



図表 175 （参考）ごみ減量・リサイクルの取り組み状況（普段から行っている）（業種別）

	合 計	①分別回収用のダストボックスなどを設置し、分別を徹底	②コンピュータの利用によるペーパーレス化	③使い捨て容器等（紙コップ、使い捨てプラスチック）の使用自粛及びリユース食器の利用促進	④レジ袋使用量の削減	⑤簡易包装の積極的な取り組み	⑥海洋プラスチック問題の解決などのため、海岸・河川敷などにおいて地域清掃などの実施	⑦グリーン購入（環境配慮製品を優先的に調達すること）の実施	⑧再生紙（コピー用紙、トイレットペーパーなど）の利用	⑨リサイクルトナーカートリッジなどリサイクル品の利用	⑩生ごみの減量・リサイクル	⑪店頭回収の推進	⑫事業所内での不用品の貸借	⑬事業所内の掲示物・掲示板を活用した啓発や呼びかけ	⑭事業所内の研修等の実施	⑮「エコにこマイスター」「エコにこゴールドマイスター」の認証取得	⑯その他
合 計	1191	926	730	491	624	494	185	301	829	593	368	194	217	312	127	59	27
	100.0%	77.7%	61.3%	41.2%	52.4%	41.5%	15.5%	25.3%	69.6%	49.8%	30.9%	16.3%	18.2%	26.2%	10.7%	5.0%	2.3%
農林水産業	3	2	3	1	2	1	0	0	3	3	1	1	2	1	0	0	0
	100.0%	66.7%	100.0%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
土木・建設業	436	332	274	202	269	218	92	109	301	201	145	75	79	88	36	10	7
	100.0%	76.1%	62.8%	46.3%	61.7%	50.0%	21.1%	25.0%	69.0%	46.1%	33.3%	17.2%	18.1%	20.2%	8.3%	2.3%	1.6%
食品製造業	17	12	11	4	6	6	2	4	10	10	6	1	2	6	1	1	0
	100.0%	70.6%	64.7%	23.5%	35.3%	35.3%	11.8%	23.5%	58.8%	58.8%	35.3%	5.9%	11.8%	35.3%	5.9%	5.9%	0.0%
食品以外の製造業	37	27	22	10	16	12	5	13	24	20	10	6	7	11	7	4	1
	100.0%	73.0%	59.5%	27.0%	43.2%	32.4%	13.5%	35.1%	64.9%	54.1%	27.0%	16.2%	18.9%	29.7%	18.9%	10.8%	2.7%
運輸・通信業	59	48	34	19	29	19	3	14	42	33	18	8	8	19	6	1	2
	100.0%	81.4%	57.6%	32.2%	49.2%	32.2%	5.1%	23.7%	71.2%	55.9%	30.5%	13.6%	13.6%	32.2%	10.2%	1.7%	3.4%
デパート・スーパーマーケット	6	5	5	3	5	5	2	2	6	5	4	4	2	5	4	2	0
	100.0%	83.3%	83.3%	50.0%	83.3%	83.3%	33.3%	33.3%	100.0%	83.3%	66.7%	66.7%	33.3%	83.3%	66.7%	33.3%	0.0%
コンビニエンスストア	7	5	4	3	5	5	2	3	7	5	4	0	3	5	0	2	0
	100.0%	71.4%	57.1%	42.9%	71.4%	71.4%	28.6%	42.9%	100.0%	71.4%	57.1%	0.0%	42.9%	71.4%	0.0%	28.6%	0.0%
その他の食品小売業	23	18	17	16	17	18	12	13	20	19	15	10	12	16	10	9	0
	100.0%	78.3%	73.9%	69.6%	73.9%	78.3%	52.2%	56.5%	87.0%	82.6%	65.2%	43.5%	52.2%	69.6%	43.5%	39.1%	0.0%
食品以外の小売業	76	63	39	29	49	36	5	19	49	40	22	15	17	18	7	2	1
	100.0%	82.9%	51.3%	38.2%	64.5%	47.4%	6.6%	25.0%	64.5%	52.6%	28.9%	19.7%	22.4%	23.7%	9.2%	2.6%	1.3%
不動産業	76	55	34	29	37	26	9	11	49	22	19	7	6	13	5	1	1
	100.0%	72.4%	44.7%	38.2%	48.7%	34.2%	11.8%	14.5%	64.5%	28.9%	25.0%	9.2%	7.9%	17.1%	6.6%	1.3%	1.3%
ホテル・旅館業	14	11	8	5	8	6	2	2	8	9	6	1	2	4	1	0	0
	100.0%	78.6%	57.1%	35.7%	57.1%	42.9%	14.3%	14.3%	57.1%	64.3%	42.9%	7.1%	14.3%	28.6%	7.1%	0.0%	0.0%
金融・保険業	9	7	9	4	2	2	1	1	6	6	2	1	1	2	1	1	0
	100.0%	77.8%	100.0%	44.4%	22.2%	22.2%	11.1%	11.1%	66.7%	66.7%	22.2%	11.1%	11.1%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%
飲食業	14	7	7	7	9	5	1	1	8	6	5	3	3	3	1	0	0
	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	64.3%	35.7%	7.1%	7.1%	57.1%	42.9%	35.7%	21.4%	21.4%	21.4%	7.1%	0.0%	0.0%
サービス業	122	97	83	52	57	38	20	31	82	65	31	24	21	33	12	7	3
	100.0%	79.5%	68.0%	42.6%	46.7%	31.1%	16.4%	25.4%	67.2%	53.3%	25.4%	19.7%	17.2%	27.0%	9.8%	5.7%	2.5%
物品賃貸業	8	4	4	3	2	3	0	1	5	5	1	0	1	1	0	0	1
	100.0%	50.0%	50.0%	37.5%	25.0%	37.5%	0.0%	12.5%	62.5%	62.5%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%
学校・学習支援業	18	16	13	4	4	2	1	11	15	9	5	1	4	8	2	0	1
	100.0%	88.9%	72.2%	22.2%	22.2%	11.1%	5.6%	61.1%	83.3%	50.0%	27.8%	5.6%	22.2%	44.4%	11.1%	0.0%	5.6%
医療・福祉機関	31	27	17	9	11	3	1	5	20	20	8	4	3	5	2	1	1
	100.0%	87.1%	54.8%	29.0%	35.5%	9.7%	3.2%	16.1%	64.5%	64.5%	25.8%	12.9%	9.7%	16.1%	6.5%	3.2%	3.2%
その他	222	182	141	88	90	85	26	60	164	111	62	31	42	73	32	18	9
	100.0%	82.0%	63.5%	39.6%	40.5%	38.3%	11.7%	27.0%	73.9%	50.0%	27.9%	14.0%	18.9%	32.9%	14.4%	8.1%	4.1%

図表 176 （参考）ごみ減量・リサイクルの取り組み状況（普段から行っている）（従業員数別）

	合 計	①分別回収用のダストボックスなどを設置し、分別を徹底	②コンピュータの利用によるペーパーレス化	③使い捨て容器等（紙コップ、使い捨てプラスチック）の使用自粛及びリユース食器の利用促進	④レジ袋使用量の削減	⑤簡易包装の積極的な取り組み	⑥海洋プラスチック問題の解決などのため、海岸・河川敷などにおいて地域清掃などの実施	⑦グリーン購入（環境配慮製品を優先的に調達すること）の実施	⑧再生紙（コピー用紙、トイレットペーパーなど）の利用	⑨リサイクルトナーカートリッジなどリサイクル品の利用	⑩生ごみの減量・リサイクル	⑪店頭回収の推進	⑫事業所内での不用品の貸借	⑬事業所内の掲示物・掲示板を活用した啓発や呼びかけ	⑭事業所内の研修等の実施	⑮「エコにこマイスター」「エコにこゴールドマイスター」の認証取得	⑯その他
合 計	1191	926	730	491	624	494	185	301	829	593	368	194	217	312	127	59	27
	100.0%	77.7%	61.3%	41.2%	52.4%	41.5%	15.5%	25.3%	69.6%	49.8%	30.9%	16.3%	18.2%	26.2%	10.7%	5.0%	2.3%
1～4人	140	94	76	60	78	62	17	21	92	59	39	22	17	20	13	4	0
	100.0%	67.1%	54.3%	42.9%	55.7%	44.3%	12.1%	15.0%	65.7%	42.1%	27.9%	15.7%	12.1%	14.3%	9.3%	2.9%	0.0%
5～9人	265	197	156	114	160	122	25	48	174	115	80	40	43	48	19	6	6
	100.0%	74.3%	58.9%	43.0%	60.4%	46.0%	9.4%	18.1%	65.7%	43.4%	30.2%	15.1%	16.2%	18.1%	7.2%	2.3%	2.3%
10～19人	290	229	167	119	144	126	44	72	203	141	84	45	49	67	18	12	3
	100.0%	79.0%	57.6%	41.0%	49.7%	43.4%	15.2%	24.8%	70.0%	48.6%	29.0%	15.5%	16.9%	23.1%	6.2%	4.1%	1.0%
20～29人	152	121	94	65	90	63	33	45	112	78	60	32	31	50	15	7	4
	100.0%	79.6%	61.8%	42.8%	59.2%	41.4%	21.7%	29.6%	73.7%	51.3%	39.5%	21.1%	20.4%	32.9%	9.9%	4.6%	2.6%
30～49人	139	108	87	48	62	50	29	38	90	79	37	19	27	43	18	5	4
	100.0%	77.7%	62.6%	34.5%	44.6%	36.0%	20.9%	27.3%	64.7%	56.8%	26.6%	13.7%	19.4%	30.9%	12.9%	3.6%	2.9%
50～99人	112	96	78	48	54	39	16	42	87	65	36	18	24	37	17	14	6
	100.0%	85.7%	69.6%	42.9%	48.2%	34.8%	14.3%	37.5%	77.7%	58.0%	32.1%	16.1%	21.4%	33.0%	15.2%	12.5%	5.4%
100～199人	49	43	35	20	19	17	11	20	37	26	17	8	14	25	14	8	2
	100.0%	87.8%	71.4%	40.8%	38.8%	34.7%	22.4%	40.8%	75.5%	53.1%	34.7%	16.3%	28.6%	51.0%	28.6%	16.3%	4.1%
200～299人	13	11	11	3	4	2	1	4	10	9	4	1	3	5	3	0	0
	100.0%	84.6%	84.6%	23.1%	30.8%	15.4%	7.7%	30.8%	76.9%	69.2%	30.8%	7.7%	23.1%	38.5%	23.1%	0.0%	0.0%
300人以上	25	23	21	12	10	11	8	11	19	19	9	6	8	17	10	3	2
	100.0%	92.0%	84.0%	48.0%	40.0%	44.0%	32.0%	44.0%	76.0%	76.0%	36.0%	24.0%	32.0%	68.0%	40.0%	12.0%	8.0%
無回答	6	4	5	2	3	2	1	0	5	2	2	3	1	0	0	0	0
	100.0%	66.7%	83.3%	33.3%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	83.3%	33.3%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 177 （参考）ごみ減量・リサイクルの取り組み状況（新たに取り組もうと考えている）（従業員数別）

	合 計	①分別回収用のダストボックスなどを設置し、分別を徹底	②コンピュータの利用によるペーパーレス化	③使い捨て容器等（紙コップ、使い捨てプラスチック）の使用自粛及びリユース食器の利用促進	④レジ袋使用量の削減	⑤簡易包装の積極的な取り組み	⑥海洋プラスチック問題の解決などのため、海岸・河川敷などにおいて地域清掃などの実施	⑦グリーン購入（環境配慮製品を優先的に調達すること）の実施	⑧再生紙（コピー用紙、トイレットペーパーなど）の利用	⑨リサイクルトナーカートリッジなどリサイクル品の利用	⑩生ごみの減量・リサイクル	⑪店頭回収の推進	⑫事業所内での不用品の貸借	⑬事業所内の掲示物・掲示板を活用した啓発や呼びかけ	⑭事業所内の研修等の実施	⑮「エコにこマイスター」「エコにこゴールドマイスター」の認証取得	⑯その他
合 計	1191	56	183	171	80	98	273	245	78	125	131	217	204	207	282	319	23
	100.0%	4.7%	15.4%	14.4%	6.7%	8.2%	22.9%	20.6%	6.5%	10.5%	11.0%	18.2%	17.1%	17.4%	23.7%	26.8%	1.9%
1～4人	140	10	23	19	10	10	27	32	11	17	15	22	25	27	27	31	1
	100.0%	7.1%	16.4%	13.6%	7.1%	7.1%	19.3%	22.9%	7.9%	12.1%	10.7%	15.7%	17.9%	19.3%	19.3%	22.1%	0.7%
5～9人	265	11	38	36	13	22	74	63	24	35	34	57	55	59	77	86	5
	100.0%	4.2%	14.3%	13.6%	4.9%	8.3%	27.9%	23.8%	9.1%	13.2%	12.8%	21.5%	20.8%	22.3%	29.1%	32.5%	1.9%
10～19人	290	12	52	46	22	24	77	65	17	31	37	64	55	52	80	81	2
	100.0%	4.1%	17.9%	15.9%	7.6%	8.3%	26.6%	22.4%	5.9%	10.7%	12.8%	22.1%	19.0%	17.9%	27.6%	27.9%	0.7%
20～29人	152	10	29	23	9	15	35	32	9	17	15	26	30	29	39	45	6
	100.0%	6.6%	19.1%	15.1%	5.9%	9.9%	23.0%	21.1%	5.9%	11.2%	9.9%	17.1%	19.7%	19.1%	25.7%	29.6%	3.9%
30～49人	139	7	22	21	11	11	27	25	8	10	13	22	16	18	28	34	4
	100.0%	5.0%	15.8%	15.1%	7.9%	7.9%	19.4%	18.0%	5.8%	7.2%	9.4%	15.8%	11.5%	12.9%	20.1%	24.5%	2.9%
50～99人	112	4	13	14	6	10	21	20	4	8	13	17	14	16	21	23	3
	100.0%	3.6%	11.6%	12.5%	5.4%	8.9%	18.8%	17.9%	3.6%	7.1%	11.6%	15.2%	12.5%	14.3%	18.8%	20.5%	2.7%
100～199人	49	0	2	7	6	4	8	5	3	5	2	5	6	3	6	10	0
	100.0%	0.0%	4.1%	14.3%	12.2%	8.2%	16.3%	10.2%	6.1%	10.2%	4.1%	10.2%	12.2%	6.1%	12.2%	20.4%	0.0%
200～299人	13	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
	100.0%	0.0%	7.7%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%
300人以上	25	1	3	2	3	2	3	2	2	2	2	4	3	1	3	7	2
	100.0%	4.0%	12.0%	8.0%	12.0%	8.0%	12.0%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	16.0%	12.0%	4.0%	12.0%	28.0%	8.0%

図表 178 （参考）ごみ減量・リサイクルの取り組み状況（普段から行っている）（1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別）

	合 計	①分別回収用のダストボックスなどを設置し、分別を徹底	②コンピュータの利用によるペーパーレス化	③使い捨て容器等（紙コップ、使い捨てプラスチック）の使用自粛及びリユース食器の利用促進	④レジ袋使用量の削減	⑤簡易包装の積極的な取り組み	⑥海洋プラスチック問題の解決などのため、海岸・河川敷などにおいて地域清掃などの実施	⑦グリーン購入（環境配慮製品を優先的に調達すること）の実施	⑧再生紙（コピー用紙、トイレットペーパーなど）の利用	⑨リサイクルトナーカートリッジなどリサイクル品の利用	⑩生ごみの減量・リサイクル	⑪店頭回収の推進	⑫事業所内での不用品の貸借	⑬事業所内の掲示物・掲示板を活用した啓発や呼びかけ	⑭事業所内の研修等の実施	⑮「エコにこマイスター」「エコにこゴールドマイスター」の認証取得	⑯その他
合 計	1191	926	730	491	624	494	185	301	829	593	368	194	217	312	127	59	27
	100.0%	77.7%	61.3%	41.2%	52.4%	41.5%	15.5%	25.3%	69.6%	49.8%	30.9%	16.3%	18.2%	26.2%	10.7%	5.0%	2.3%
2,000円以下	369	280	222	167	209	176	47	82	271	173	120	64	63	71	26	11	11
	100.0%	75.9%	60.2%	45.3%	56.6%	47.7%	12.7%	22.2%	73.4%	46.9%	32.5%	17.3%	17.1%	19.2%	7.0%	3.0%	3.0%
2,001円～5,000円	222	169	149	92	114	81	39	51	146	107	58	38	37	49	19	10	2
	100.0%	76.1%	67.1%	41.4%	51.4%	36.5%	17.6%	23.0%	65.8%	48.2%	26.1%	17.1%	16.7%	22.1%	8.6%	4.5%	0.9%
5,001円～10,000円	142	117	87	56	63	53	24	36	92	74	35	21	19	43	17	5	4
	100.0%	82.4%	61.3%	39.4%	44.4%	37.3%	16.9%	25.4%	64.8%	52.1%	24.6%	14.8%	13.4%	30.3%	12.0%	3.5%	2.8%
10,001円～50,000円	243	190	141	101	138	108	36	67	176	125	83	43	53	82	36	15	7
	100.0%	78.2%	58.0%	41.6%	56.8%	44.4%	14.8%	27.6%	72.4%	51.4%	34.2%	17.7%	21.8%	33.7%	14.8%	6.2%	2.9%
50,001円～100,000円	65	52	44	21	30	22	13	20	44	36	21	8	12	21	11	8	2
	100.0%	80.0%	67.7%	32.3%	46.2%	33.8%	20.0%	30.8%	67.7%	55.4%	32.3%	12.3%	18.5%	32.3%	16.9%	12.3%	3.1%
100,000円以上	64	51	40	19	27	25	7	12	39	34	23	9	13	20	7	3	0
	100.0%	79.7%	62.5%	29.7%	42.2%	39.1%	10.9%	18.8%	60.9%	53.1%	35.9%	14.1%	20.3%	31.3%	10.9%	4.7%	0.0%

図表 179 （参考）ごみ減量・リサイクルの取り組み状況（新たに取り組もうと考えている）（1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別）

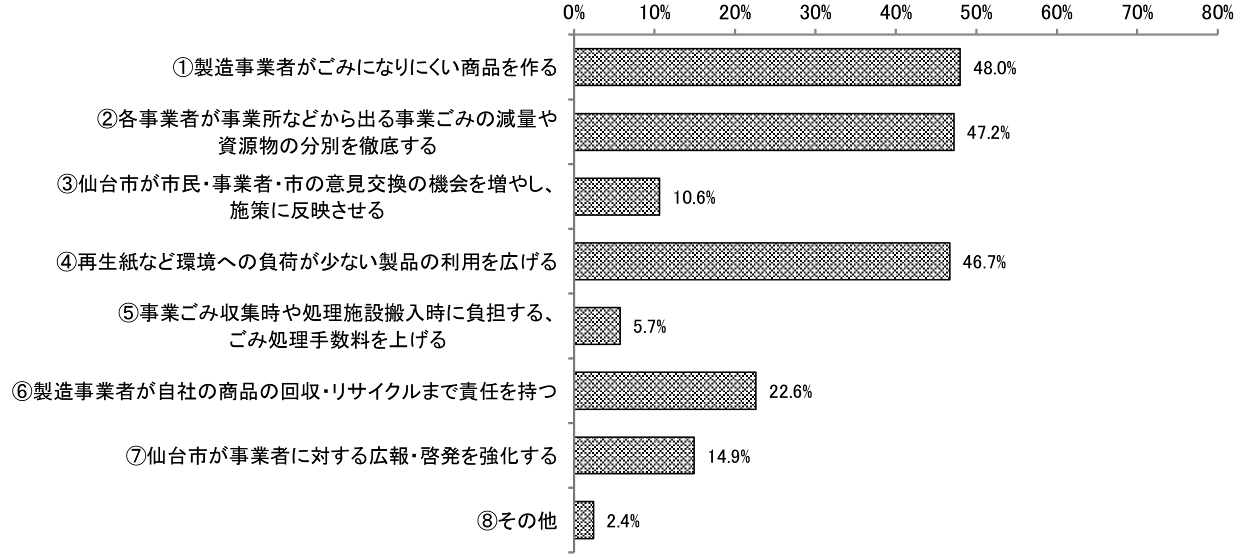
	合 計	①分別回収用のダストボックスなどを設置し、分別を徹底	②コンピュータの利用によるペーパーレス化	③使い捨て容器等（紙コップ、使い捨てプラスチック）の使用自粛及びリユース食器の利用促進	④レジ袋使用量の削減	⑤簡易包装の積極的な取り組み	⑥海洋プラスチック問題の解決などのため、海岸・河川敷などにおいて地域清掃などの実施	⑦グリーン購入（環境配慮製品を優先的に調達すること）の実施	⑧再生紙（コピー用紙、トイレットペーパーなど）の利用	⑨リサイクルトナーカートリッジなどリサイクル品の利用	⑩生ごみの減量・リサイクル	⑪店頭回収の推進	⑫事業所内での不用品の貸借	⑬事業所内の掲示物・掲示板を活用した啓発や呼びかけ	⑭事業所内の研修等の実施	⑮「エコにこマイスター」「エコにこゴールドマイスター」の認証取得	⑯その他
合 計	1191	56	183	171	80	98	273	245	78	125	131	217	204	207	282	319	23
	100.0%	4.7%	15.4%	14.4%	6.7%	8.2%	22.9%	20.6%	6.5%	10.5%	11.0%	18.2%	17.1%	17.4%	23.7%	26.8%	1.9%
2,000円以下	369	18	65	56	26	25	93	80	19	36	39	73	71	82	97	102	9
	100.0%	4.9%	17.6%	15.2%	7.0%	6.8%	25.2%	21.7%	5.1%	9.8%	10.6%	19.8%	19.2%	22.2%	26.3%	27.6%	2.4%
2,001円～5,000円	222	12	27	26	12	19	44	45	15	17	25	33	34	33	49	57	3
	100.0%	5.4%	12.2%	11.7%	5.4%	8.6%	19.8%	20.3%	6.8%	7.7%	11.3%	14.9%	15.3%	14.9%	22.1%	25.7%	1.4%
5,001円～10,000円	142	7	27	23	12	10	29	24	15	16	13	23	23	20	30	37	2
	100.0%	4.9%	19.0%	16.2%	8.5%	7.0%	20.4%	16.9%	10.6%	11.3%	9.2%	16.2%	16.2%	14.1%	21.1%	26.1%	1.4%
10,001円～50,000円	243	11	34	35	15	22	62	53	13	33	30	47	42	40	60	73	7
	100.0%	4.5%	14.0%	14.4%	6.2%	9.1%	25.5%	21.8%	5.3%	13.6%	12.3%	19.3%	17.3%	16.5%	24.7%	30.0%	2.9%
50,001円～100,000円	65	3	9	14	6	10	18	17	7	8	11	19	16	13	18	20	1
	100.0%	4.6%	13.8%	21.5%	9.2%	15.4%	27.7%	26.2%	10.8%	12.3%	16.9%	29.2%	24.6%	20.0%	27.7%	30.8%	1.5%
100,000円以上	64	2	7	8	4	4	11	12	5	3	5	6	7	6	10	11	0
	100.0%	3.1%	10.9%	12.5%	6.3%	6.3%	17.2%	18.8%	7.8%	4.7%	7.8%	9.4%	10.9%	9.4%	15.6%	17.2%	0.0%

2.3.5 ごみ減量・リサイクルに有効な方法

「①製造事業者がごみになりにくい商品を作る」の割合が最も高く 48.0%となっている。次いで、「②各事業者が事業所などから出る事業ごみの減量や資源物の分別を徹底する（47.2%）」、「④再生紙など環境への負荷が少ない製品の利用を広げる（46.7%）」となっている。

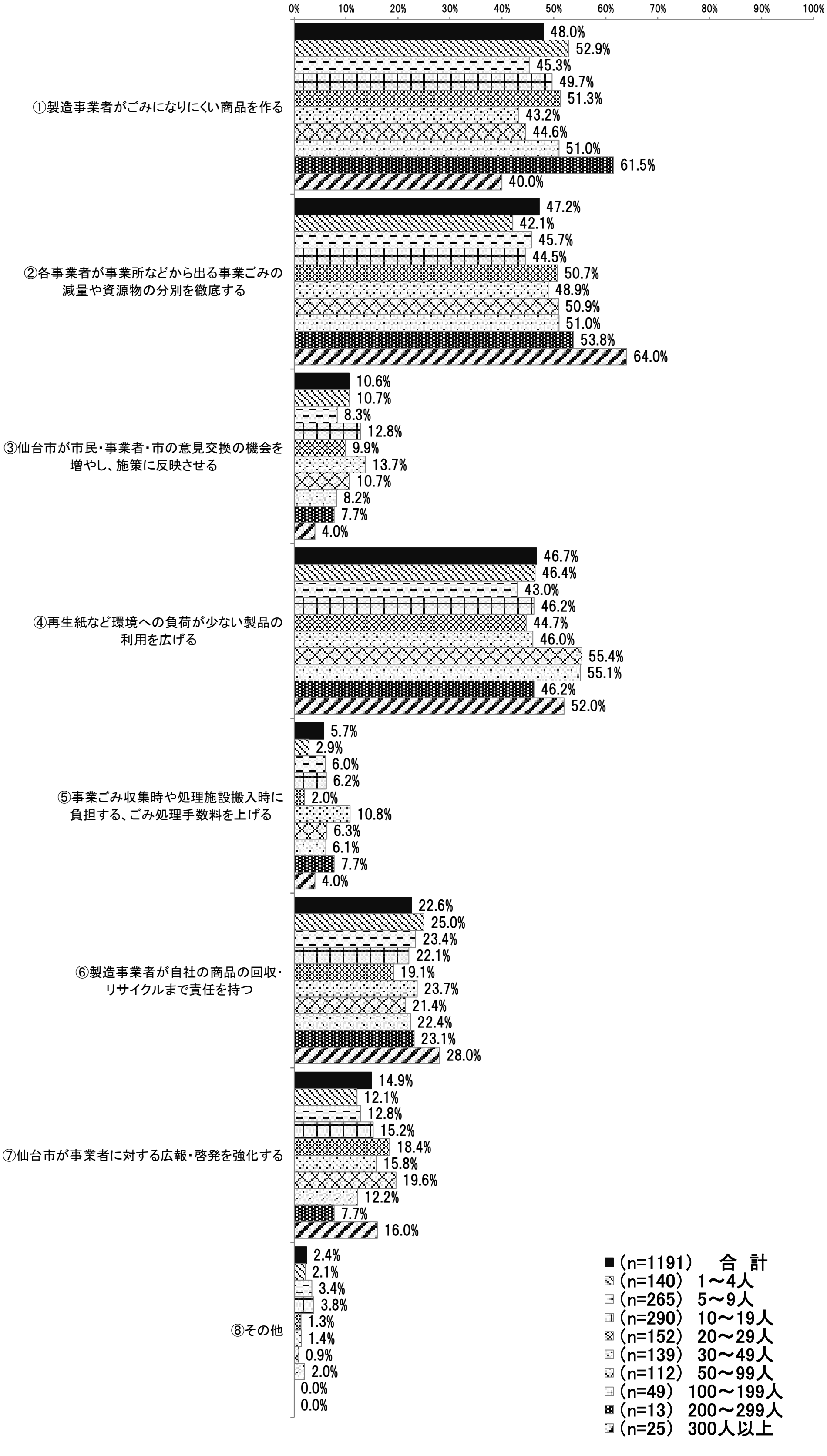
図表 180 ごみ減量・リサイクルに有効な方法 ※該当するもの3つまで回答

（n=1191）



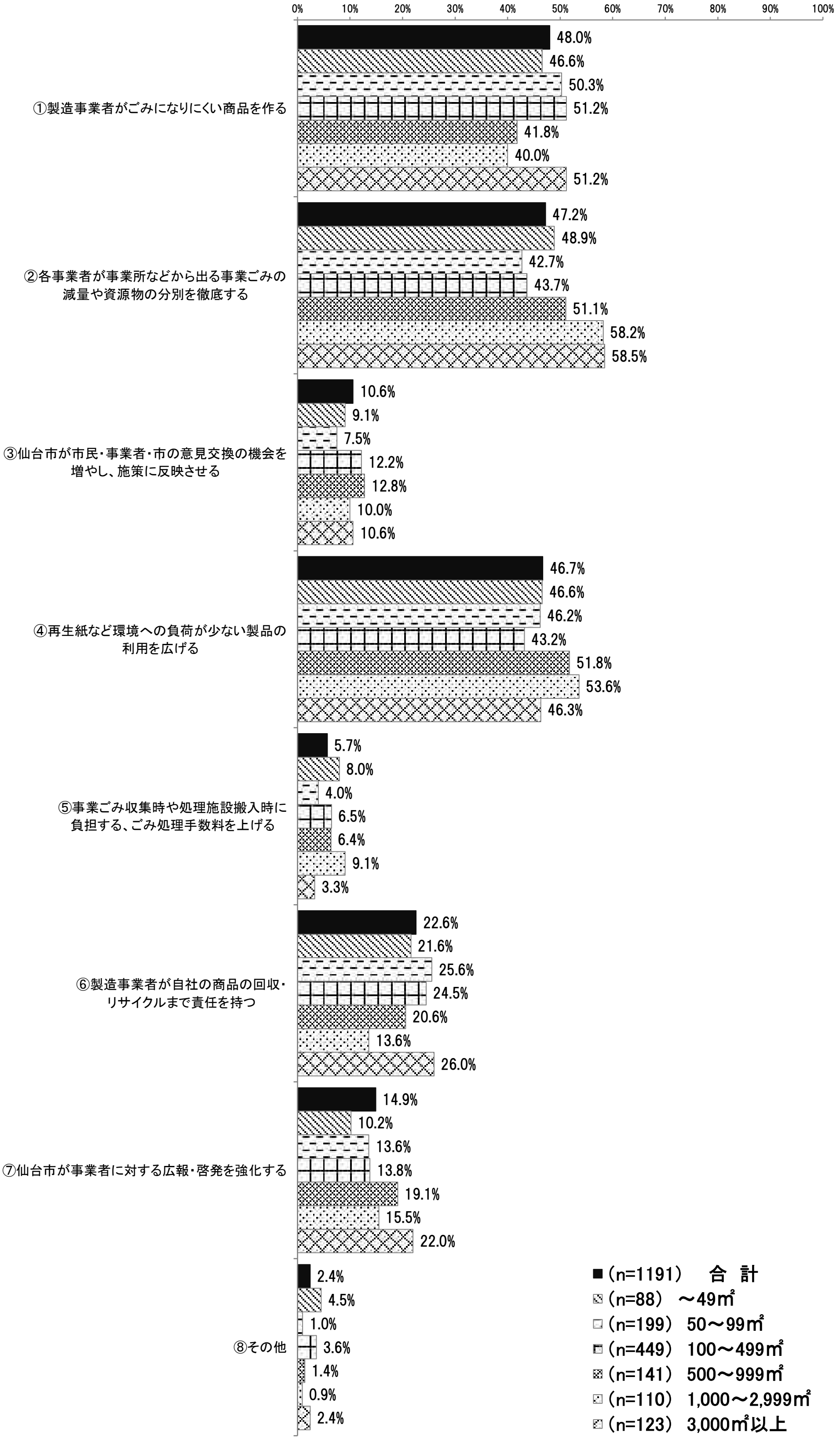
従業員数別に見ると、「②各事業者が事業所などから出る事業ごみの減量や資源物の分別を徹底する」の割合は、従業員数が多いほど高い傾向にある。

図表 181 ごみ減量・リサイクルに有効な方法（従業員数別）



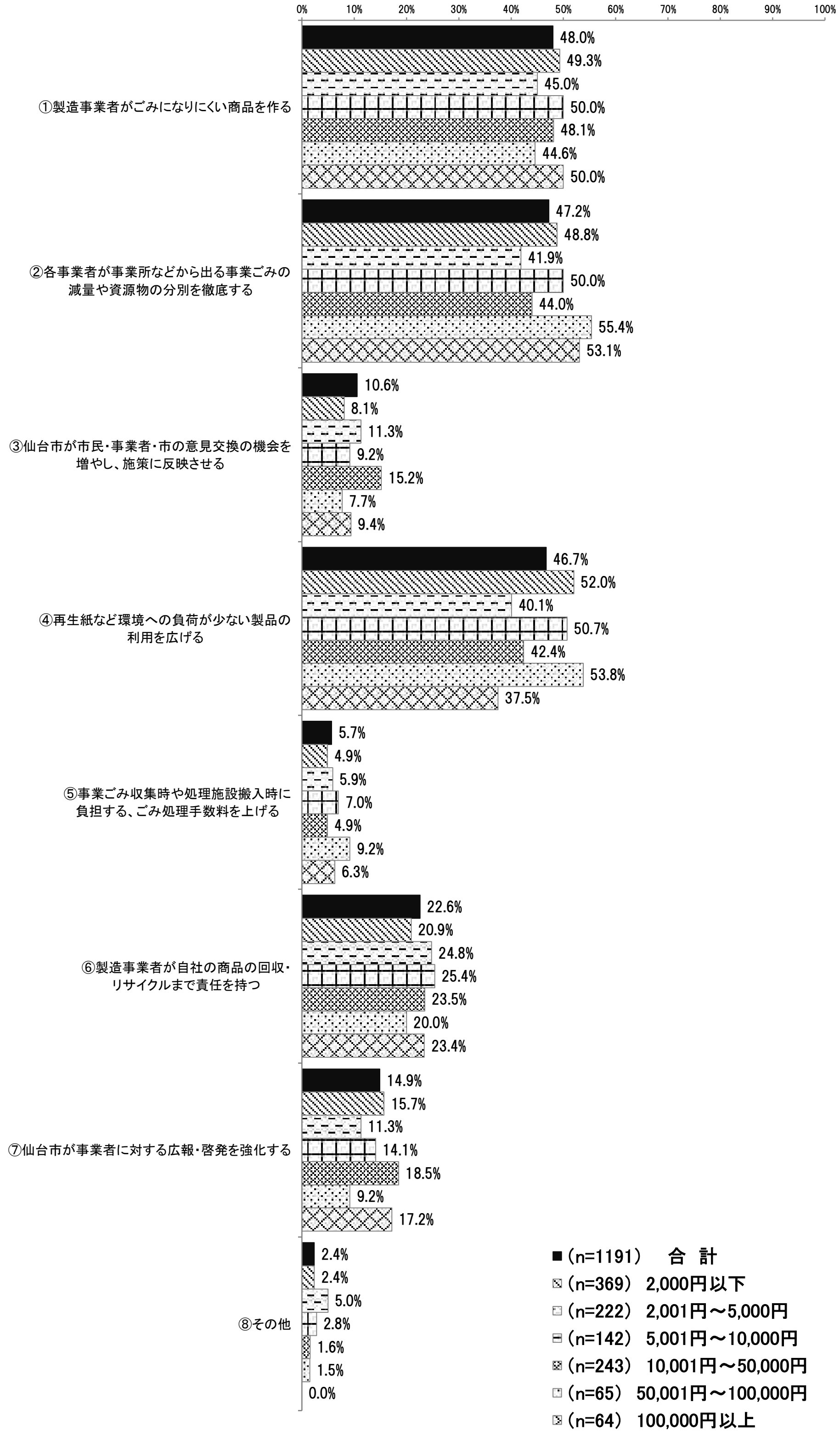
延べ床面積別に見ると、「②各事業者が事業所などから出る事業ごみの減量や資源物の分別を徹底する」の割合は、延べ床面積が大きいほど高い傾向にある。

図表 182 ごみ減量・リサイクルに有効な方法（延べ床面積別）



1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別に見ると、「50,001 円～100,000 円」における「②各事業者が事業所などから出る事業ごみの減量や資源物の分別を徹底する（55.4%）」、「④再生紙など環境への負荷が少ない製品の利用を広げる（53.8%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

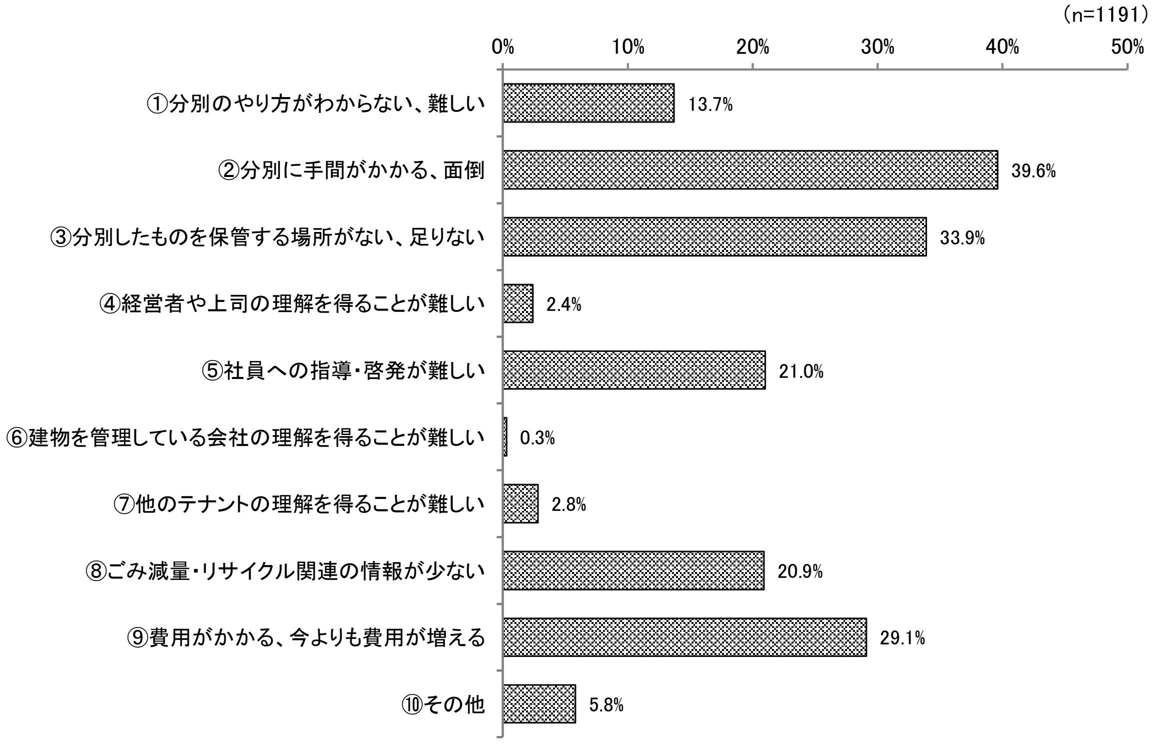
図表 183 ごみ減量・リサイクルに有効な方法（1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別）



２.３.６ ごみ減量・リサイクルの課題

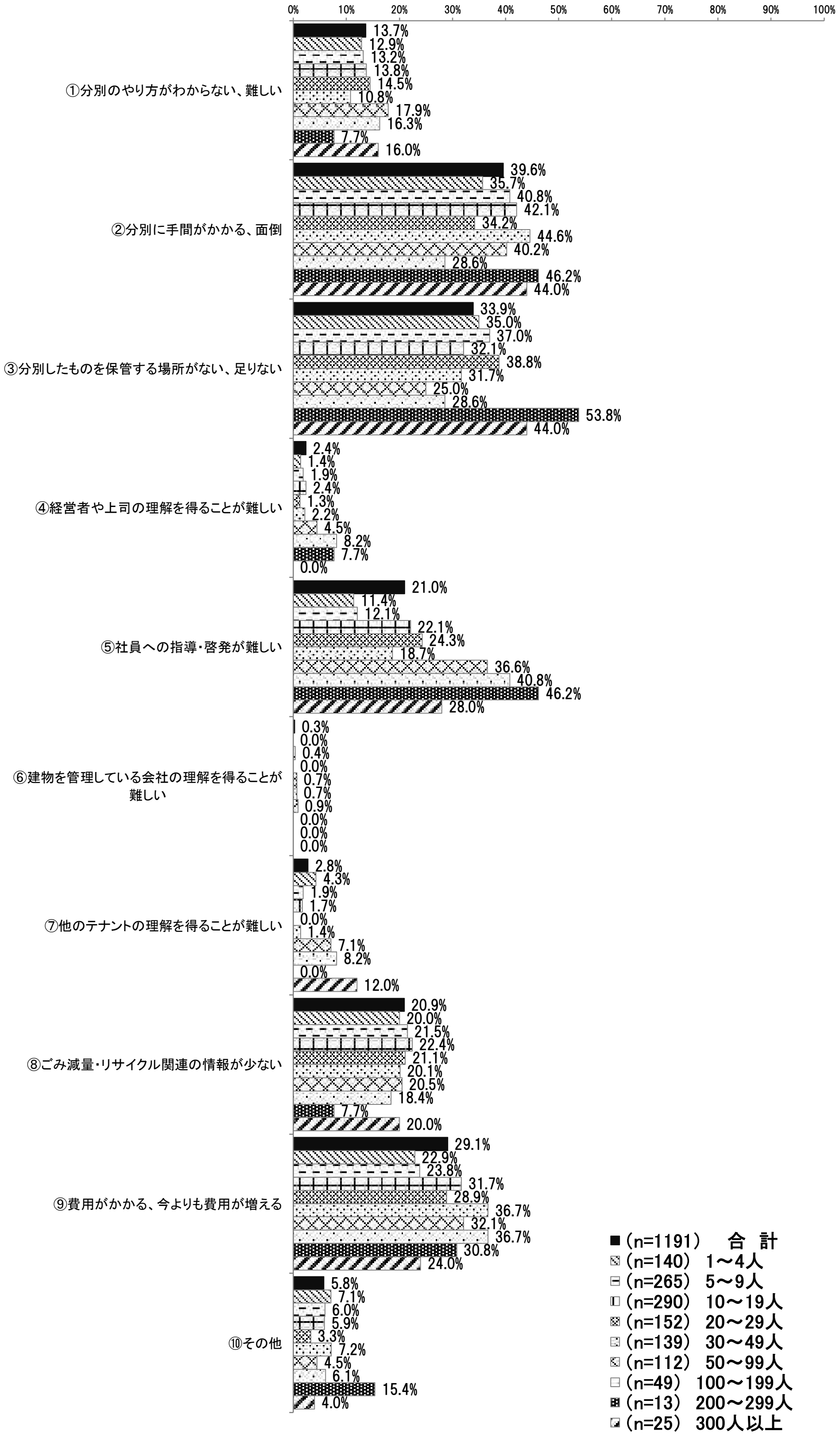
「②分別に手間がかかる、面倒」の割合が最も高く 39.6%となっている。次いで、「③分別したものを保管する場所がない、足りない（33.9%）」、「⑨費用がかかる、今よりも費用が増える（29.1%）」となっている。

図表 184 ごみ減量･リサイクルの課題 ※該当するもの3つまで回答



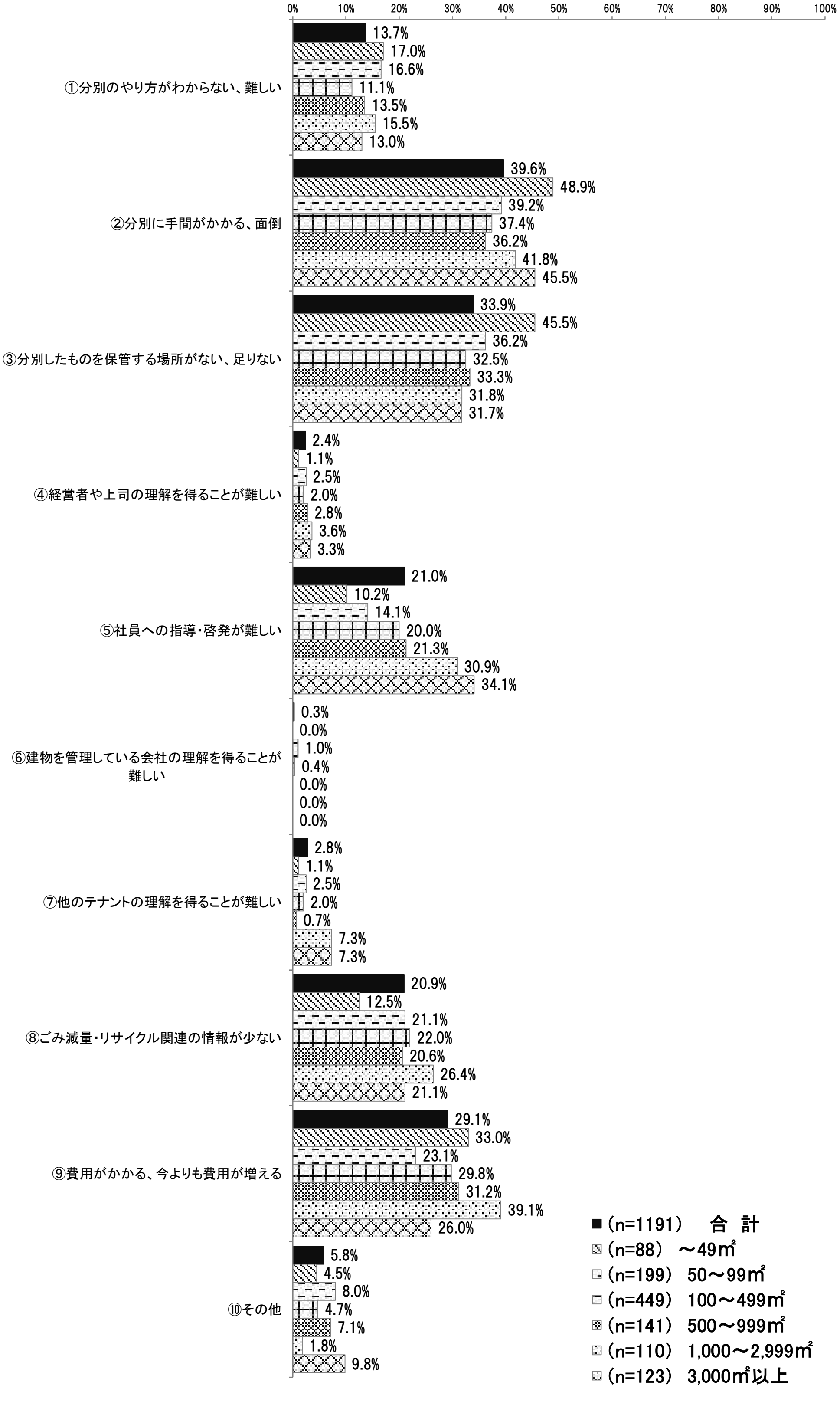
従業員数別に見ると、「200～299 人」における「②分別に手間がかかる、面倒（46.2%）」、「③分別したものを保管する場所がない、足りない（53.8%）」、「⑤社員への指導・啓発が難しい（46.2%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

図表 185 ごみ減量・リサイクルの課題（従業員数別）



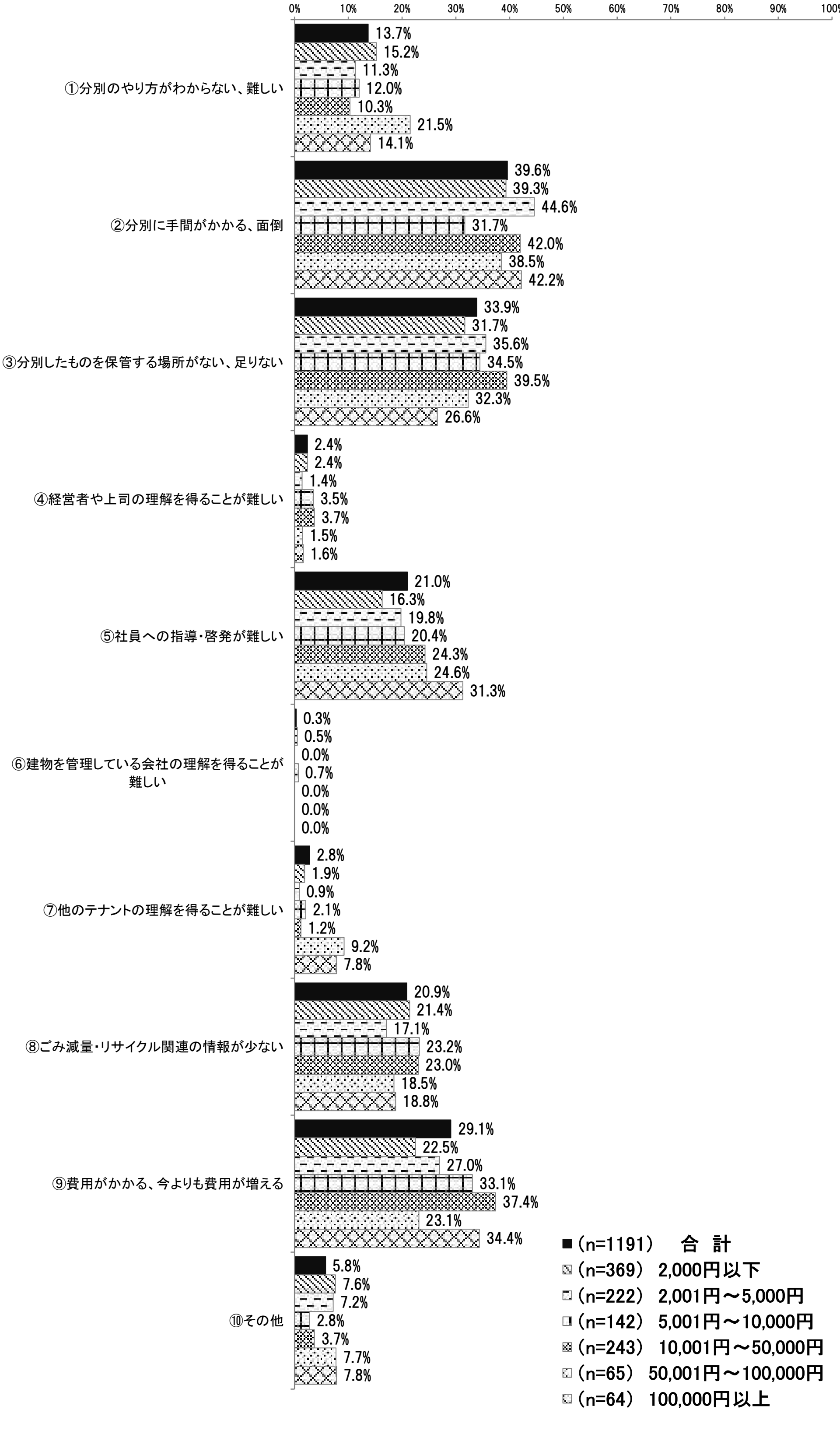
延べ床面積別に見ると、「③分別したものを保管する場所がない、足りない」の割合は、延床面積が大きいほど低い傾向にある一方で、「⑤社員への指導・啓発が難しい」の割合は、延べ床面積が大きいほど高い傾向にある。

図表 186 ごみ減量・リサイクルの課題（延べ床面積別）



１ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別に見ると、「⑤社員への指導・啓発が難しい」、「⑨費用がかかる、今よりも費用が増える」の割合は、１ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用が高いほど高い傾向にある。

図表 187 ごみ減量・リサイクルの課題（1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別）

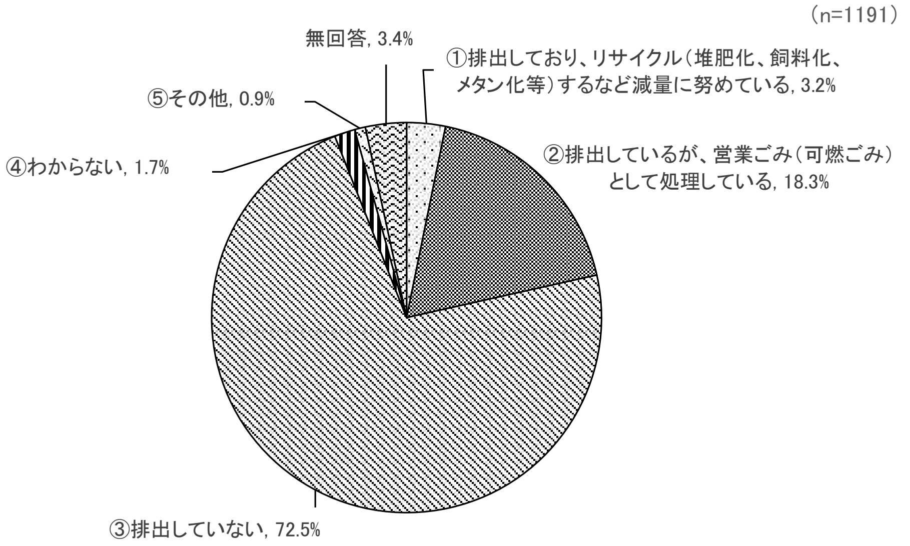


２.４ 食品廃棄物・食品ロスについて

２.４.１ 食品廃棄物の排出状況

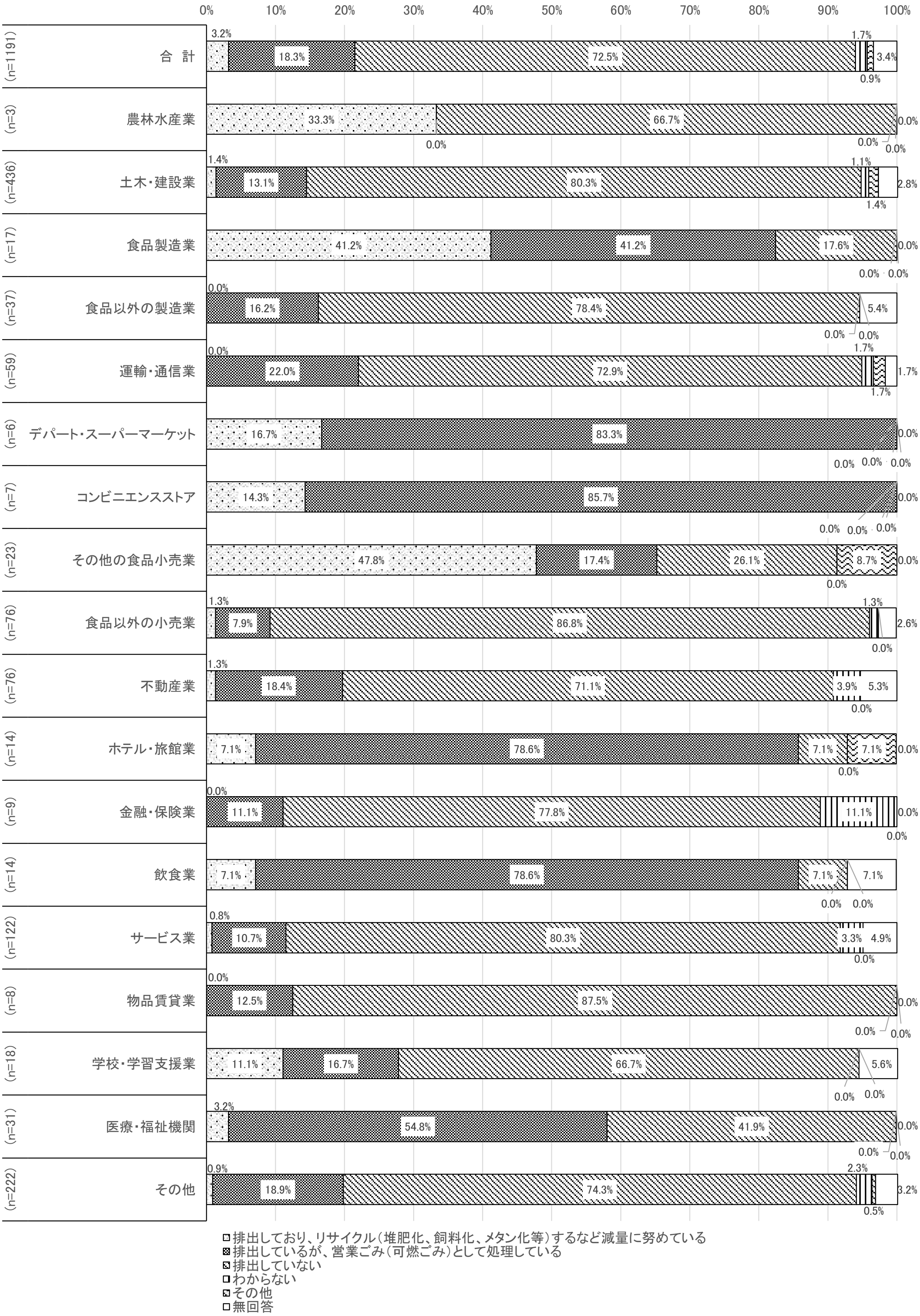
「③排出していない」の割合が最も高く 72.5%となっている。次いで、無回答を除き、「②排出しているが、営業ごみ（可燃ごみ）として処理している（18.3%）」、「①排出しており、リサイクル（堆肥化、飼料化、メタン化等）するなど減量に努めている（3.2%）」となっている。

図表 188 食品廃棄物の排出状況



業種別に見ると、「排出しているが、営業ごみ（可燃ごみ）として処理している」の割合が高い業種は、「コンビニエンスストア（85.7%）」、「デパート・スーパーマーケット（83.3%）」、「ホテル・旅行業（78.6%）」、「飲食業（78.6%）」となっている。「排出していない」の割合が高い業種は、「物品賃貸業（87.5%）」、「食品以外の小売業（86.8%）」、「土木・建設業（80.3%）」、「サービス業（80.3%）」となっている。

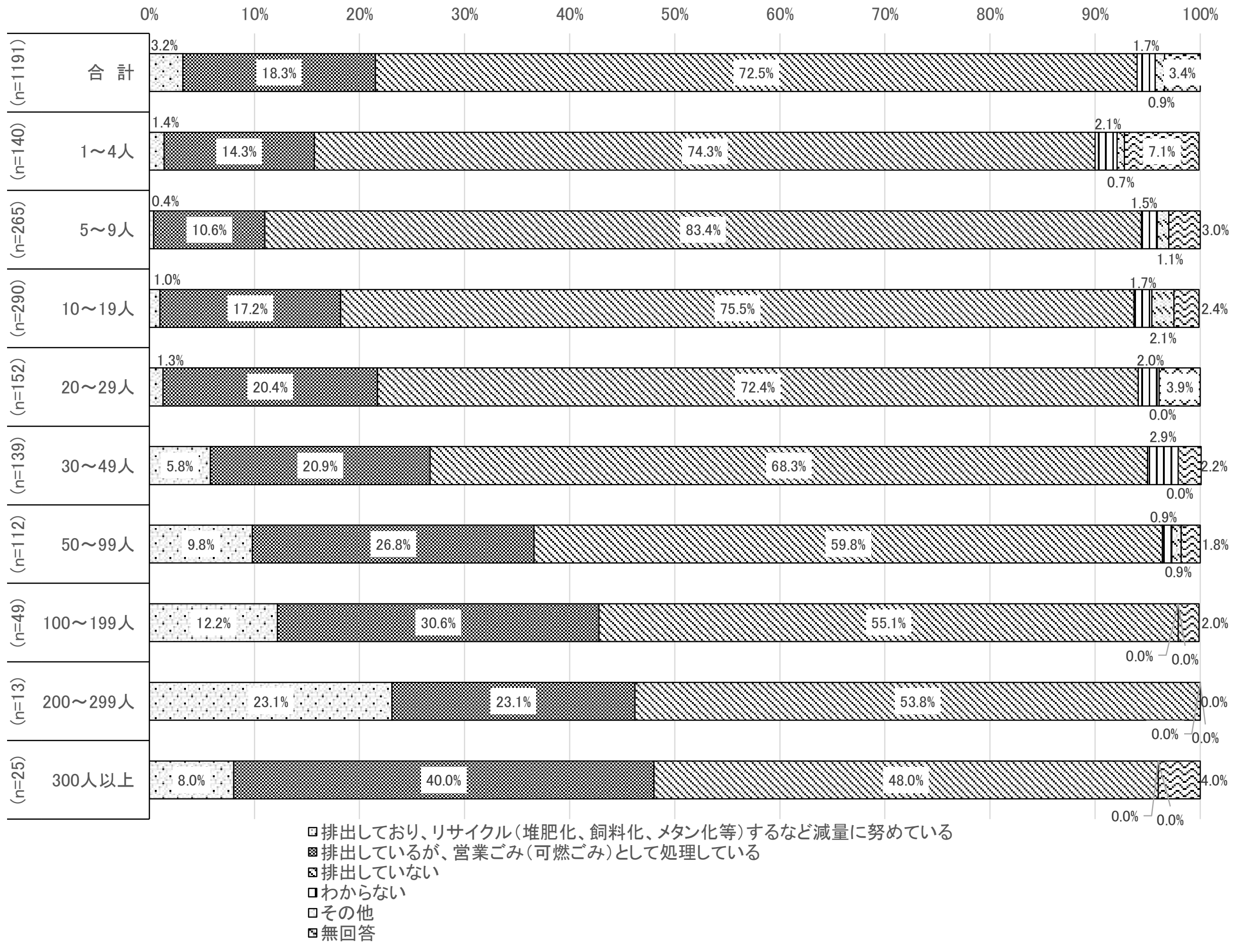
図表 189　食品廃棄物の排出状況（業種別）



	合 計	排出しており、リサイクル（堆肥化、飼料化、メタン化等）するなど減量に努めている	排出しているが、営業ごみ（可燃ごみ）として処理している	排出していない	わからない	その他	無回答
合 計	1191	38	218	864	20	11	40
	100.0%	3.2%	18.3%	72.5%	1.7%	0.9%	3.4%
農林水産業	3	1	0	2	0	0	0
	100.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
土木・建設業	436	6	57	350	5	6	12
	100.0%	1.4%	13.1%	80.3%	1.1%	1.4%	2.8%
食品製造業	17	7	7	3	0	0	0
	100.0%	41.2%	41.2%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%
食品以外の製造業	37	0	6	29	0	0	2
	100.0%	0.0%	16.2%	78.4%	0.0%	0.0%	5.4%
運輸・通信業	59	0	13	43	1	1	1
	100.0%	0.0%	22.0%	72.9%	1.7%	1.7%	1.7%
デパート・スーパーマーケット	6	1	5	0	0	0	0
	100.0%	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
コンビニエンスストア	7	1	6	0	0	0	0
	100.0%	14.3%	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の食品小売業	23	11	4	6	0	2	0
	100.0%	47.8%	17.4%	26.1%	0.0%	8.7%	0.0%
食品以外の小売業	76	1	6	66	1	0	2
	100.0%	1.3%	7.9%	86.8%	1.3%	0.0%	2.6%
不動産業	76	1	14	54	3	0	4
	100.0%	1.3%	18.4%	71.1%	3.9%	0.0%	5.3%
ホテル・旅館業	14	1	11	1	0	1	0
	100.0%	7.1%	78.6%	7.1%	0.0%	7.1%	0.0%
金融・保険業	9	0	1	7	1	0	0
	100.0%	0.0%	11.1%	77.8%	11.1%	0.0%	0.0%
飲食業	14	1	11	1	0	0	1
	100.0%	7.1%	78.6%	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%
サービス業	122	1	13	98	4	0	6
	100.0%	0.8%	10.7%	80.3%	3.3%	0.0%	4.9%
物品賃貸業	8	0	1	7	0	0	0
	100.0%	0.0%	12.5%	87.5%	0.0%	0.0%	0.0%
学校・学習支援業	18	2	3	12	0	0	1
	100.0%	11.1%	16.7%	66.7%	0.0%	0.0%	5.6%
医療・福祉機関	31	1	17	13	0	0	0
	100.0%	3.2%	54.8%	41.9%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	222	2	42	165	5	1	7
	100.0%	0.9%	18.9%	74.3%	2.3%	0.5%	3.2%

従業員数別に見ると、「排出しているが、営業ごみ（可燃ごみ）として処理している」の割合は、従業員数が多いほど高い傾向にあり、「排出していない」の割合は、従業員数が多いほど低い傾向にある。

図表 190 食品廃棄物の排出状況（従業員数別）



	合 計	排出しており、リサイクル（堆肥化、飼料化、メタン化等）するなど減量に努めている	排出しているが、営業ごみ（可燃ごみ）として処理している	排出していない	わからない	その他	無回答
合 計	1191	38	218	864	20	11	40
	100.0%	3.2%	18.3%	72.5%	1.7%	0.9%	3.4%
1～4人	140	2	20	104	3	1	10
	100.0	1.4	14.3	74.3	2.1	0.7	7.1
5～9人	265	1	28	221	4	3	8
	100.0	0.4	10.6	83.4	1.5	1.1	3.0
10～19人	290	3	50	219	5	6	7
	100.0	1.0	17.2	75.5	1.7	2.1	2.4
20～29人	152	2	31	110	3	0	6
	100.0	1.3	20.4	72.4	2.0	0.0	3.9
30～49人	139	8	29	95	4	0	3
	100.0	5.8	20.9	68.3	2.9	0.0	2.2
50～99人	112	11	30	67	1	1	2
	100.0	9.8	26.8	59.8	0.9	0.9	1.8
100～199人	49	6	15	27	0	0	1
	100.0	12.2	30.6	55.1	0.0	0.0	2.0
200～299人	13	3	3	7	0	0	0
	100.0	23.1	23.1	53.8	0.0	0.0	0.0
300人以上	25	2	10	12	0	0	1
	100.0	8.0	40.0	48.0	0.0	0.0	4.0

2.4.2 食品廃棄物・食品ロスの削減に向けた取り組み状況

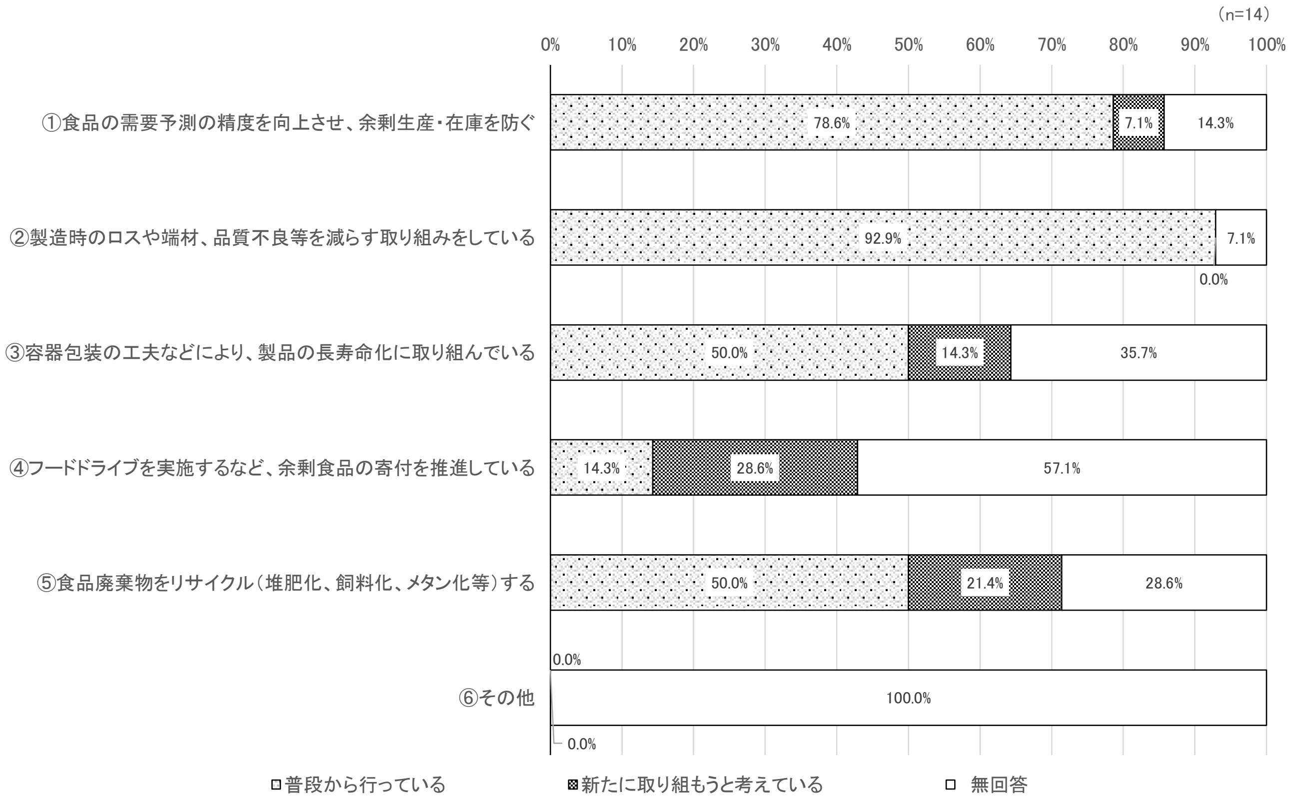
(1) 食品製造業等

事業所から食品廃棄物を「①排出しており、リサイクル（堆肥化、飼料化、メタン化等）するなど減量に努めている」又は「②排出しているが、営業ごみ（可燃ごみ）として処理している」と回答した食品製造業等（14 件）を対象に取り組み状況を把握した。

「普段から取り組んでいる」割合が高いのは、「②製造時のロスや端材、品質不良等を減らす取り組みをしている（92.9%）」、「①食品の需要予測の精度を向上させ、余剰生産・在庫を防ぐ（78.6%）」となっている。

「新たに取り組もうと考えている」割合が高いのは、「④フードドライブを実施するなど、余剰食品の寄付を推進している（28.6%）」、「⑤食品廃棄物をリサイクル（堆肥化、飼料化、メタン化等）する（21.4%）」となっている。

図表 191 食品廃棄物・食品ロスの削減に向けた取り組み状況 ※該当するものすべてを回答
（現在の取り組み及び新たに取り組もうと考えていること）（食品製造業等）



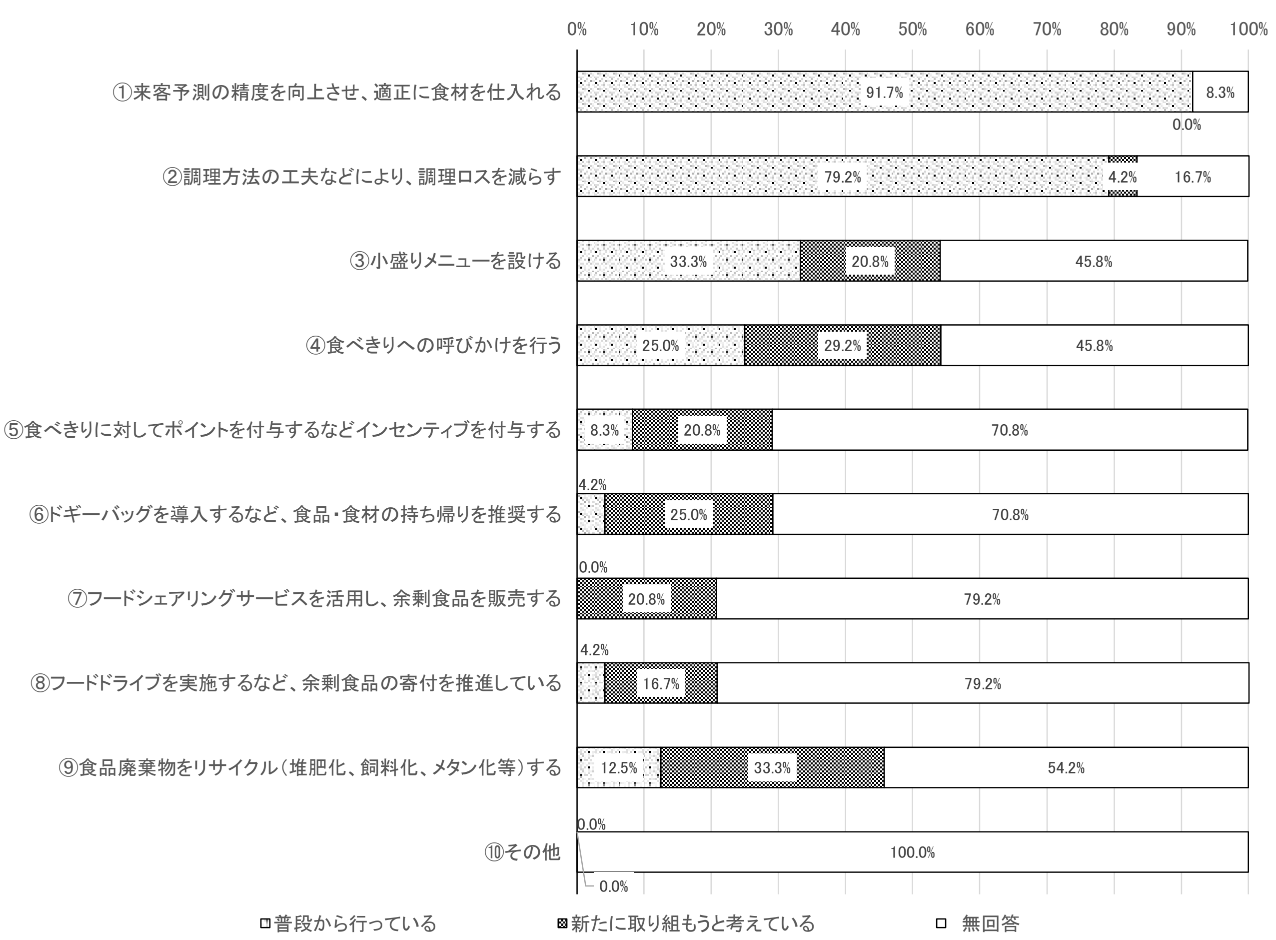
（2）飲食業/ホテル旅館業等

事業所から食品廃棄物を「①排出しており、リサイクル（堆肥化、飼料化、メタン化等）するなど減量に努めている」又は「②排出しているが、営業ごみ（可燃ごみ）として処理している」と回答した飲食業/ホテル旅館業等（24 件）を対象に取り組み状況を把握した。

「普段から取り組んでいる」割合が高いのは、「①来客予測の精度を向上させ、適正に食材を仕入れる（91.7%）」、「②調理方法の工夫などにより、調理ロスを減らす（79.2%）」となっている。

「新たに取り組もうと考えている」割合が高いのは、「⑨食品廃棄物をリサイクル（堆肥化、飼料化、メタン化等）する（33.3%）」、「④食べきりへの呼びかけを行う（29.2%）」、「⑥ドギーバッグを導入するなど、食品・食材の持ち帰りを推奨する（25.0%）」となっている。

図表 192 食品廃棄物・食品ロスの削減に向けた取り組み状況 ※該当するものすべてを回答
（現在の取り組み及び新たに取り組もうと考えていること）（飲食業/ホテル旅館業等）



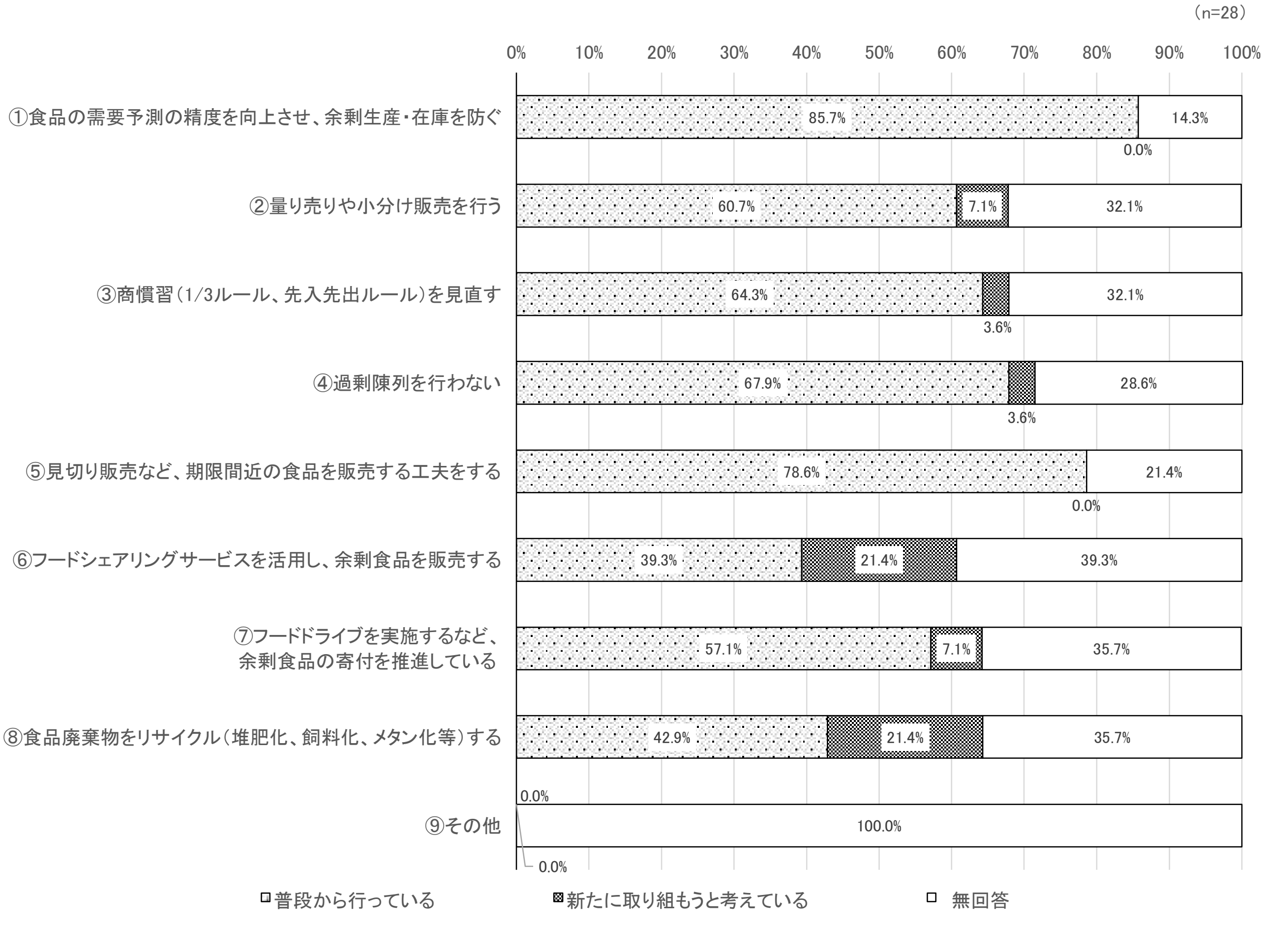
（3）食品小売業等

事業所から食品廃棄物を「①排出しており、リサイクル（堆肥化、飼料化、メタン化等）するなど減量に努めている」又は「②排出しているが、営業ごみ（可燃ごみ）として処理している」と回答した食品小売業等（28 件）を対象に取り組み状況を把握した。

「普段から取り組んでいる」割合が高いのは、「①食品の需要予測の精度を向上させ、余剰生産・在庫を防ぐ（85.7%）」、「⑤見切り販売など、期限間近の食品を販売する工夫をする（78.6%）」となっている。

「新たに取り組もうと考えている」割合が高いのは、「⑥フードシェアリングサービスを活用し、余剰食品を販売する」、「⑧食品廃棄物をリサイクル（堆肥化、飼料化、メタン化等）する」がいずれも 21.4%と最も高くなっている。

図表 193 食品廃棄物・食品ロスの削減に向けた取り組み状況 ※該当するものすべてを回答
（現在の取り組み及び新たに取り組もうと考えていること）（食品小売業等）

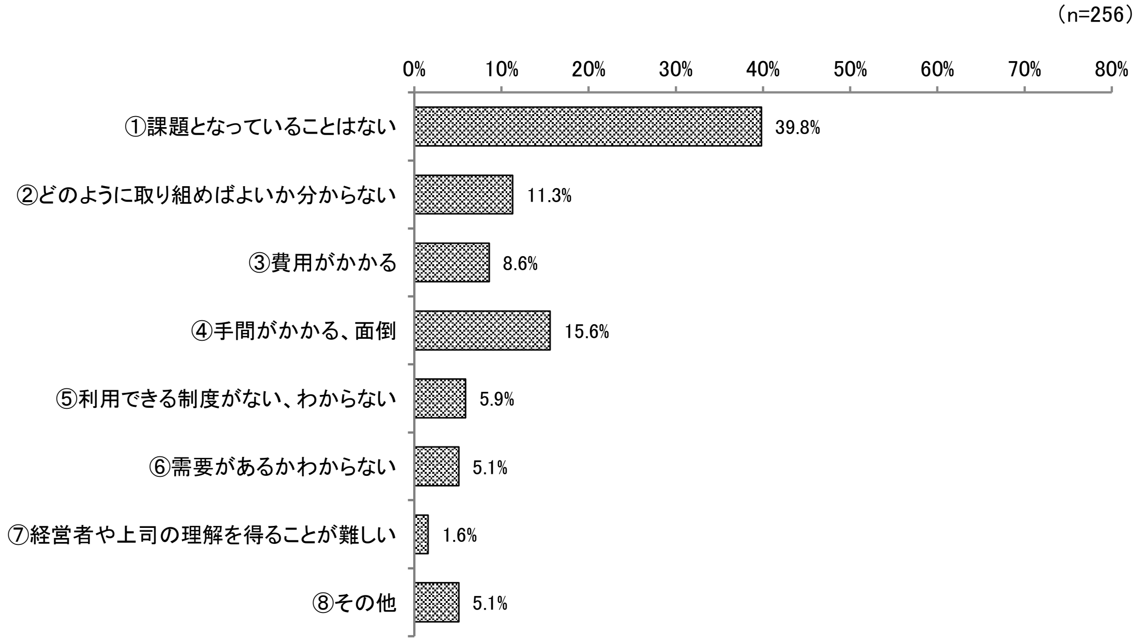


２.４.３ 食品ロス削減・食品リサイクルに取り組む上での課題

（1）食品ロス削減（余剰食品の寄付や食べきりへの呼びかけなど）に関する課題

「①課題となっていることはない」の割合が最も高く 39.8%となっている。次いで、「④手間がかかる、面倒（15.6%）」、「②どのように取り組めばよいか分からない（11.3%）」となっている。

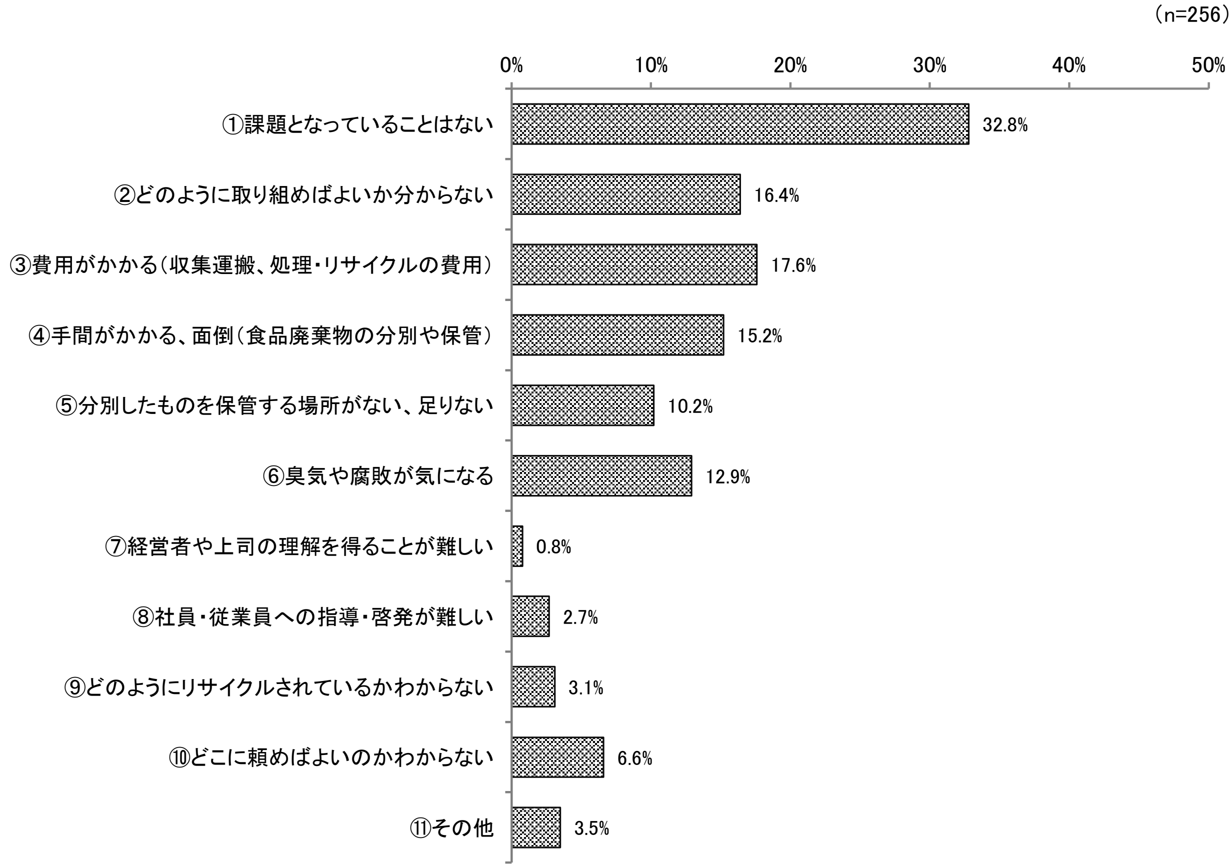
図表 194 食品ロス削減・食品リサイクルに取り組む上での課題 ※該当するものすべてを回答
（食品ロス削減）



(2) 食品リサイクル（堆肥化、肥料化、メタン化等）に関する課題

「①課題となっていることはない」の割合が最も高く 32.8%となっている。次いで、「③費用がかかる（収集運搬、処理・リサイクルの費用）（17.6%）」、「②どのように取り組めばよいか分からない（16.4%）」となっている。

図表 195 食品ロス削減・食品リサイクルに取り組む上での課題 ※該当するものすべてを回答

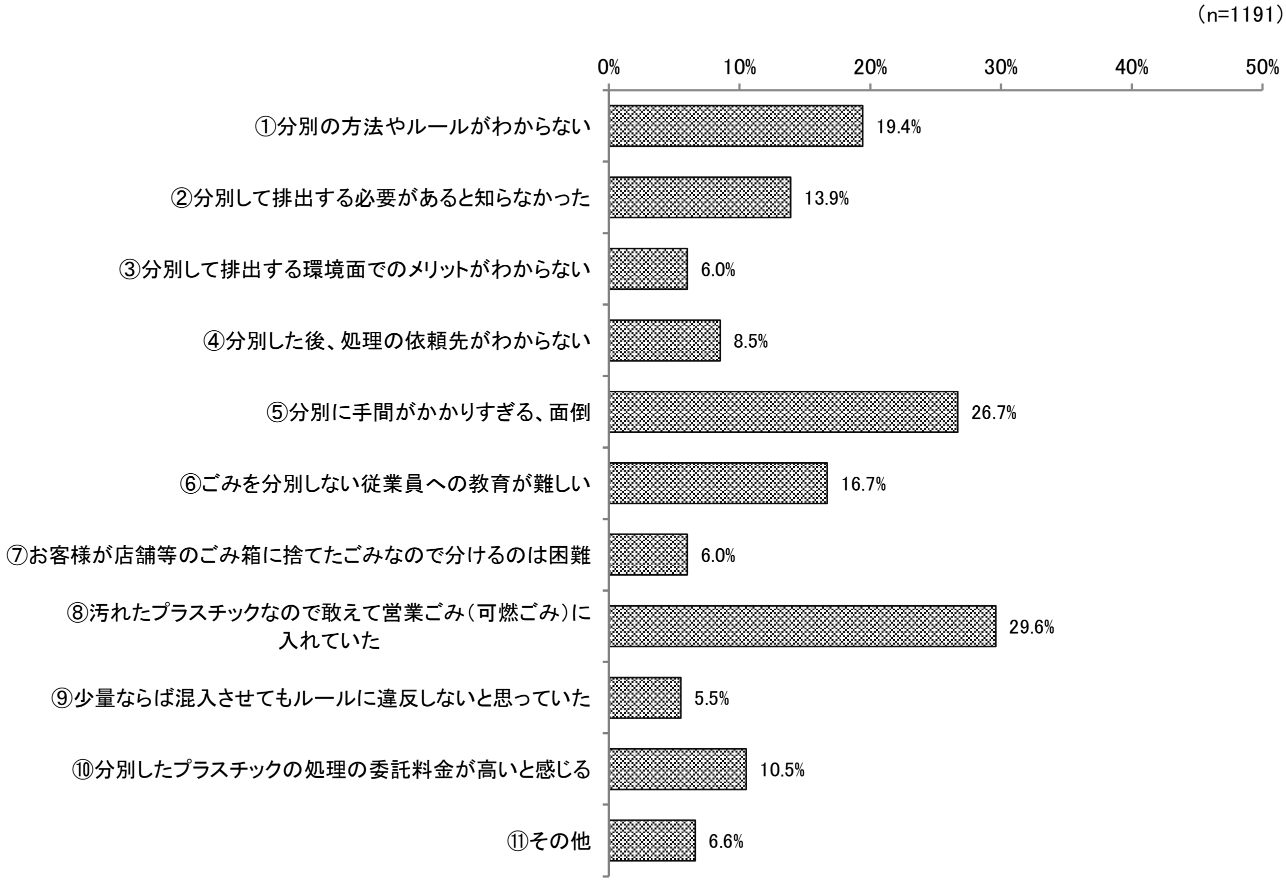


2.5 プラスチックについて

2.5.1 廃プラスチックが分別されにくい要因

「⑧汚れたプラスチックなので敢えて営業ごみ（可燃ごみ）に入れていた」の割合が最も高く29.6%となっている。次いで、「⑤分別に手間がかかりすぎる、面倒（26.7%）」、「①分別の方法やルールがわからない（19.4%）」となっている。

図表 196 廃プラスチックが分別されにくい要因 ※該当するもの3つまで回答



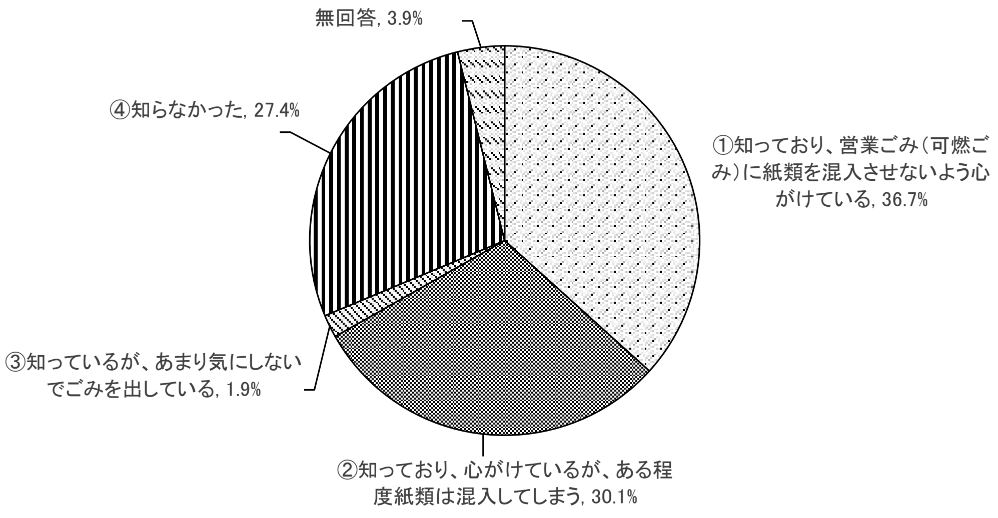
２.６ 紙類について

２.６.１ リサイクル可能な紙類を焼却工場へ搬入できないことへの認知度

「①知っており、営業ごみ（可燃ごみ）に紙類を混入させないよう心がけている」の割合が最も高く36.7%となっている。次いで、「②知っており、心がけているが、ある程度紙類は混入してしまう（30.1%）」、「④知らなかった（27.4%）」となっている。

図表 197 リサイクル可能な紙類を焼却工場へ搬入できないことへの認知度

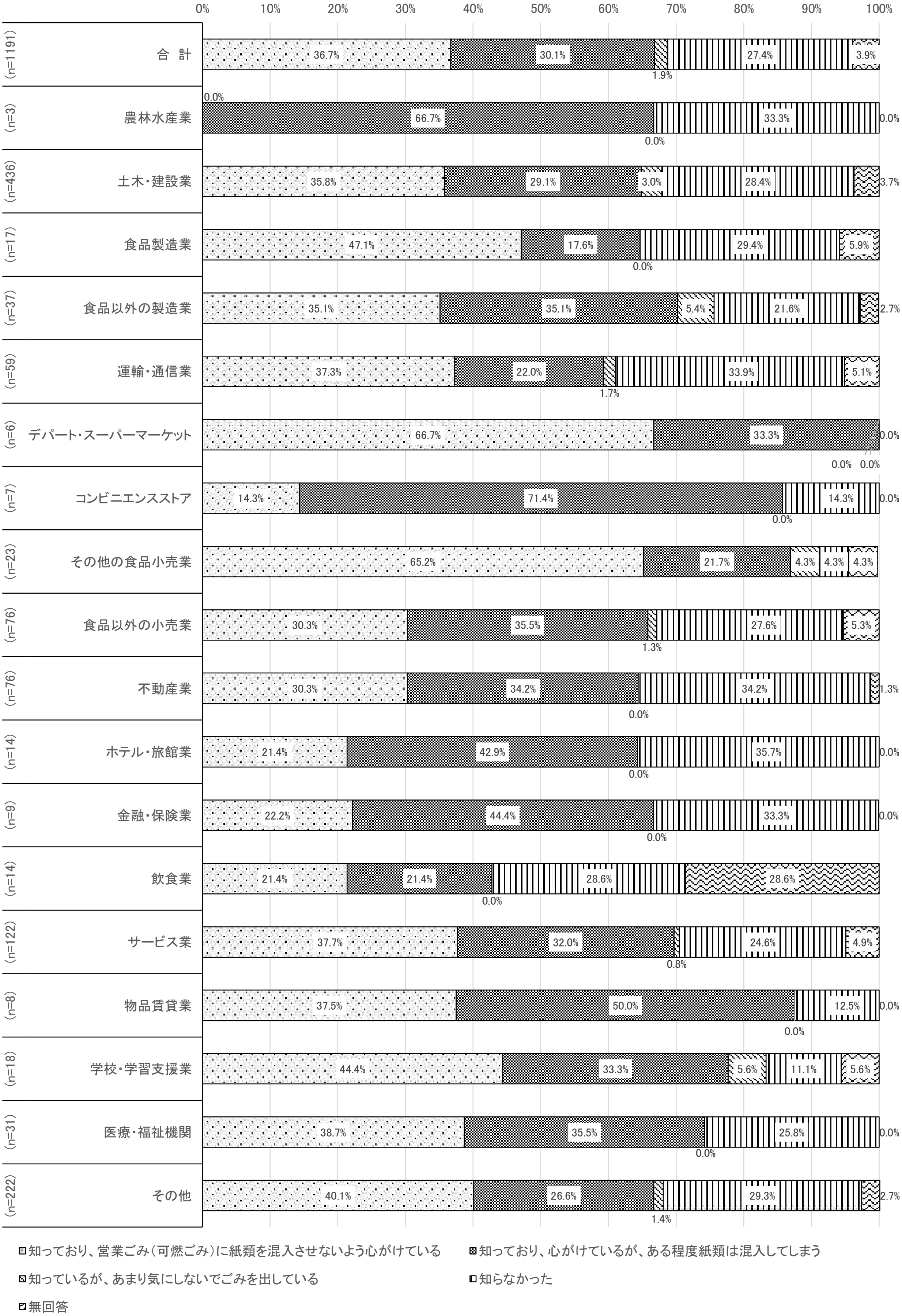
（n=1191）



業種別に見ると、「知っており、営業ごみ（可燃ごみ）に紙類を混入させないよう心がけている」の割合が高い業種は、「デパート・スーパーマーケット（66.7%）」、「その他の食品小売業（65.2%）」となっている。

「知っており、心がけているが、ある程度紙類は混入してしまう」の割合が高い業種は、「コンビニエンスストア（71.4%）」、「農林水産業（66.7%）」となっている。「知らなかった」の割合が高い業種は、「ホテル・旅館業（35.7%）」、「不動産業（34.2%）」となっている。

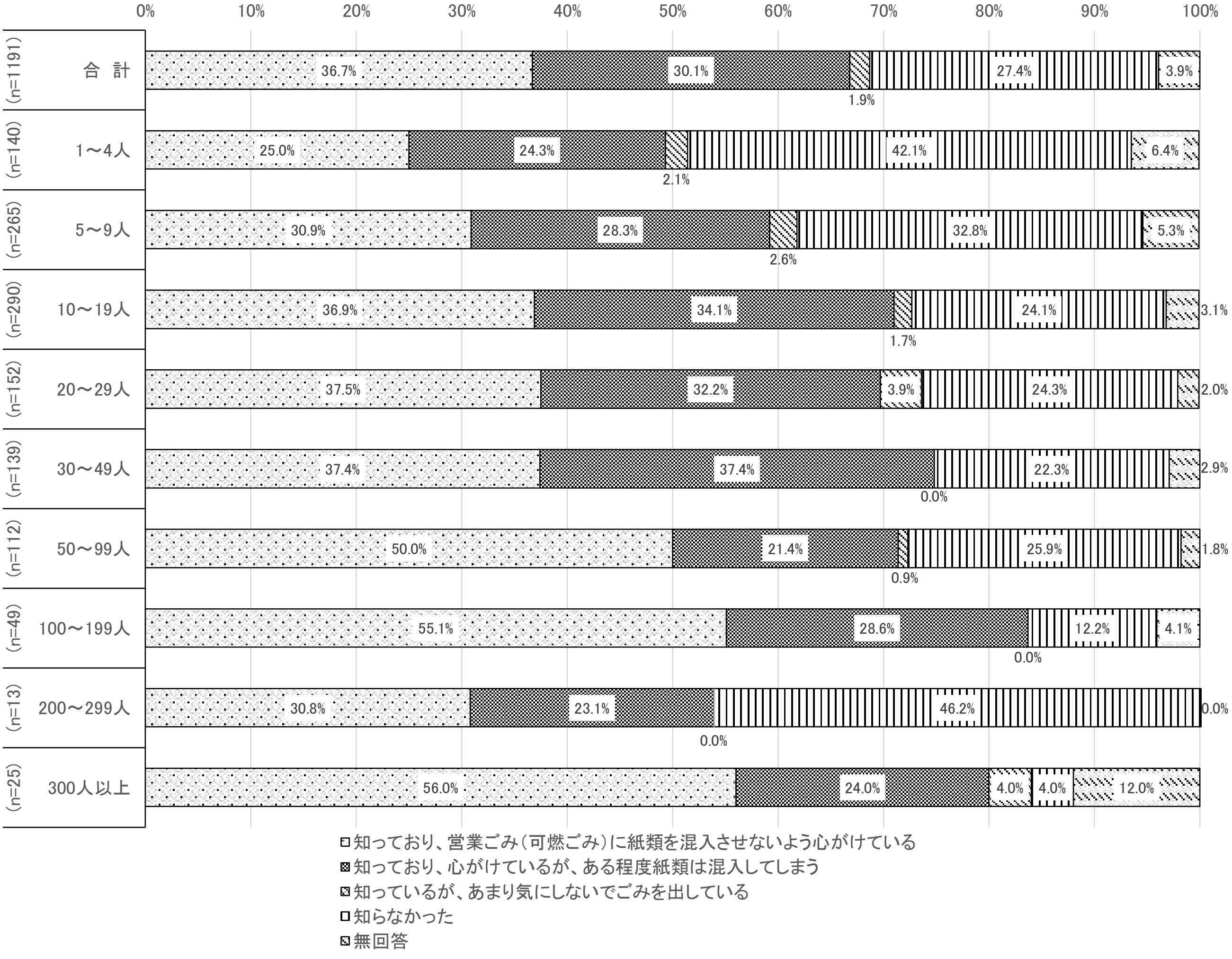
図表 198 リサイクル可能な紙類を焼却工場へ搬入できないことへの認知度（業種別）



	合 計	知っており、営業ごみ（可燃ごみ）に紙類を混入させないよう心がけている	知っており、心がけているが、ある程度紙類は混入してしまう	知っているが、あまり気にしないでごみを出している	知らなかった	無回答
合 計	1191	437	358	23	326	47
	100.0%	36.7%	30.1%	1.9%	27.4%	3.9%
農林水産業	3	0	2	0	1	0
	100.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%
土木・建設業	436	156	127	13	124	16
	100.0%	35.8%	29.1%	3.0%	28.4%	3.7%
食品製造業	17	8	3	0	5	1
	100.0%	47.1%	17.6%	0.0%	29.4%	5.9%
食品以外の製造業	37	13	13	2	8	1
	100.0%	35.1%	35.1%	5.4%	21.6%	2.7%
運輸・通信業	59	22	13	1	20	3
	100.0%	37.3%	22.0%	1.7%	33.9%	5.1%
デパート・スーパーマーケット	6	4	2	0	0	0
	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
コンビニエンスストア	7	1	5	0	1	0
	100.0%	14.3%	71.4%	0.0%	14.3%	0.0%
その他の食品小売業	23	15	5	1	1	1
	100.0%	65.2%	21.7%	4.3%	4.3%	4.3%
食品以外の小売業	76	23	27	1	21	4
	100.0%	30.3%	35.5%	1.3%	27.6%	5.3%
不動産業	76	23	26	0	26	1
	100.0%	30.3%	34.2%	0.0%	34.2%	1.3%
ホテル・旅館業	14	3	6	0	5	0
	100.0%	21.4%	42.9%	0.0%	35.7%	0.0%
金融・保険業	9	2	4	0	3	0
	100.0%	22.2%	44.4%	0.0%	33.3%	0.0%
飲食業	14	3	3	0	4	4
	100.0%	21.4%	21.4%	0.0%	28.6%	28.6%
サービス業	122	46	39	1	30	6
	100.0%	37.7%	32.0%	0.8%	24.6%	4.9%
物品賃貸業	8	3	4	0	1	0
	100.0%	37.5%	50.0%	0.0%	12.5%	0.0%
学校・学習支援業	18	8	6	1	2	1
	100.0%	44.4%	33.3%	5.6%	11.1%	5.6%
医療・福祉機関	31	12	11	0	8	0
	100.0%	38.7%	35.5%	0.0%	25.8%	0.0%
その他	222	89	59	3	65	6
	100.0%	40.1%	26.6%	1.4%	29.3%	2.7%

従業員数別に見ると、「知っており、営業ごみ（可燃ごみ）に紙類を混入させないよう心がけている」の割合は、従業員数が多いほど高い傾向にある。

図表 199 リサイクル可能な紙類を焼却工場へ搬入できないことへの認知度（従業員数別）

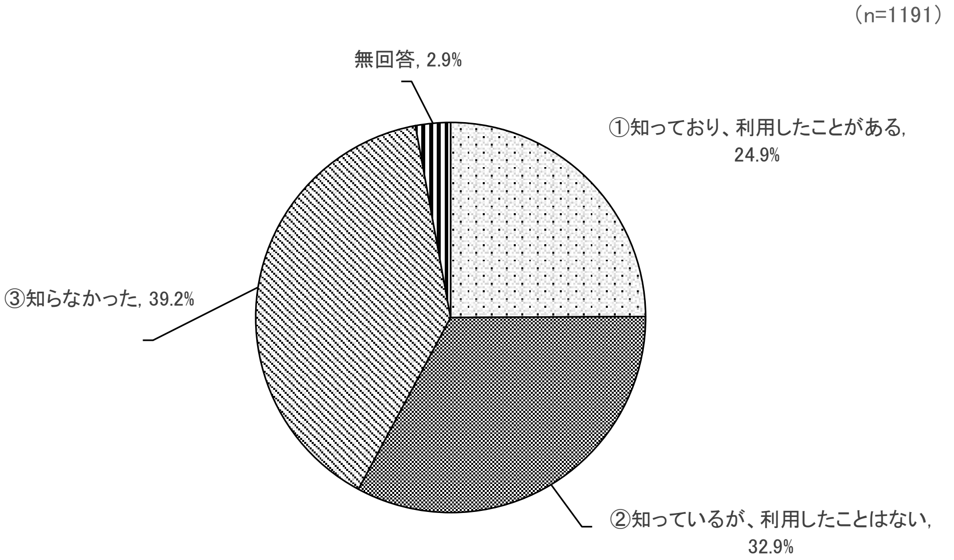


	合 計	知っており、営業ごみ（可燃ごみ）に紙類を混入させないよう心がけている	知っており、心がけているが、ある程度紙類は混入してしまう	知っているが、あまり気にしないでごみを出している	知らなかった	無回答
合 計	1191	437	358	23	326	47
	100.0%	36.7%	30.1%	1.9%	27.4%	3.9%
1～4人	140	35	34	3	59	9
	100.0%	25.0%	24.3%	2.1%	42.1%	6.4%
5～9人	265	82	75	7	87	14
	100.0%	30.9%	28.3%	2.6%	32.8%	5.3%
10～19人	290	107	99	5	70	9
	100.0%	36.9%	34.1%	1.7%	24.1%	3.1%
20～29人	152	57	49	6	37	3
	100.0%	37.5%	32.2%	3.9%	24.3%	2.0%
30～49人	139	52	52	0	31	4
	100.0%	37.4%	37.4%	0.0%	22.3%	2.9%
50～99人	112	56	24	1	29	2
	100.0%	50.0%	21.4%	0.9%	25.9%	1.8%
100～199人	49	27	14	0	6	2
	100.0%	55.1%	28.6%	0.0%	12.2%	4.1%
200～299人	13	4	3	0	6	0
	100.0%	30.8%	23.1%	0.0%	46.2%	0.0%
300人以上	25	14	6	1	1	3
	100.0%	56.0%	24.0%	4.0%	4.0%	12.0%

2.6.2 事業系紙類回収庫の設置状況の認知度

「③知らなかった」の割合が最も高く39.2%となっている。次いで、「②知っているが、利用したことはない（32.9%）」、「①知っており、利用したことがある（24.9%）」となっている。

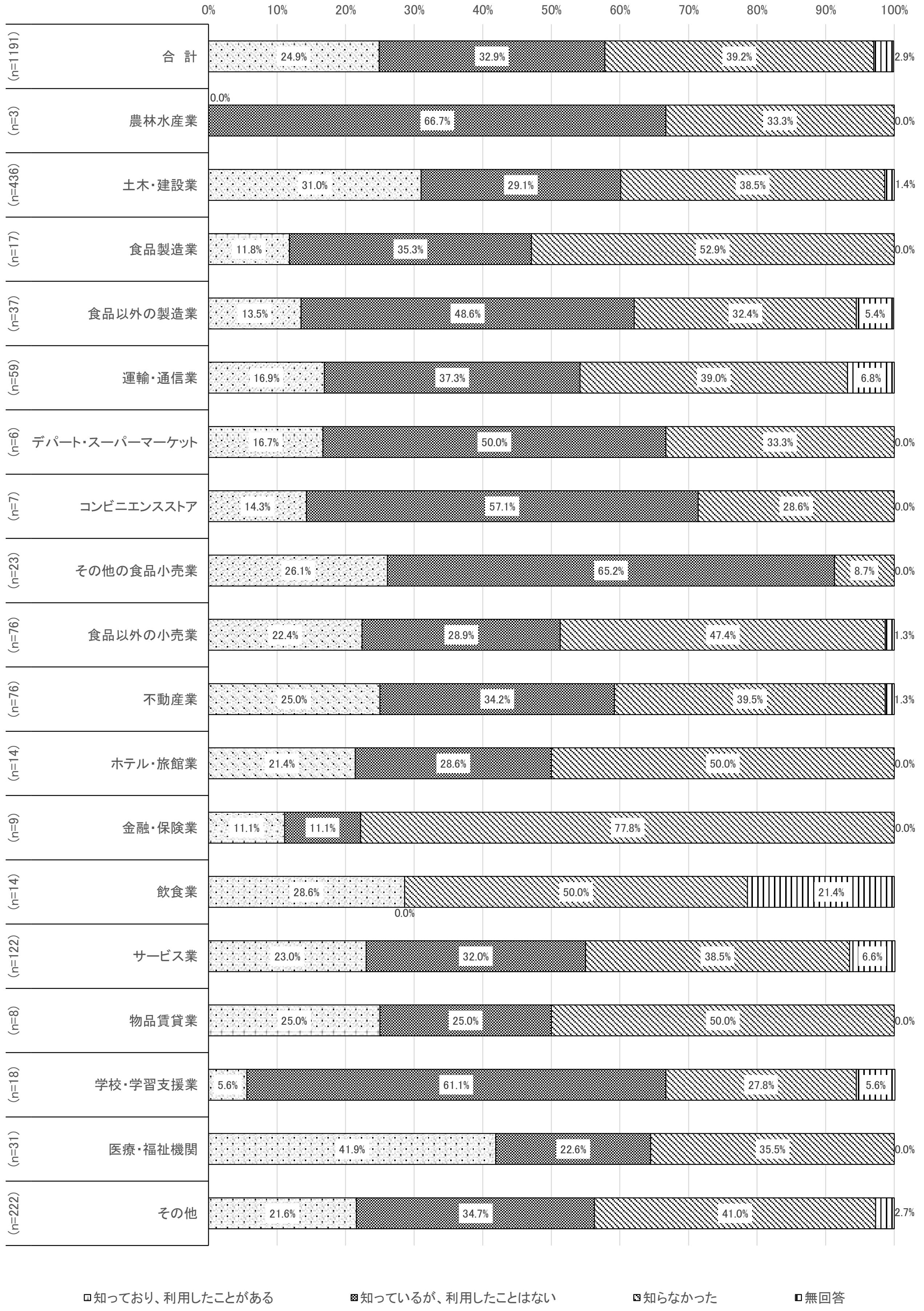
図表 200 事業系紙類回収庫の設置状況の認知度



業種別に見ると、「知っており、利用したことがある」の割合が高い業種は、「医療・福祉機関（41.9%）」、「土木・建設業（31.0%）」となっている。

「知っているが、利用したことはない」の割合が高い業種は、「農林水産業（66.7%）」、「その他の食品小売業（65.2%）」となっている。「知らなかった」の割合が高い業種は、「金融・保険業（77.8%）」、「食品製造業（52.9%）」となっている。

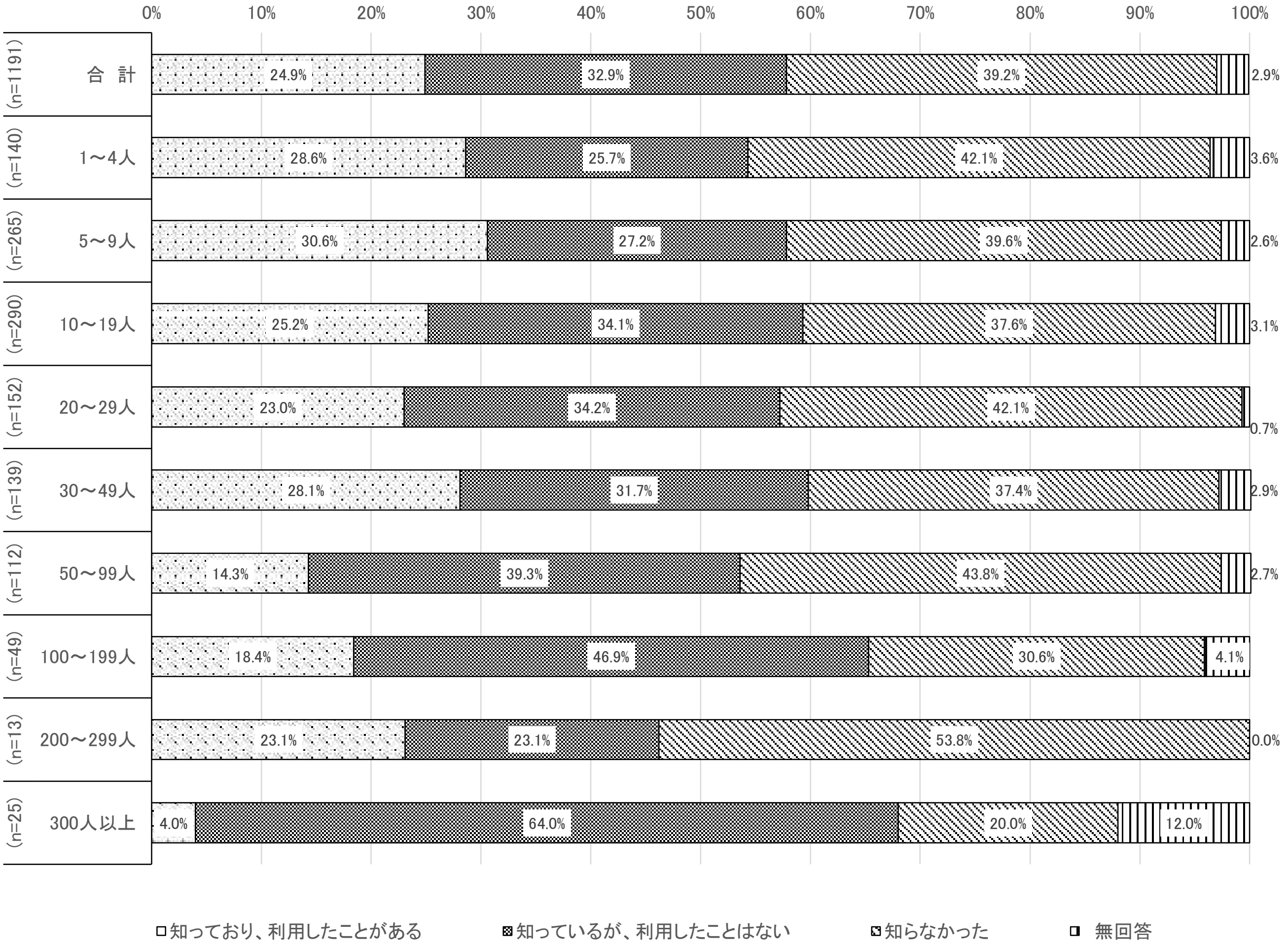
図表 201　事業系紙類回収庫の設置状況の認知度（業種別）



	合 計	知っており、利用したことがある	知っているが、利用したことはない	知らなかった	無回答
合 計	1191	297	392	467	35
	100.0%	24.9%	32.9%	39.2%	2.9%
農林水産業	3	0	2	1	0
	100.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
土木・建設業	436	135	127	168	6
	100.0%	31.0%	29.1%	38.5%	1.4%
食品製造業	17	2	6	9	0
	100.0%	11.8%	35.3%	52.9%	0.0%
食品以外の製造業	37	5	18	12	2
	100.0%	13.5%	48.6%	32.4%	5.4%
運輸・通信業	59	10	22	23	4
	100.0%	16.9%	37.3%	39.0%	6.8%
デパート・スーパーマーケット	6	1	3	2	0
	100.0%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%
コンビニエンスストア	7	1	4	2	0
	100.0%	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%
その他の食品小売業	23	6	15	2	0
	100.0%	26.1%	65.2%	8.7%	0.0%
食品以外の小売業	76	17	22	36	1
	100.0%	22.4%	28.9%	47.4%	1.3%
不動産業	76	19	26	30	1
	100.0%	25.0%	34.2%	39.5%	1.3%
ホテル・旅館業	14	3	4	7	0
	100.0%	21.4%	28.6%	50.0%	0.0%
金融・保険業	9	1	1	7	0
	100.0%	11.1%	11.1%	77.8%	0.0%
飲食業	14	4	0	7	3
	100.0%	28.6%	0.0%	50.0%	21.4%
サービス業	122	28	39	47	8
	100.0%	23.0%	32.0%	38.5%	6.6%
物品賃貸業	8	2	2	4	0
	100.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%
学校・学習支援業	18	1	11	5	1
	100.0%	5.6%	61.1%	27.8%	5.6%
医療・福祉機関	31	13	7	11	0
	100.0%	41.9%	22.6%	35.5%	0.0%
その他	222	48	77	91	6
	100.0%	21.6%	34.7%	41.0%	2.7%

従業員数別に見ると、「知っているが、利用したことはない」の割合は、従業員数が多いほど高い傾向にある。

図表 202 事業系紙類回収庫の設置状況の認知度(従業員数別)



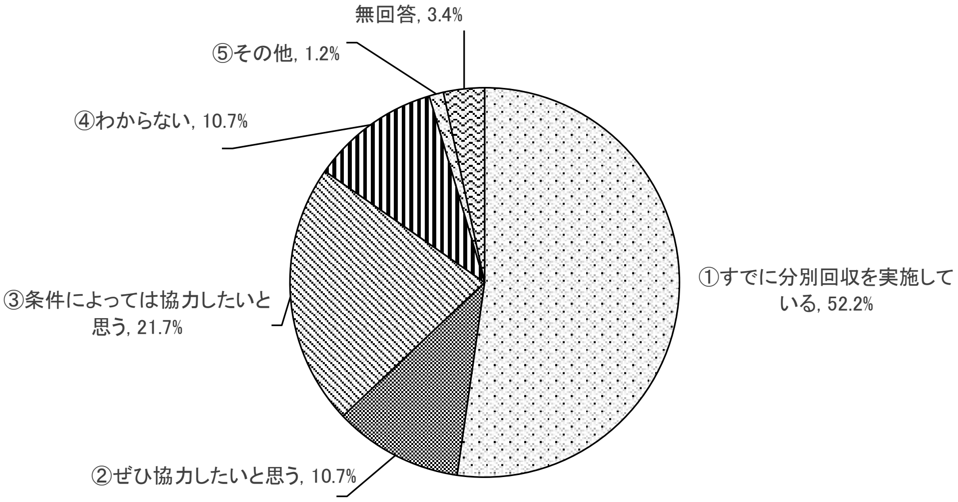
	合 計	知っており、利用したことがある	知っているが、利用したことはない	知らなかった	無回答
合 計	1191	297	392	467	35
	100.0%	24.9%	32.9%	39.2%	2.9%
1～4人	140	40	36	59	5
	100.0%	28.6%	25.7%	42.1%	3.6%
5～9人	265	81	72	105	7
	100.0%	30.6%	27.2%	39.6%	2.6%
10～19人	290	73	99	109	9
	100.0%	25.2%	34.1%	37.6%	3.1%
20～29人	152	35	52	64	1
	100.0%	23.0%	34.2%	42.1%	0.7%
30～49人	139	39	44	52	4
	100.0%	28.1%	31.7%	37.4%	2.9%
50～99人	112	16	44	49	3
	100.0%	14.3%	39.3%	43.8%	2.7%
100～199人	49	9	23	15	2
	100.0%	18.4%	46.9%	30.6%	4.1%
200～299人	13	3	3	7	0
	100.0%	23.1%	23.1%	53.8%	0.0%
300人以上	25	1	16	5	3
	100.0%	4.0%	64.0%	20.0%	12.0%

２.６.３ 事業所向けの紙類の分別回収の仕組み等の身近な取り組みへの協力意向

「①すでに分別回収を実施している」の割合が最も高く 52.2%となっている。次いで、「③条件によっては協力したいと思う（21.7%）」、「②ぜひ協力したいと思う（10.7%）」となっている。

図表 203 事業所向けの紙類の分別回収の仕組み等の身近な取り組みへの協力意向

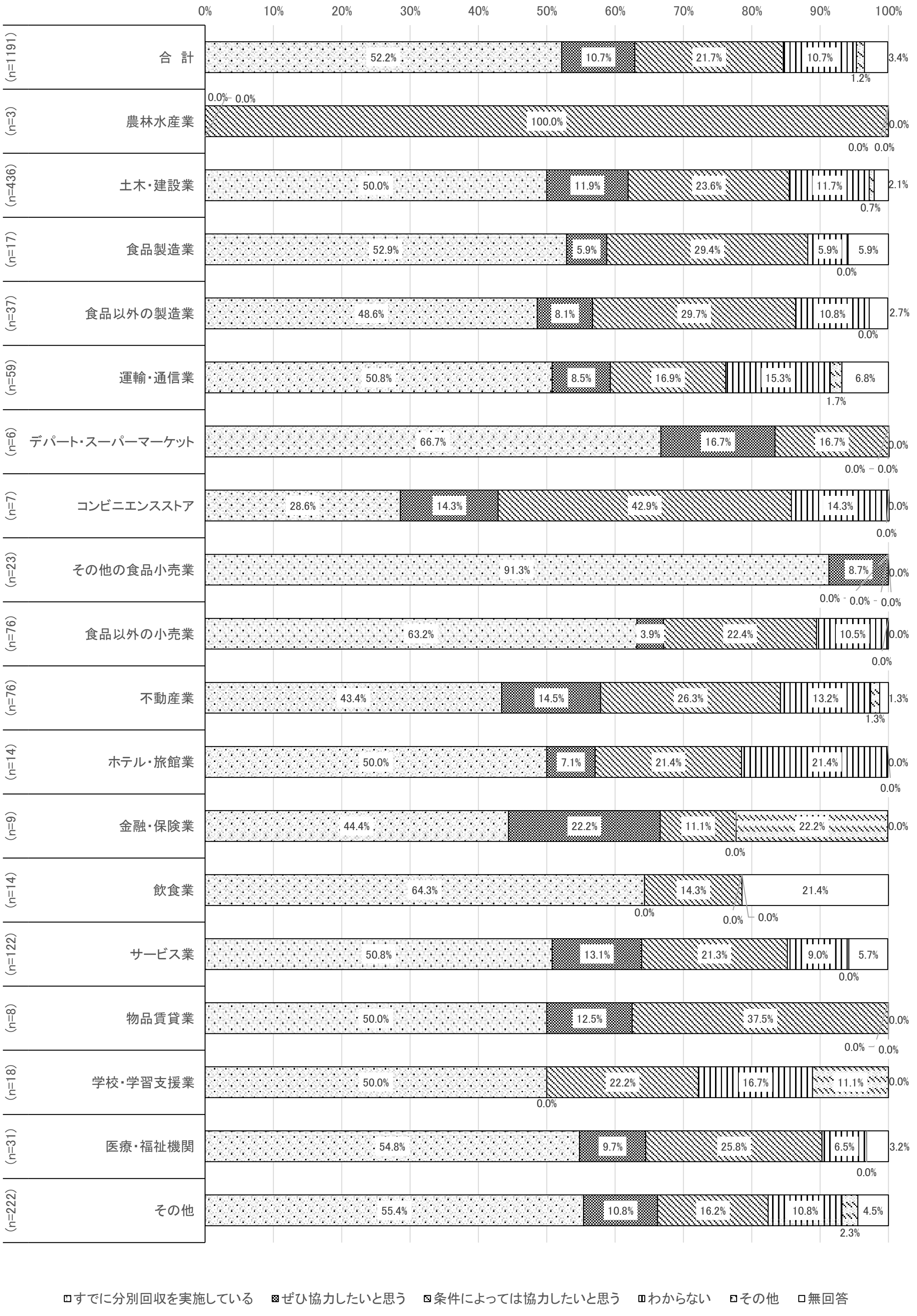
（n=1191）



業種別に見ると、「すでに分別回収を実施している」の割合が高い業種は、「その他の食品小売業（91.3%）」、「デパート・スーパーマーケット（66.7%）」となっている。

「ぜひ協力したいと思う」の割合が高い業種は、「金融・保険業（22.2%）」、「デパート・スーパーマーケット（16.7%）」となっている。「条件によっては協力したいと思う」の割合が高い業種は、「農林水産業（100.0%）」、「コンビニエンスストア（42.9%）」となっている。

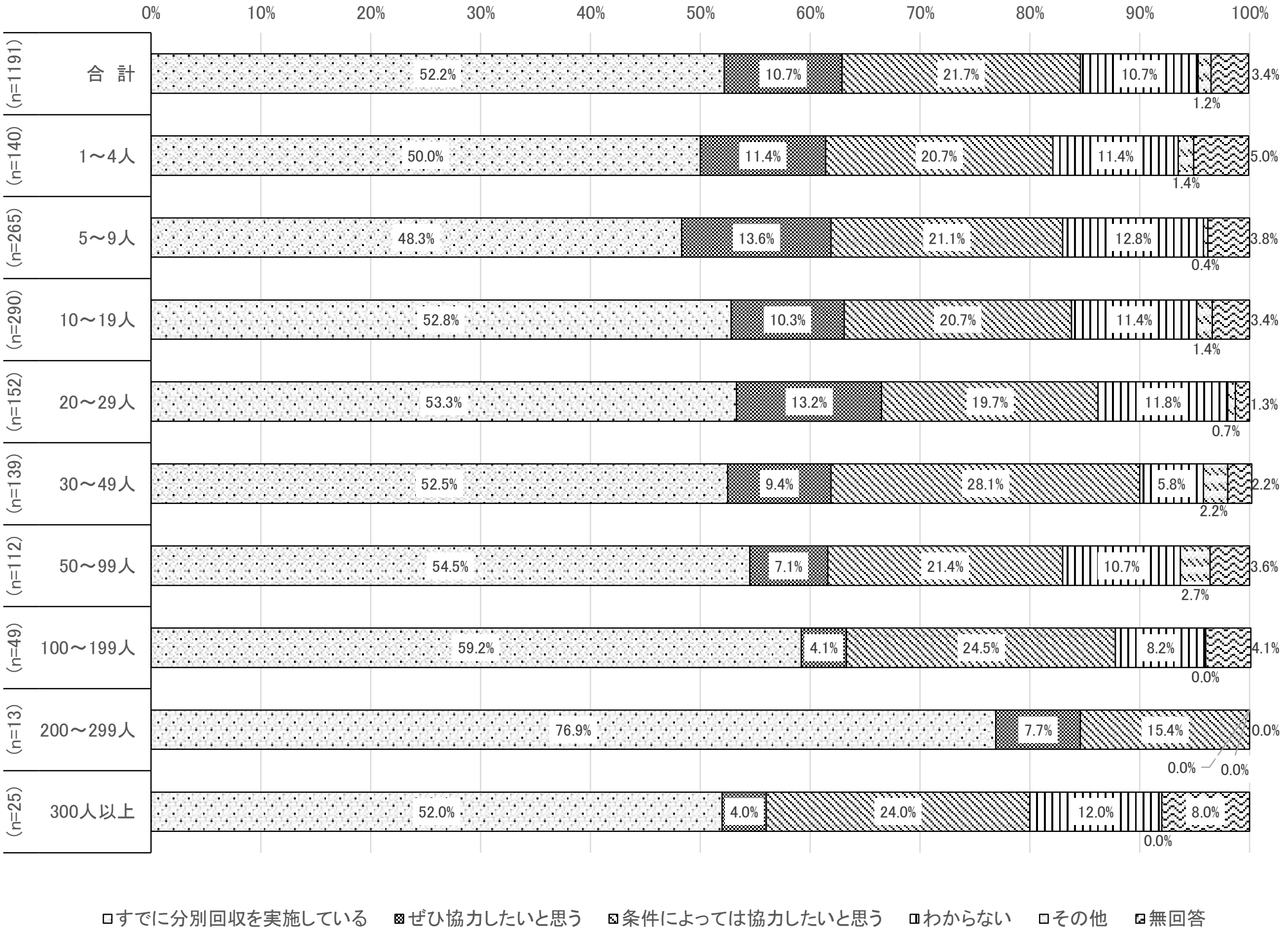
図表 204 事業所向けの紙類の分別回収の仕組み等の身近な取り組みへの協力意向（業種別）



	合 計	すでに分別回収を実施している	ぜひ協力したいと思う	条件によっては協力したいと思う	わからない	その他	無回答
合 計	1191	622	127	259	128	14	41
	100.0%	52.2%	10.7%	21.7%	10.7%	1.2%	3.4%
農林水産業	3	0	0	3	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
土木・建設業	436	218	52	103	51	3	9
	100.0%	50.0%	11.9%	23.6%	11.7%	0.7%	2.1%
食品製造業	17	9	1	5	1	0	1
	100.0%	52.9%	5.9%	29.4%	5.9%	0.0%	5.9%
食品以外の製造業	37	18	3	11	4	0	1
	100.0%	48.6%	8.1%	29.7%	10.8%	0.0%	2.7%
運輸・通信業	59	30	5	10	9	1	4
	100.0%	50.8%	8.5%	16.9%	15.3%	1.7%	6.8%
デパート・スーパーマーケット	6	4	1	1	0	0	0
	100.0%	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
コンビニエンスストア	7	2	1	3	1	0	0
	100.0%	28.6%	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%
その他の食品小売業	23	21	2	0	0	0	0
	100.0%	91.3%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食品以外の小売業	76	48	3	17	8	0	0
	100.0%	63.2%	3.9%	22.4%	10.5%	0.0%	0.0%
不動産業	76	33	11	20	10	1	1
	100.0%	43.4%	14.5%	26.3%	13.2%	1.3%	1.3%
ホテル・旅館業	14	7	1	3	3	0	0
	100.0%	50.0%	7.1%	21.4%	21.4%	0.0%	0.0%
金融・保険業	9	4	2	1	0	2	0
	100.0%	44.4%	22.2%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%
飲食業	14	9	0	2	0	0	3
	100.0%	64.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	21.4%
サービス業	122	62	16	26	11	0	7
	100.0%	50.8%	13.1%	21.3%	9.0%	0.0%	5.7%
物品賃貸業	8	4	1	3	0	0	0
	100.0%	50.0%	12.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%
学校・学習支援業	18	9	0	4	3	2	0
	100.0%	50.0%	0.0%	22.2%	16.7%	11.1%	0.0%
医療・福祉機関	31	17	3	8	2	0	1
	100.0%	54.8%	9.7%	25.8%	6.5%	0.0%	3.2%
その他	222	123	24	36	24	5	10
	100.0%	55.4%	10.8%	16.2%	10.8%	2.3%	4.5%

従業員数別に見ると、「200～299 人」における「すでに分別回収を実施している（76.9%）」、「100～199 人」における「すでに分別回収を実施している（59.2%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

図表 205 事業所向けの紙類の分別回収の仕組み等の身近な取り組みへの協力意向（従業員数別）



	合 計	すでに分別回収を実施している	ぜひ協力したいと思う	条件によっては協力したいと思う	わからない	その他	無回答
合 計	1191	622	127	259	128	14	41
	100.0%	52.2%	10.7%	21.7%	10.7%	1.2%	3.4%
1～4人	140	70	16	29	16	2	7
	100.0%	50.0%	11.4%	20.7%	11.4%	1.4%	5.0%
5～9人	265	128	36	56	34	1	10
	100.0%	48.3%	13.6%	21.1%	12.8%	0.4%	3.8%
10～19人	290	153	30	60	33	4	10
	100.0%	52.8%	10.3%	20.7%	11.4%	1.4%	3.4%
20～29人	152	81	20	30	18	1	2
	100.0%	53.3%	13.2%	19.7%	11.8%	0.7%	1.3%
30～49人	139	73	13	39	8	3	3
	100.0%	52.5%	9.4%	28.1%	5.8%	2.2%	2.2%
50～99人	112	61	8	24	12	3	4
	100.0%	54.5%	7.1%	21.4%	10.7%	2.7%	3.6%
100～199人	49	29	2	12	4	0	2
	100.0%	59.2%	4.1%	24.5%	8.2%	0.0%	4.1%
200～299人	13	10	1	2	0	0	0
	100.0%	76.9%	7.7%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%
300人以上	25	13	1	6	3	0	2
	100.0%	52.0%	4.0%	24.0%	12.0%	0.0%	8.0%

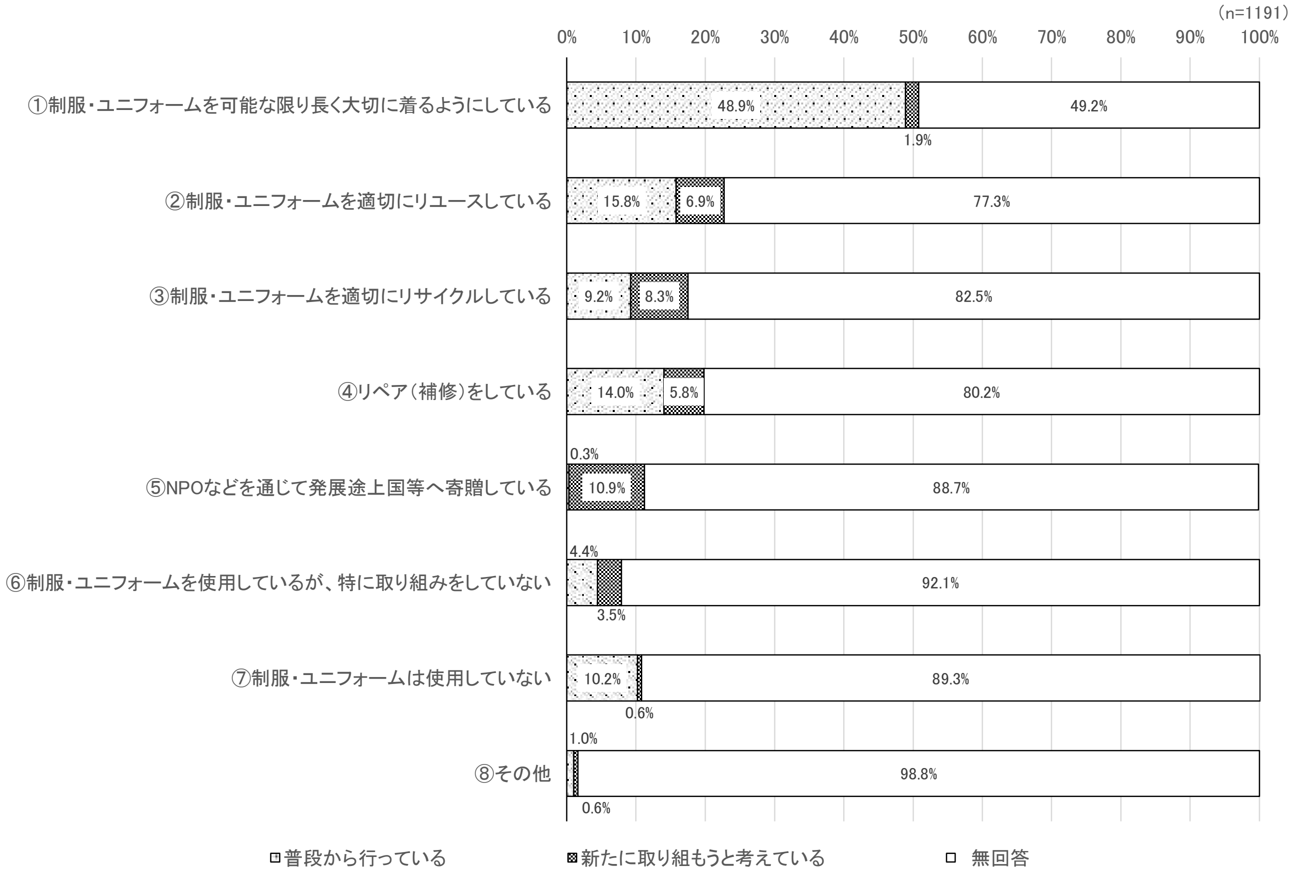
２.７ 布類・衣類について

２.７.１ 布類・衣類の削減に向けて現在の取り組み状況及び新たに取り組もうと考えていること

「普段から行っている」割合が高い取り組みは、「①制服・ユニフォームを可能な限り長く大切に着るようにしている（48.9%）」、「②制服・ユニフォームを適切にリユースしている（15.8%）」、「④リペア（補修）をしている（14.0%）」となっている。

「新たに取り組もうと考えている」割合が高い取り組みは、「⑤NPO などを通じて発展途上国等へ寄贈している（10.9%）」、「③制服・ユニフォームを適切にリサイクルしている（8.3%）」となっている。

図表 206 布類・衣類の削減に向けた現在の取り組み状況 ※該当するものすべてを回答



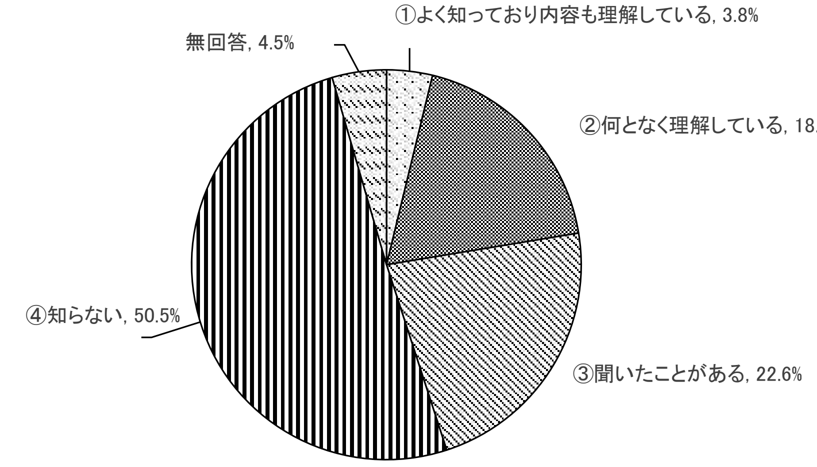
2.8 循環経済の実現に向けた取り組みについて

2.8.1 「循環経済（サーキュラーエコノミー）」の認知度

「④知らない」の割合が最も高く 50.5%となっている。次いで、「③聞いたことがある (22.6%)」、「②何となく理解している（18.6%)」となっている。

図表 207 「循環経済(サーキュラーエコノミー)」の認知度

（n=1191）

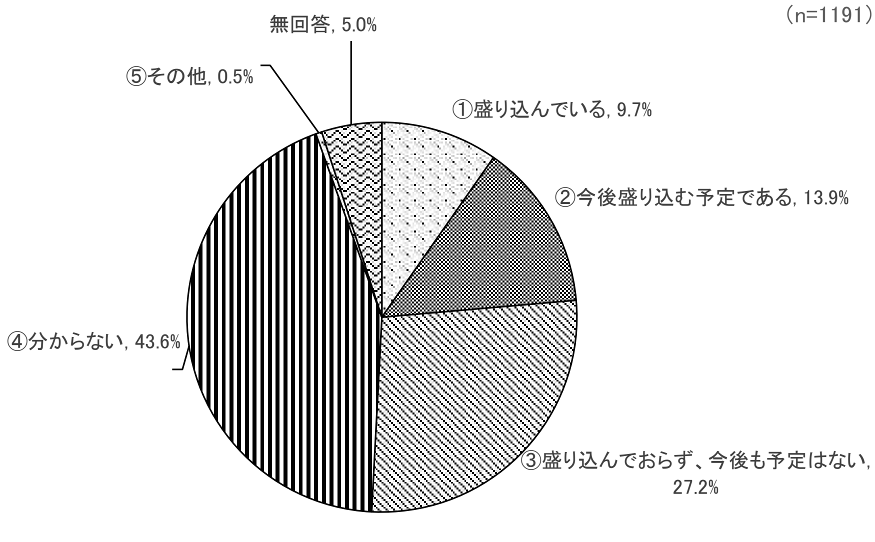


2.8.2 事業所の経営理念、事業戦略等への循環経済の概念の取り入れ状況

「④分からない」の割合が最も高く 43.6%となっている。次いで、「③盛り込んでおらず、今後も予定はない（27.2%)」、「②今後盛り込む予定である（13.9%)」となっている。

図表 208 事業所の経営理念、事業戦略等への循環経済の概念の取り入れ状況

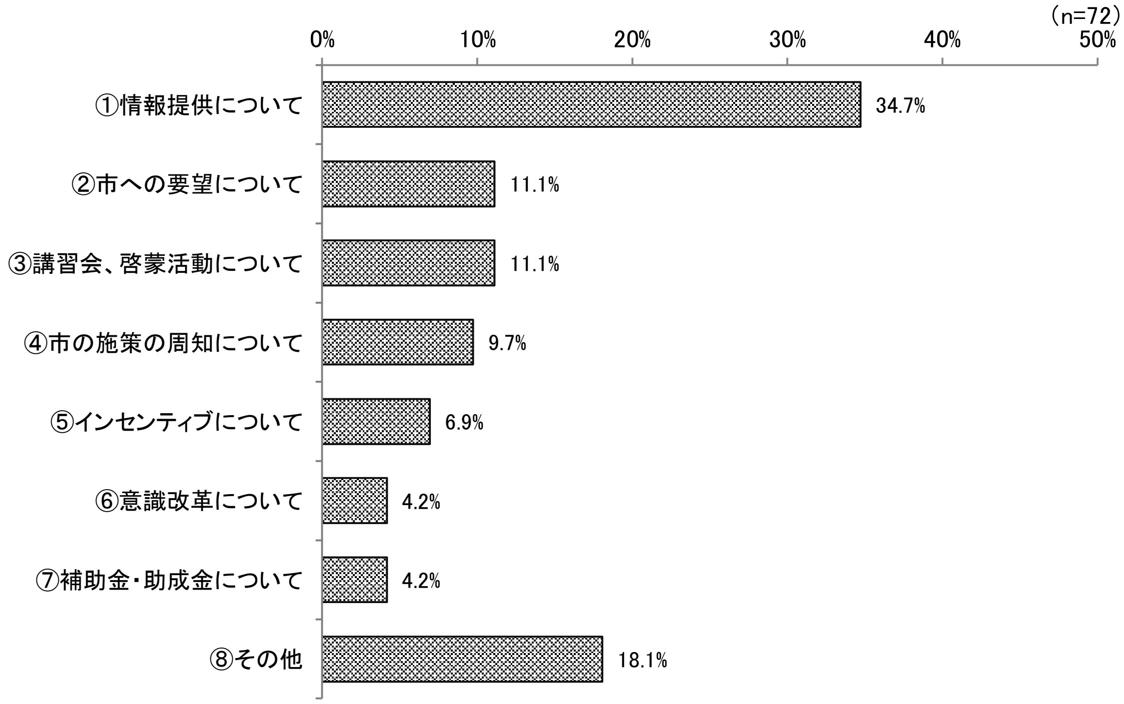
（n=1191）



２.８.３ 「循環経済（サーキュラーエコノミー）」に関する市の支援策や施策

「循環経済（サーキュラーエコノミー）」の認知度向上や事業所が具体的な取り組みを進めるために、仙台市に求める支援策や仙台市が講じるべきと考える施策について自由記載で意見を求め、以下の 8 分類の回答集計を行った。「①情報提供について」が最も高く 34.7%となっている。次いで、「⑧その他（18.1%）」、「②市への要望について（11.1%）」、「③講習会、啓発活動について（11.1%）」となっている。

図表 209 自由回答の内容及び件数



（全 72 件のうち）主な回答

【①情報提供について】
・チラシ・CM 等で広報活動を行い、言葉の認知度を上げる。（物品賃貸業）
・各事業所に対してわかりやすい細かい要望をもっと発信すべきと思います。（その他）
・具体的に取り組む為に、取組み例などを周知してほしい。（土木・建設業）
・事業者に対する広報や啓発活動を強化する。（その他）
・企業の取組みを共有する。影響力のある方を起用して情報を広める。（土木・建設業）

【②市への要望について】
・ビニールやプラスチックは産廃業者に回収をしてもらうなどという、出来ないルールを作らないで、どこで回収したら回収率が上がるかを考え、ルールを作ってもらいたい。（その他の食品小売業）
・当社では月 1 回地域清掃日と机の周りの清掃日を設けております。仙台市も市民清掃日を設けて定期的にごみの軽減を考える日を制定してみてはいかがでしょうか。（土木・建設業）

【③講習会、啓発活動について】
・オンラインで、勉強会があれば参加してみたいと思う。（その他）
・わかりやすく指導、説明が必要でないか？（土木・建設業）

【④市の施策の周知について】

・何をどうすれば何の為に良いかを一般に認知させる所からではないかと思う。(サービス業)
・基本的に仙台市が進める施策についての説明が不足している。「HP を見てください」ではダメだと思う。1 社 1 社説明して廻る覚悟が必要です。机の上のパソコンに向かうのではなく市民に向き合わないとダメです!(土木・建設業)
・そもそも【循環経済】が周知されていない。そして【循環経済】、誰が付けた名前か知らないけれど、名前だけみたら環境対策ではなく、政治経済系のお金の循環の話かと思う。難しい言葉で説明するのは見た目かっこいいけど、結局何が言いたいか分からない。もっと分かりやすく、それこそ幼稚園児でも理解可能な言葉、内容で、かつ、文章も長くなると読み飛ばされるから短く周知しないと世の中には広まらないのでは?(土木・建設業)

【⑤インセンティブについて】
・仙台市が発注する公共事業に対して、一定の条件を付ける。(土木・建設業)
・エコポイントで減税(リサイクルポイント減税)か、リサイクルポイントで補助金/採択率 UP などの優遇。登録でリンクをはって SEO 対策等。(サービス業)
・公共事業受注に際し、SDGs 取組み企業への加点等を検討願いたい。(土木・建設業)

【⑥意識改革について】
・強制力がないと進まないと思う。(その他)
・捨てる前に、何かに利用できないか?と考える、習慣づけをしていく事、社員と共に考える事が大切!!だと思う。(その他)

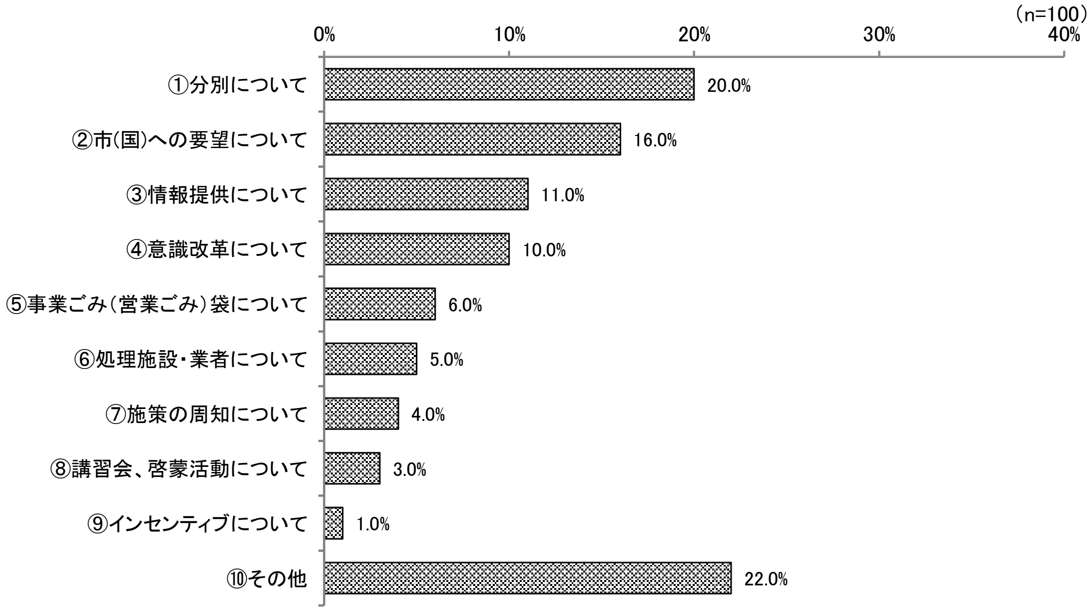
【⑦補助金・助成金について】
・助成金や補助金の提供:循環経済に関連するプロジェクトや技術導入に対して、助成金や補助金を提供することで、企業の取り組みを後押しする。(その他)

【⑧その他】
・″リサイクル、再利用できる物″がどこで入手できるか全く知らないので新品を購入している。新品を買うよりも手軽にリサイクル品等が手に入るようにしてくれれば良いと思う。(土木・建設業)
・プラスチック製品の製造をこれ以上増やさないことと、自然素材である木・紙・鉄製品の製造を奨励し、県や国にも促していくこと。(その他)

２.９ 自由回答

仙台市のこれまでのごみ処理施策や今後のごみ処理施策の方向性等について自由記載で意見を求め、以下の 10 分類の回答集計を行った。「⑩その他」が最も高く 22.0%となっている。次いで、「①分別について（20.0%）」、「②市（国）への要望について（16.0%）」となっている。

図表 210 自由回答の内容及び件数



（全 100 件のうち）主な回答

【①分別について】
・分別が複雑すぎて逆に混入する要因になっているのでは?（土木・建設業）
・ごみの分別がわかりにくく、搬入時に混入していた場合、持ち戻りとなり、結局一般ごみで出してしまうことがある。分別しやすいといいのだけれど・・・。（土木・建設業）
・事業所と家庭ごみの処理の仕方が違うような気がするのでそこを合わせたら、もっと楽に分別出来る様になると思います。（食品以外の製造業）
・仙台市では過去にも色々とごみ減量に取り組んでいますが市民がもっと分別をするようにすべきです。そして可能な限り「リユース」や「リサイクル」を進め可燃ごみを減らす努力をすべきです。市民がもっと危機感をもつようにすべきです。（土木・建設業）
・今後もごみを出す際はルールに従い分別して出していきたいと思います。（食品以外の製造業）
・ごみ分別方法や排出の方法が生活ごみと事業ごみでの違いがわかりづらい。自治体ごとに違う事も分かりづらくしている要因と思う。また、調べても他のページに飛ばされてそのページを読んでもさっぱり分からないことが多い。行政の縦割り感を非常に感じる。（その他）

【②市（国）への要望について】
・会社付近の街路樹の落ち葉を毎年自費で片付けている。（回収業者から購入の有料可燃ごみ袋に集めて捨てている。）自治体で集めて片付けるか、ごみ袋等を提供する等してほしい。（サービス業）
・給食の残りを廃棄せずに、子供食堂等で利用できるシステムを作って欲しい。各学校での廃棄等の現状をしっかり見て欲しい。給食費を頂いているからと、食べてもいないのに食べたことにしている現実を知って欲しい。本当にもったいない。残った牛乳を各学校に捨てさせ、消費したことにする事実は、いつ変わるのか?廃水溝がつまっても、知らんぷり。業者以外、誰の得にもならない。（学校・学習支援業）
・ごみ処理全般に対しての相談窓口の開設、業者の紹介。（どこに電話したりしても、こちらでは

ちょっと・・・・といった感じでたらい回しになったりして何も改善されない為）（その他）

【③情報提供について】
・事業所への仙台市からのアピールが少ないと感じます。（不動産業）
・仙台市はごみ処理に対する意識は高いと思う。ただ新しく仙台に転居して来た方に一早くルールを伝えるツールが不足しているのかなと思う。それからこのシーズン、街路樹の落葉の多さが毎年気になる。会社の取組みや住人だけでは賄いきれない。当然仙台市で処理していることも理解してはいるが、手が回らず大変。（サービス業）
・仙台市での営業ごみ受付品、搬入場所等のパンフレットを配布してほしい。（家庭ごみの様に）（土木・建設業）

【④意識改革について】
・市や消費者だけに限らず製造・販売側の協力が必須。意識して分別しているが限度があります。場合によっては、従業員に持ち帰らせ、家庭ごみで出させているのが現状。結果的にはごみは減りませんが・・・。（運輸・通信業）
・ごみ問題を市民全員が自分ごととして捉えることが出来れば苦労はないが、それは不可能であると感じる。まずは、自分が捨てたごみが、その後どうなるのか、学校教育や社会教育においても「気付き」を得られる機会が増えると、良いと思う。引き続き、リサイクルセンターの運営や、市民の意識に触れれるような、啓発活動を地道にコツコツと、より良い環境を目指してやっていくことが大事と思う。（その他）
・可燃ごみを減らす為に、資源物の分別を行う指導をもっと強く行う必要があると思います。家庭より分別されていない事業所もあると思われます。（土木・建設業）

【⑤事業ごみ（営業ごみ）袋について】
・営業ごみ袋の種類と大きさを検討してほしい（プラスチックなどと不燃物）。事業所もすべて大きい会社とは限りません。家庭から出るものと同じ、電池類・金属類などもすべて大量に出る物ばかりでは無いので検討して下さい。（その他）
・プラ袋は他の営業ごみ袋等に比べて小さい。すぐにいっぱいになる。（食品以外の小売業）
・事業ごみも、家庭ごみ同様にプラスチック袋があると良いと思います。産廃に該当すると知らなかったですし、可燃ごみ同様に袋があれば分別も処理も楽なのでぜひ実現してほしいです。（運輸・通信業）

【⑥処理施設・業者について】
・仙台市が主体のリサイクル施設(民間が手を出し辛い)を運営する。（サービス業）

【⑦施策の周知について】
・家庭用の方向性等は見かけ、細かく協力してますが事業用の方向性や施策については見たような覚えがありません。（その他）

【⑧講習会、啓発活動について】
・説明、指導等の諸々が問題、課題でないかな、全体的に。（土木・建設業）

【⑨インセンティブについて】
・企業や個人を問わずごみ削減、リサイクル、ECO活動に積極的に取り組んでもらうにはやったら何か、こんな良い事があるんだ!やろう!と思ってもらえるシステム(ECO ポイントなど)や仕組みを作って、まずは習慣化してもらえるようにしてみたらどうでしょうか?（食品以外の製造業）

【⑩その他】
・従来にも増して注力いただき、東北の中心都市として世界に誇れる循環社会構築のモデルとなってほしい。（土木・建設業）
・このアンケートにより仙台市の取り組み方、方向性を再認識した。（コンビニエンスストア）

３．【参考】 調査票と結果概要

調査票

ごみ排出等に関する事業者意識調査

1 貴事業所の概要について

（１）以下の各項目について、該当するもの１つに○を付けてください。

◆ **貴事業所の業種**（最も当てはまるもの１つに○）

① 農林水産業	② 土木・建設業	③ 食品製造業
④ 食品以外の製造業	⑤ 運輸・通信業	⑥ デパート・スーパーマーケット
⑦ コンビニエンスストア	⑧ その他の食品小売業	⑨ 食品以外の小売業
⑩ 不動産業	⑪ ホテル・旅館業	⑫ 金融・保険業
⑬ 飲食業	⑭ サービス業	⑮ 物品賃貸業
⑯ 学校・学習支援業	⑰ 医療・福祉機関	
⑱ その他（※詳細をご記入ください　　　）		

合 計	①農林水産業	②土木・建設業	③食品製造業	④食品以外の製造業	⑤運輸・通信業	⑥デパート・スーパーマーケット	⑦コンビニエンスストア	⑧その他の食品小売業	⑨食品以外の小売業	⑩不動産業
1191	3	436	17	37	59	6	7	23	76	76
100.0%	0.3%	36.6%	1.4%	3.1%	5.0%	0.5%	0.6%	1.9%	6.4%	6.4%

⑪ホテル・旅館業	⑫金融・保険業	⑬飲食業	⑭サービス業	⑮物品賃貸業	⑯学校・学習支援業	⑰医療・福祉機関	⑱その他	無回答
14	9	14	122	8	18	31	222	13
1.2%	0.8%	1.2%	10.2%	0.7%	1.5%	2.6%	18.6%	1.1%

◆ **貴事業所の形態**（最も当てはまるもの１つに○）

① 工場・作業所	② 工場・作業所兼住宅	③ 倉庫・事務所兼倉庫
④ 営業所・事務所	⑤ 事務所兼住宅	⑥ 店舗
⑦ 店舗兼住宅	⑧ その他（※詳細をご記入ください　　　）	

合 計	①工場・作業所	②工場・作業所兼住宅	③倉庫・事務所兼倉庫	④営業所・事務所	⑤事務所兼住宅	⑥店舗	⑦店舗兼住宅	⑧その他	無回答
1191	103	2	199	618	62	109	12	76	10
100.0%	8.6%	0.2%	16.7%	51.9%	5.2%	9.2%	1.0%	6.4%	0.8%

◆ **貴事業所のある建物の所有状況**（当てはまるもの１つに○）

① 自社所有・自己所有

② 賃貸

③ その他（※詳細をご記入ください　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

合 計	①自社所有・自己所有	②賃貸	③その他	無回答
1191	653	503	28	7
100.0%	54.8%	42.2%	2.4%	0.6%

◆ **従業員数**（当てはまるもの１つに○）

① 1～4 人	② 5～9 人	③ 10～19 人
④ 20～29 人	⑤ 30～49 人	⑥ 50～99 人
⑦ 100～199 人	⑧ 200～299 人	⑨ 300 人以上

※パート・役員を含む人数について、令和６年 10 月１日現在の状況でお答えください。

合 計	①1～4人	②5～9人	③10～19人	④20～29人	⑤30～49人	⑥50～99人	⑦100～199人	⑧200～299人	⑨300人以上	無回答
1191	140	265	290	152	139	112	49	13	25	6
100.0%	11.8%	22.3%	24.3%	12.8%	11.7%	9.4%	4.1%	1.1%	2.1%	0.5%

◆ **貴事業所の延べ床面積**（当てはまるもの１つに○）

① ～49 ㎡	② 50 ～ 99 ㎡	③ 100 ～ 499 ㎡
④ 500 ～ 999 ㎡	⑤ 1,000 ～ 2,999 ㎡	⑥ 3,000 ㎡ 以上

合 計	①～49㎡	②50～99㎡	③100～499㎡	④500～999㎡	⑤1,000～2,999㎡	⑥3,000㎡以上	無回答
1191	88	199	449	141	110	123	81
100.0%	7.4%	16.7%	37.7%	11.8%	9.2%	10.3%	6.8%

◆ **貴事業所の資本金**（当てはまるもの１つに○）

① ～199 万円	② 200 ～299 万円	③ 300 ～499 万円
④ 500 ～999 万円	⑤ 1,000 ～ 2,999 万円	⑥ 3,000 万円 ～

合 計	①～199万円	②200～299万円	③300～499万円	④500～999万円	⑤1,000～2,999万円	⑥3,000万円～	無回答
1191	41	5	120	117	558	292	58
100.0%	3.4%	0.4%	10.1%	9.8%	46.9%	24.5%	4.9%

2 ごみの排出について（産業廃棄物を除く）

（2）ごみの排出は誰が行っていますか。該当するもの1つに○を付けてください。

①　自社で行う　　②　建物の管理会社が行う

③　その他（※詳細をご記入ください　　　　）

合　計	①自社で行う	②建物の管理会社が行う	③その他	無回答
1191	940	130	82	39
100.0%	78.9%	10.9%	6.9%	3.3%

（3）1ヶ月にかかる、ごみ・資源物処理費用の合計は、おおよそいくらですか。該当するもの1つに○を付けてください。

①　2,000円 以下　　②　2,001円　～　5,000円　　③　5,001円　～　10,000円

④　10,001円　～　50,000円　　⑤　50,001円　～　100,000円　　⑥　100,000円 以上

合　計	①2,000円以下	②2,001円～5,000円	③5,001円～10,000円	④10,001円～50,000円	⑤50,001円～100,000円	⑥100,000円以上	無回答
1191	369	222	142	243	65	64	86
100.0%	31.0%	18.6%	11.9%	20.4%	5.5%	5.4%	7.2%

（4）1週間あたりの、「営業ごみ（可燃ごみ）」のおおよその排出量はどのくらいですか。
排出量を把握している場合と把握していない場合のいずれかにおいて、該当するもの1つに○を付けてください。又は、数値を記入してください。

1週間あたりのおおよその営業ごみ（可燃ごみ）排出量を把握している場合（※該当するもの1つに○）

①　10kg 未満　　②　10 ～ 20kg　　③　21 ～ 30kg

④　31 ～ 50kg　　⑤　51 ～ 70kg　　⑥　71 ～ 100kg

⑦　101 ～ 150kg　　⑧　151 ～ 200kg　　⑨　201 ～ 300kg

⑩　300kg 超　※具体的な数量（　　　　）kg

合　計	①10kg未満	②10～20kg	③21～30kg	④31～50kg	⑤51～70kg	⑥71～100kg	⑦101～150kg	⑧151～200kg	⑨201～300kg	⑩300kg 超	無回答
1191	389	116	39	43	21	22	13	18	16	33	481
100.0%	32.7%	9.7%	3.3%	3.6%	1.8%	1.8%	1.1%	1.5%	1.3%	2.8%	40.4%

営業ごみ（可燃ごみ）の排出量を把握していない場合（※可能な範囲で実測の上、数値を記入してください。）

ごみ袋（容器）1個あたりの重さ　（　　　　）kg

ごみ袋（容器）の1週間の排出個数　（　　　　）個

（５）「営業ごみ（可燃ごみ）」の処理はどのように行っていますか。主な処理方法について該当するもの１つに〇を付けてください。

① 仙台市の処理施設に自己搬入する

② 収集運搬許可業者に委託する（※）

③ 自社で処理する

④ その他（※詳細をご記入ください　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

※事業ごみの収集運搬を、他社に委託する場合には、自治体の許可を受けた処理業者（許可業者）に委託する必要があります。

合 計	①仙台市の処理施設に自己搬入する	②収集運搬許可業者に委託する	③自社で処理する	④その他	無回答
1191	78	918	68	75	52
100.0%	6.5%	77.1%	5.7%	6.3%	4.4%

（６）１週間あたりの、「資源物」のおおよその排出量や、それぞれの処理方法について、次の選択肢から該当するもの１つに〇を付けてください。

◆１週間あたりの排出量

それぞれの品目（①～⑪）について、おおよその排出量（ア．～サ．）のいずれか１つに〇

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	
	排出しない	10kg 未満	10 ～ 20 kg	21 ～ 30 kg	31 ～ 50 kg	51 ～ 70 kg	71 ～ 100 kg	101 ～ 150 kg	151 ～ 200 kg	201 ～ 300 kg	300 kg 超	「サ．300kg 超」に”〇”をつけた場合、以下に数量をご記入ください。
① ＯＡ用紙、新聞・チラシ、雑誌・書籍												（　　　）kg
② 段ボール												（　　　）kg
③ 紙パック												（　　　）kg
④ シュレッダー紙												（　　　）kg
⑤ その他紙類												（　　　）kg
⑥ 缶												（　　　）kg
⑦ びん												（　　　）kg
⑧ ペットボトル												（　　　）kg
⑨ 食品トレイ												（　　　）kg
⑩ 食品廃棄物												（　　　）kg
⑪ その他												（　　　）kg

※【重さの目安】45 リットル袋に、生ごみを入れるとおよそ 8kg、紙類を入れるとおよそ 4 kg です。

	合 計	ア）排出しない	イ）10kg未満	ウ）10～20kg	エ）21～30kg	オ）31～50kg	カ）51～70kg	キ）71～100kg	ク）101～150kg	ケ）151～200kg	コ）201～300kg	サ）300kg 超	無回答
①OA用紙、新聞・チラシ、雑誌・書籍	1191	109	752	100	29	15	7	5	10	6	6	7	145
	100.0%	9.2%	63.1%	8.4%	2.4%	1.3%	0.6%	0.4%	0.8%	0.5%	0.5%	0.6%	12.2%
②段ボール	1191	117	661	105	35	37	14	14	9	8	11	23	157
	100.0%	9.8%	55.5%	8.8%	2.9%	3.1%	1.2%	1.2%	0.8%	0.7%	0.9%	1.9%	13.2%
③紙パック	1191	569	316	18	2	3	0	2	0	0	0	0	281
	100.0%	47.8%	26.5%	1.5%	0.2%	0.3%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.6%
④シュレッダー紙	1191	133	753	77	20	17	6	3	4	3	1	1	173
	100.0%	11.2%	63.2%	6.5%	1.7%	1.4%	0.5%	0.3%	0.3%	0.3%	0.1%	0.1%	14.5%
⑤その他紙類	1191	178	699	55	11	5	4	2	5	2	1	0	229
	100.0%	14.9%	58.7%	4.6%	0.9%	0.4%	0.3%	0.2%	0.4%	0.2%	0.1%	0.0%	19.2%
⑥缶	1191	205	709	43	13	12	2	9	3	0	3	1	191
	100.0%	17.2%	59.5%	3.6%	1.1%	1.0%	0.2%	0.8%	0.3%	0.0%	0.3%	0.1%	16.0%
⑦びん	1191	258	654	31	14	7	4	3	1	1	1	3	214
	100.0%	21.7%	54.9%	2.6%	1.2%	0.6%	0.3%	0.3%	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	18.0%
⑧ペットボトル	1191	164	746	49	12	11	5	12	1	1	0	1	189
	100.0%	13.8%	62.6%	4.1%	1.0%	0.9%	0.4%	1.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	15.9%
⑨食品トレイ	1191	593	309	9	1	5	1	2	0	0	0	0	271
	100.0%	49.8%	25.9%	0.8%	0.1%	0.4%	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.8%
⑩食品廃棄物	1191	592	269	17	9	9	8	5	4	3	4	11	260
	100.0%	49.7%	22.6%	1.4%	0.8%	0.8%	0.7%	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%	0.9%	21.8%
⑪その他	1191	284	193	16	4	3	1	2	5	2	2	8	671
	100.0%	23.8%	16.2%	1.3%	0.3%	0.3%	0.1%	0.2%	0.4%	0.2%	0.2%	0.7%	56.3%

◆それぞれの品目についての処理方法

それぞれの品目（①～⑪）について、処理方法（ア．～キ．）として最も当てはまるもの１つに○

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
	資源物として業者に費用を払って処理を委託する	業者に売却する	業者に無料で引き渡す	納入業者に引き渡す（返却）	仙台市資源化施設に自己搬入する（例 資源化センター、事業系紙類回収庫）	民間資源化施設に自己搬入する	その他
① ＯＡ用紙、新聞・チラシ、雑誌・書籍							
② 段ボール							
③ 紙パック							
④ シュレッダー紙							
⑤ その他紙類							
⑥ 缶							
⑦ びん							
⑧ ペットボトル							
⑨ 食品トレイ							
⑩ 食品廃棄物							
⑪ その他							

「キ．その他」に“○“を付けた場合は、以下に詳細をご記入ください。

	合 計	ア）資源物として業者に費用を払って処理を委託する	イ）業者に売却する	ウ）業者に無料で引き渡す	エ）納入業者に引き渡す（返却）	オ）仙台市資源化施設に自己搬入する（例資源化センター、事業系紙類回収庫）	カ）民間資源化施設に自己搬入する	キ）その他	無回答
①OA用紙、新聞・チラシ、雑誌・書籍	1191	390	86	332	7	66	69	88	153
	100.0%	32.7%	7.2%	27.9%	0.6%	5.5%	5.8%	7.4%	12.8%
②段ボール	1191	280	117	448	5	59	77	75	130
	100.0%	23.5%	9.8%	37.6%	0.4%	5.0%	6.5%	6.3%	10.9%
③紙パック	1191	252	38	151	2	33	37	113	565
	100.0%	21.2%	3.2%	12.7%	0.2%	2.8%	3.1%	9.5%	47.4%
④シュレッダー紙	1191	495	60	200	5	61	38	94	238
	100.0%	41.6%	5.0%	16.8%	0.4%	5.1%	3.2%	7.9%	20.0%
⑤その他紙類	1191	416	58	209	3	46	43	94	322
	100.0%	34.9%	4.9%	17.5%	0.3%	3.9%	3.6%	7.9%	27.0%
⑥缶	1191	466	39	168	49	48	40	88	293
	100.0%	39.1%	3.3%	14.1%	4.1%	4.0%	3.4%	7.4%	24.6%
⑦びん	1191	473	21	149	47	48	34	91	328
	100.0%	39.7%	1.8%	12.5%	3.9%	4.0%	2.9%	7.6%	27.5%
⑧ペットボトル	1191	463	30	168	52	50	53	88	287
	100.0%	38.9%	2.5%	14.1%	4.4%	4.2%	4.5%	7.4%	24.1%
⑨食品トレイ	1191	274	15	71	5	0	23	124	679
	100.0%	23.0%	1.3%	6.0%	0.4%	0.0%	1.9%	10.4%	57.0%
⑩食品廃棄物	1191	293	13	65	4	0	17	121	678
	100.0%	24.6%	1.1%	5.5%	0.3%	0.0%	1.4%	10.2%	56.9%
⑪その他	1191	152	5	37	2	8	12	71	904
	100.0%	12.8%	0.4%	3.1%	0.2%	0.7%	1.0%	6.0%	75.9%

（７）事業所から出るごみの収集を許可業者に委託する場合、支払う収集運搬費用に、仙台市の処理施設搬入手数料（100kg あたり 1,500 円、100kg 超 10kg 毎 150 円）が含まれていることを知っていますか。次の選択肢から該当するもの１つに〇を付けてください。

① 知っていた　② 知らなかった
③ その他（※詳細をご記入ください　）

合 計	①知っていた	②知らなかった	③その他	無回答
1191	447	702	8	34
100.0%	37.5%	58.9%	0.7%	2.9%

（８）収集運搬許可業者による収集について、普段感じていることはありますか。次の選択肢から該当するものすべてに〇を付けてください。

① 収集の回数が少ない
② 収集時に使用する袋の大きさが、大きすぎる
③ 収集時に使用する袋の大きさが、小さすぎる
④ 収集時に支払う費用や、毎月の収集委託費用が高すぎる
⑤ 収集時に使用する袋の販売単位（例えば 50 枚１セットなど）が多すぎる
⑥ 収集の委託はしていない
⑦ 特になし
⑧ その他（※詳細をご記入ください　）

合　計	①収集の回数が少ない	②収集時に使用する袋の大きさが、大きすぎる	③収集時に使用する袋の大きさが、小さすぎる	④収集時に支払う費用や、毎月の収集委託費用が高すぎる	⑤収集時に使用する袋の販売単位（例えば50枚1セットなど）が多すぎる	⑥収集の委託はしていない	⑦特になし	⑧その他	無回答
1191	49	27	40	198	91	99	672	38	61
100.0%	4.1%	2.3%	3.4%	16.6%	7.6%	8.3%	56.4%	3.2%	5.1%

3　ごみ減量・リサイクルの取り組み等について

（9）ごみ減量・リサイクルに関する方針を定めていますか。該当するものすべてに○を付けてください。

①　「ＩＳＯ１４００１」の認証を取得している
②　「エコアクション２１」の認証を取得している
③　「グリーン経営認証」を取得している
④　「みちのくＥＭＳ」を取得している
⑤　「エコにこマイスター」、「エコにこゴールドマイスター」※の認証を取得している
⑥　独自に方針を定めている
⑦　特に定めていない
⑧　その他のごみ・資源物に関するマネジメントシステムの認証を取得している
（※詳細をご記入ください　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

※「エコにこマイスター制度」とは、ごみの減量・リサイクルの推進等に取り組む市内事業者を、「仙台市環境配慮事業者（エコにこマイスター）」として認定し、事業者の環境保全に対する意識の高揚を図るとともに、自主的な取り組みを支援するものです。取り組み内容に応じて、「エコにこマイスター」、「エコにこゴールドマイスター」の２つの区分で認定しています。

合　計	①「ISO14001」の認証を取得している	②「エコアクション21」の認証を取得している	③「グリーン経営認証」を取得している	④「みちのくEMS」を取得している	⑤「エコにこマイスター」、「エコにこゴールドマイスター」の認証を取得している	⑥独自に方針を定めている	⑦特に定めていない	⑧その他のごみ・資源物に関するマネジメントシステムの認証を取得している	無回答
1191	53	7	8	71	39	170	833	5	33
100.0%	4.5%	0.6%	0.7%	6.0%	3.3%	14.3%	69.9%	0.4%	2.8%

（１０）（（9）で、「⑦ 特に定めていない」とお答えいただいた方に伺います。）
今後、どのような条件があれば定めようと思いますか。該当するもの１つに○を付けてください。

①　方針の運用に係る手間やコストが今より少なくなる
②　方針を定めることで、受注が有利になるなど、直接利益に結びつく
③　方針を定めることで、社会貢献を一層アピールしやすくなる
④　方針を定める必要を感じない
⑤　わからない
⑥　その他（※詳細をご記入ください　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

合　計	①方針の運用に係る手間やコストが今より少なくなる	②方針を定めることで、受注が有利になるなど、直接利益に結びつく	③方針を定めることで、社会貢献を一層アピールしやすくなる	④方針を定める必要を感じない	⑤わからない	⑥その他	無回答
833	142	41	77	204	337	21	11
100.0%	17.0%	4.9%	9.2%	24.5%	40.5%	2.5%	1.3%

（１１）事業所内でごみ減量に取り組む責任者を定めていますか。次の選択肢から該当するもの１つに○を付けてください。

①　常に定めている

②　必要に応じて（期間を設けて）定めている

③　特に定めていない

合　計	①常に定めている	②必要に応じて（期間を設けて）定めている	③特に定めていない	無回答
1191	212	126	837	16
100.0%	17.8%	10.6%	70.3%	1.3%

（１２）次に挙げるごみ減量・リサイクルの取り組みのうち、「ア 普段から行っている」又は「イ 新たに取り組もうと考えている」項目に該当するものがあれば、すべてに〇を付けてください。

	ア 普段から行っている	イ 新たに取り組もうと考えている
① 分別回収用のダストボックスなどを設置し、分別を徹底		
② コンピューターの利用によるペーパーレス化		
③ 使い捨て容器等（紙コップ、使い捨てプラスチック）の使用自粛及びリユース食器の利用促進		
④ レジ袋使用量の削減		
⑤ 簡易包装の積極的な取り組み		
⑥ 海洋プラスチック問題の解決などのため、海岸・河川敷などにおいて地域清掃などの実施		
⑦ グリーン購入（環境配慮製品を優先的に調達すること）の実施		
⑧ 再生紙（コピー用紙、トイレットペーパーなど）の利用		
⑨ リサイクルトナーカートリッジなどリサイクル品の利用		
⑩ 生ごみの減量・リサイクル		
⑪ 店頭回収の推進		
⑫ 事業所内での不用品の貸借		
⑬ 事業所内の掲示物・掲示板を活用した啓発や呼びかけ		
⑭ 事業所内の研修等の実施		
⑮ 「エコにこマイスター」「エコにこゴールドマイスター」の認証取得		
⑯ その他		

「⑯ その他」に”〇”をつけた場合は、以下に詳細をご記入ください。

	合 計	①普段から行っている	②新たに取り組もうと考えている	無回答
①分別回収用のダストボックスなどを設置し、分別を徹底	1191	926	56	209
	100.0%	77.7%	4.7%	17.5%
②コンピュータの利用によるペーパーレス化	1191	730	183	278
	100.0%	61.3%	15.4%	23.3%
③使い捨て容器等（紙コップ、使い捨てプラスチック）の使用自粛及びリユース食器の利用促進	1191	491	171	529
	100.0%	41.2%	14.4%	44.4%
④レジ袋使用量の削減	1191	624	80	487
	100.0%	52.4%	6.7%	40.9%
⑤簡易包装の積極的な取り組み	1191	494	98	599
	100.0%	41.5%	8.2%	50.3%
⑥海洋プラスチック問題の解決などのため、海岸・河川敷などにおいて地域清掃などの実施	1191	185	273	733
	100.0%	15.5%	22.9%	61.5%
⑦グリーン購入（環境配慮製品を優先的に調達すること）の実施	1191	301	245	645
	100.0%	25.3%	20.6%	54.2%
⑧再生紙（コピー用紙、トイレットペーパーなど）の利用	1191	829	78	284
	100.0%	69.6%	6.5%	23.8%
⑨リサイクルトナーカートリッジなどリサイクル品の利用	1191	593	125	473
	100.0%	49.8%	10.5%	39.7%
⑩生ごみの減量・リサイクル	1191	368	131	692
	100.0%	30.9%	11.0%	58.1%
⑪店頭回収の推進	1191	194	217	780
	100.0%	16.3%	18.2%	65.5%
⑫事業所内での不用品の貸借	1191	217	204	770
	100.0%	18.2%	17.1%	64.7%
⑬事業所内の掲示物・掲示板を活用した啓発や呼びかけ	1191	312	207	672
	100.0%	26.2%	17.4%	56.4%
⑭事業所内の研修等の実施	1191	127	282	782
	100.0%	10.7%	23.7%	65.7%
⑮「エコにこマイスター」「エコにこゴールドマイスター」の認証取得	1191	59	319	813
	100.0%	5.0%	26.8%	68.3%
⑯その他	1191	27	23	1155
	100.0%	2.3%	1.9%	97.0%

（１３）今後、事業ごみのさらなる減量・リサイクルを推進するために、どのような方法が有効だと思いますか。該当するもの３つまでに〇を付けてください。

① 製造事業者がごみになりにくい商品を作る

② 各事業者が事業所などから出る事業ごみの減量や資源物の分別を徹底する

③ 仙台市が市民・事業者・市の意見交換の機会を増やし、施策に反映させる

④ 再生紙など環境への負荷が少ない製品の利用を広げる

⑤ 事業ごみ収集時や処理施設搬入時に負担する、ごみ処理手数料を上げる

⑥ 製造事業者が自社の商品の回収・リサイクルまで責任を持つ

⑦ 仙台市が事業者に対する広報・啓発を強化する

⑧ その他 （※詳細をご記入ください ）

合 計	①製造事業者がごみになりにくい商品を作る	②各事業者が事業所などから出る事業ごみの減量や資源物の分別を徹底する	③仙台市が市民・事業者・市の意見交換の機会を増やし、施策に反映させる	④再生紙など環境への負荷が少ない製品の利用を広げる	⑤事業ごみ収集時や処理施設搬入時に負担する、ごみ処理手数料を上げる	⑥製造事業者が自社の商品の回収・リサイクルまで責任を持つ	⑦仙台市が事業者に対する広報・啓発を強化する	⑧その他	無回答
1191	572	562	126	556	68	269	178	29	65
100.0%	48.0%	47.2%	10.6%	46.7%	5.7%	22.6%	14.9%	2.4%	5.5%

（１４）ごみ減量・リサイクルを進める上で、課題となっていることは何ですか。該当するもの３つまでに〇を付けてください。

① 分別のやり方がわからない、難しい

② 分別に手間がかかる、面倒

③ 分別したものを保管する場所がない、足りない

④ 経営者や上司の理解を得ることが難しい

⑤ 社員への指導・啓発が難しい

⑥ 建物を管理している会社の理解を得ることが難しい

⑦ 他のテナントの理解を得ることが難しい

⑧ ごみ減量・リサイクル関連の情報が少ない

⑨ 費用がかかる、今よりも費用が増える

⑩ その他 （※詳細をご記入ください ）

合 計	①分別のやり方がわからない、難しい	②分別に手間がかかる、面倒	③分別したものを保管する場所がない、足りない	④経営者や上司の理解を得ることが難しい	⑤社員への指導・啓発が難しい	⑥建物を管理している会社の理解を得ることが難しい	⑦他のテナントの理解を得ることが難しい	⑧ごみ減量・リサイクル関連の情報が少ない	⑨費用がかかる、今よりも費用が増える	⑩その他	無回答
1191	163	472	404	29	250	4	33	249	346	69	115
100.0%	13.7%	39.6%	33.9%	2.4%	21.0%	0.3%	2.8%	20.9%	29.1%	5.8%	9.7%

4 食品廃棄物・食品ロスについて

日本では、本来食べられるのに廃棄される食品（食品ロス※1）の量が年間**472万トン**と推計されています。1人あたりに換算すると経済損失は32,125円/人/年（1日あたり88円/人/日）、温室効果ガス排出量は83kg-CO_2/人/年と推計されています。

仙台市では、フードドライブ※2の実施等を通じ、事業系の食品ロスの削減に取り組んでいます。仙台市が今後事業系の食品廃棄物（調理くずや残飯など）・食品ロスの削減を推進するための施策を検討するため、以下の設問へのご回答をよろしくお願いします。

※出典：消費者庁 HP（https://www.caa.go.jp/notice/entry/038363/index.html）

※1 食品ロスとは、本来食べられるにも関わらず、手をつけずに、もしくは食べ残しとして廃棄される食品を指します。

※2 フードドライブとは、家庭で余っている食べ物を学校や施設などに持ち寄り、それらを地域の福祉団体やフードバンクなどに寄贈する活動です。

（１５）事業所から、食品廃棄物（調理くずや残飯など）を排出しますか。該当するもの１つに〇を付けてください。

① 排出しており、リサイクル（堆肥化、飼料化、メタン化等）するなど減量に努めている

② 排出しているが、営業ごみ（可燃ごみ）として処理している

③ 排出していない

④ わからない

⑤ その他 （※詳細をご記入ください ）

合　計	①排出しており、リサイクル（堆肥化、飼料化、メタン化等）するなど減量に努めている	②排出しているが、営業ごみ（可燃ごみ）として処理している	③排出していない	④わからない	⑤その他	無回答
1191	38	218	864	20	11	40
100.0%	3.2%	18.3%	72.5%	1.7%	0.9%	3.4%

（１６）事業所から、食品廃棄物（調理くずや残飯など）を排出している方に伺います。（（１５）で「①排出しており、リサイクルするなど減量に努めている」又は「②排出しているが、営業ごみ（可燃ごみ）として処理している」を選択した方）

次の項目のうち、食品廃棄物・食品ロスの削減に向けて、「ア　普段から行っている」又は「イ　新たに取り組もうと考えている」に該当するものがあれば、すべてに○を付けてください。

食品製造業等　の方に伺います

	ア 普段から行っている	イ 新たに取り組もうと考えている
①　食品の需要予測の精度を向上させ、余剰生産・在庫を防ぐ		
②　製造時のロスや端材、品質不良等を減らす取り組みをしている		
③　容器包装の工夫などにより、製品の長寿命化に取り組んでいる		
④　フードドライブを実施するなど、余剰食品の寄付を推進している		
⑤　食品廃棄物をリサイクル（堆肥化、飼料化、メタン化等）する		
⑥　その他（※以下に詳細をご記入ください） （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）		

	合　計	①普段から行っている	②新たに取り組もうと考えている	無回答
①食品の需要予測の精度を向上させ、余剰生産・在庫を防ぐ	14	11	1	2
	100.0%	78.6%	7.1%	14.3%
②製造時のロスや端材、品質不良等を減らす取り組みをしている	14	13	0	1
	100.0%	92.9%	0.0%	7.1%
③容器包装の工夫などにより、製品の長寿命化に取り組んでいる	14	7	2	5
	100.0%	50.0%	14.3%	35.7%
④フードドライブを実施するなど、余剰食品の寄付を推進している	14	2	4	8
	100.0%	14.3%	28.6%	57.1%
⑤食品廃棄物をリサイクル（堆肥化、飼料化、メタン化等）する	14	7	3	4
	100.0%	50.0%	21.4%	28.6%
⑥その他	14	0	0	14
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

飲食を提供している飲食業／ホテル旅館業等　の方に伺います

	ア 普段から行っている	イ 新たに取り組もうと考えている
①　**来客予測の精度を向上**させ、適正に食材を仕入れる		
②　調理方法の工夫などにより、**調理ロスを減らす**		
③　**小盛りメニュー**を設ける		
④　**食べきりへの呼びかけ**を行う		
⑤　食べきりに対して**ポイントを付与する**などインセンティブを付与する		
⑥　**ドギーバッグを導入する**など、食品・食材の持ち帰りを推奨する		
⑦　**フードシェアリングサービス**※を活用し、余剰食品を販売する		
⑧　フードドライブを実施するなど、**余剰食品の寄付**を推進している		
⑨　食品廃棄物をリサイクル（**堆肥化、飼料化、メタン化**等）する		
⑩　その他（※以下に詳細をご記入ください） （　　　　　　　　　　　　　　　）		

※フードシェアリングサービスとは、余剰食品を消費者に販売するアプリや WEB サイトを指します

	合　計	①普段から行っている	②新たに取り組もうと考えている	無回答
①来客予測の精度を向上させ、適正に食材を仕入れる	24	22	0	2
	100.0%	91.7%	0.0%	8.3%
②調理方法の工夫などにより、調理ロスを減らす	24	19	1	4
	100.0%	79.2%	4.2%	16.7%
③小盛りメニューを設ける	24	8	5	11
	100.0%	33.3%	20.8%	45.8%
④食べきりへの呼びかけを行う	24	6	7	11
	100.0%	25.0%	29.2%	45.8%
⑤食べきりに対してポイントを付与するなどインセンティブを付与する	24	2	5	17
	100.0%	8.3%	20.8%	70.8%
⑥ドギーバッグを導入するなど、食品・食材の持ち帰りを推奨する	24	1	6	17
	100.0%	4.2%	25.0%	70.8%
⑦フードシェアリングサービスを活用し、余剰食品を販売する	24	0	5	19
	100.0%	0.0%	20.8%	79.2%
⑧フードドライブを実施するなど、余剰食品の寄付を推進している	24	1	4	19
	100.0%	4.2%	16.7%	79.2%
⑨食品廃棄物をリサイクル（堆肥化、飼料化、メタン化等）する	24	3	8	13
	100.0%	12.5%	33.3%	54.2%
⑩その他	24	0	0	24
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

食品小売業等　の方に伺います

	ア 普段から行っている	イ 新たに取り組もうと考えている
①　**食品の需要予測の精度を向上**させ、余剰生産・在庫を防ぐ		
②　**量り売りや小分け販売**を行う		
③　**商慣習**（1/3 ルール※、先入先出ルール）を見直す		
④　**過剰陳列**を行わない		
⑤　見切り販売など、**期限間近の食品を販売**する工夫をする		
⑥　**フードシェアリングサービス**※を活用し、余剰食品を販売する		
⑦　フードドライブを実施するなど、**余剰食品の寄付**を推進している		
⑧　食品廃棄物をリサイクル（**堆肥化、飼料化、メタン化等**）する		
⑨　その他（※以下に詳細をご記入ください） （　　　　　　　　　　　　　　　　）		

※1/3 ルールとは、小売店などが設定するメーカーからの納品期限及び店頭での販売期限が、製造日から賞味期限までの期間を３等分して商慣習として設定されていること、を指します。

※フードシェアリングサービスとは、余剰食品を消費者に販売するアプリや WEB サイトを指します。

	合　計	①普段から行っている	②新たに取り組もうと考えている	無回答
①食品の需要予測の精度を向上させ、余剰生産･在庫を防ぐ	28	24	0	4
	100.0%	85.7%	0.0%	14.3%
②量り売りや小分け販売を行う	28	17	2	9
	100.0%	60.7%	7.1%	32.1%
③商慣習（1/3ルール、先入先出ルール）を見直す	28	18	1	9
	100.0%	64.3%	3.6%	32.1%
④過剰陳列を行わない	28	19	1	8
	100.0%	67.9%	3.6%	28.6%
⑤見切り販売など、期限間近の食品を販売する工夫をする	28	22	0	6
	100.0%	78.6%	0.0%	21.4%
⑥フードシェアリングサービスを活用し、余剰食品を販売する	28	11	6	11
	100.0%	39.3%	21.4%	39.3%
⑦フードドライブを実施するなど、余剰食品の寄付を推進している	28	16	2	10
	100.0%	57.1%	7.1%	35.7%
⑧食品廃棄物をリサイクル（堆肥化、飼料化、メタン化等）する	28	12	6	10
	100.0%	42.9%	21.4%	35.7%
⑨その他	28	0	0	28
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

（１７）事業所から食品廃棄物（調理くずや残飯など）を排出する方に伺います。（（１５）で「①排出しており、リサイクルするなど減量に努めている」又は「②排出しているが、営業ごみ（可燃ごみ）として処理している」を選択した方）

次の項目のうち、食品ロス削減及び食品リサイクルに取り組んでいる、又はこれから取り組むにあたって、課題となっていることは何ですか。該当するものすべてに○を付けてください。

食品ロス削減（余剰食品の寄付や食べきりへの呼びかけなど）に関する課題　について伺います

① 課題となっていることはない
② どのように取り組めばよいか分からない
③ 費用がかかる
④ 手間がかかる、面倒
⑤ 利用できる制度がない、わからない
⑥ 需要があるかわからない
⑦ 経営者や上司の理解を得ることが難しい
⑧ その他（詳細をご記入ください　　　　　　　　　　）

合計	①課題となっていることはない	②どのように取り組めばよいか分からない	③費用がかかる	④手間がかかる、面倒	⑤利用できる制度がない、わからない	⑥需要があるかわからない	⑦経営者や上司の理解を得ることが難しい	⑧その他	無回答
256	102	29	22	40	15	13	4	13	62
100.0%	39.8%	11.3%	8.6%	15.6%	5.9%	5.1%	1.6%	5.1%	24.2%

食品リサイクル（堆肥化、飼料化、メタン化等）に関する課題　について伺います

① 課題となっていることはない
② どのように取り組めばよいか分からない
③ 費用がかかる（収集運搬、処理・リサイクルの費用）
④ 手間がかかる、面倒（食品廃棄物の分別や保管）
⑤ 分別したものを保管する場所がない、足りない
⑥ 臭気や腐敗が気になる
⑦ 経営者や上司の理解を得ることが難しい
⑧ 社員・従業員への指導・啓発が難しい
⑨ どのようにリサイクルされているかわからない
⑩ どこに頼めばよいのかわからない
⑪ その他（詳細をご記入ください　　　　　　　　　　）

合計	①課題となっていることはない	②どのように取り組めばよいか分からない	③費用がかかる（収集運搬、処理・リサイクルの費用）	④手間がかかる、面倒（食品廃棄物の分別や保管）	⑤分別したものを保管する場所がない、足りない	⑥臭気や腐敗が気になる	⑦経営者や上司の理解を得ることが難しい	⑧社員・従業員への指導・啓発が難しい	⑨どのようにリサイクルされているかわからない	⑩どこに頼めばよいのかわからない	⑪その他	無回答
256	84	42	45	39	26	33	2	7	8	17	9	60
100.0%	32.8%	16.4%	17.6%	15.2%	10.2%	12.9%	0.8%	2.7%	3.1%	6.6%	3.5%	23.4%

5 プラスチックについて

商品を梱包するビニール類やプラスチック製品は、産業廃棄物のうちの「廃プラスチック類」に該当するため、営業ごみ（可燃ごみ）の袋には入れずに、産業廃棄物を処理する許可業者に委託する必要があります。

仙台市の営業ごみ（可燃ごみ）の排出量は近年ほぼ横ばいで推移しており、**営業ごみ（可燃ごみ）に占めるプラスチックごみの割合は 27.4%**（令和５年度調査結果）です。仙台市では、2022 年 4 月に施行されたプラスチック資源循環促進法に基づいて、プラスチックを使用した製品廃棄物などの排出抑制や、効率的なリサイクルに向けた呼びかけ等により、営業ごみ（可燃ごみ）に占めるプラスチックごみの削減に取り組んでいます。仙台市が今後更にプラスチックごみの削減やリサイクルを推進するための施策を検討するため、以下の設問へのご回答をよろしくお願いします。

（１８）仙台市では、営業ごみ（可燃ごみ）の内容物検査と、その結果を基にした訪問指導を実施していますが、産業廃棄物である廃プラスチック類の混入が減らず苦慮しています。廃プラスチック類が分別されにくい要因として思い当たることはありますか。該当するもの３つまでに〇を付けてください。

① 分別の方法やルールがわからない
② 分別して排出する必要があると知らなかった
③ 分別して排出する環境面でのメリットがわからない
④ 分別した後、処理の依頼先がわからない
⑤ 分別に手間がかかりすぎる、面倒
⑥ ごみを分別しない従業員への教育が難しい
⑦ お客様が店舗等のごみ箱に捨てたごみなので分けるのは困難
⑧ 汚れたプラスチックなので敢えて営業ごみ（可燃ごみ）に入れていた
⑨ 少量ならば混入させてもルールに違反しないと思っていた
⑩ 分別したプラスチックの処理の委託料金が高いと感じる
⑪ その他（詳細をご記入ください　　　　　　　　　　　　　　　　）

合　計	①分別の方法やルールがわからない	②分別して排出する必要があると知らなかった	③分別して排出する環境面でのメリットがわからない	④分別した後、処理の依頼先がわからない	⑤分別に手間がかかりすぎる、面倒	⑥ごみを分別しない従業員への教育が難しい	⑦お客様が店舗等のごみ箱に捨てたごみなので分けるのは困難	⑧汚れたプラスチックなので敢えて営業ごみ（可燃ごみ）に入れていた	⑨少量ならば混入させてもルールに違反しないと思っていた	⑩分別したプラスチックの処理の委託料金が高いと感じる	⑪その他	無回答
1191	231	165	72	101	318	199	72	352	65	125	79	188
100.0%	19.4%	13.9%	6.0%	8.5%	26.7%	16.7%	6.0%	29.6%	5.5%	10.5%	6.6%	15.8%

6 紙類について

仙台市では、古紙問屋等の民間事業者のご協力のもと、新たに事業系紙類回収ステーション制度を設け、事業系紙類回収拠点を増設する等、事業系紙類の減量とリサイクルを進めています。今後の紙類の削減やリサイクルを推進するための施策を検討するため、以下の設問へのご回答をよろしくお願いします。

（１９）仙台市では、リサイクル可能な紙類は、平成 17 年 4 月から焼却工場へ搬入できないことになっていますが、知っていますか。該当するもの１つに○を付けてください。

① 知っており、営業ごみ（可燃ごみ）に紙類を混入させないよう心がけている
② 知っており、心がけているが、ある程度紙類は混入してしまう
③ 知っているが、あまり気にしないでごみを出している
④ 知らなかった

※搬入受付で混入が認められた場合は、分別して(２０)の事業系紙類回収庫等に搬入するよう指導しています。

合 計	①知っており、営業ごみ(可燃ごみ)に紙類を混入させないよう心がけている	②知っており、心がけているが、ある程度紙類は混入してしまう	③知っているが、あまり気にしないでごみを出している	④知らなかった	無回答
1191	437	358	23	326	47
100.0%	36.7%	30.1%	1.9%	27.4%	3.9%

（２０）仙台市には、無料でリサイクル可能な紙類を持ち込める事業系紙類回収庫（環境事業所の敷地内、４か所）と民間の事業系紙類回収ステーション（19 か所）がありますが、知っていますか。該当するもの１つに○を付けてください。

① 知っており、利用したことがある
② 知っているが、利用したことはない
③ 知らなかった

合 計	①知っており、利用したことがある	②知っているが、利用したことはない	③知らなかった	無回答
1191	297	392	467	35
100.0%	24.9%	32.9%	39.2%	2.9%

（２１）事業所から出る新聞紙や段ボールなどの紙類について、分別回収の仕組みや回収拠点など、参加・協力できる取り組みが身近にあれば、協力しますか。該当するもの１つに〇を付けてください。

① すでに分別回収を実施している
② ぜひ協力したいと思う
③ 条件によっては協力したいと思う
④ わからない
⑤ その他 （※詳細をご記入ください ）

合 計	①すでに分別回収を実施している	②ぜひ協力したいと思う	③条件によっては協力したいと思う	④わからない	⑤その他	無回答
1191	622	127	259	128	14	41
100.0%	52.2%	10.7%	21.7%	10.7%	1.2%	3.4%

7 布類・衣類について

（２２）次の項目のうち、事業所から排出される布類・衣類の削減に向けて、制服・ユニフォームに関して「普段から行っている」又は「新たに取り組もうと考えている」に該当するものがあれば、すべてに〇を付けてください。

	ア 普段から行っている	イ 新たに取り組もうと考えている
① 制服・ユニフォームを可能な限り長く大切に着るようにしている		
② 制服・ユニフォームを適切にリユースしている		
③ 制服・ユニフォームを適切にリサイクルしている		
④ リペア（補修）をしている		
⑤ NPO などを通じて発展途上国等へ寄贈している		
⑥ 制服・ユニフォームを使用しているが、特に取り組みをしていない		
⑦ 制服・ユニフォームは使用していない		
⑧ その他（※以下に詳細をご記入ください）（ ）		

	合　計	①普段から行っている	②新たに取り組もうと考えている	無回答
①制服・ユニフォームを可能な限り長く大切に着るようにしている	1191	582	23	586
	100.0%	48.9%	1.9%	49.2%
②制服・ユニフォームを適切にリユースしている	1191	188	82	921
	100.0%	15.8%	6.9%	77.3%
③制服・ユニフォームを適切にリサイクルしている	1191	110	99	982
	100.0%	9.2%	8.3%	82.5%
④リペア（補修）をしている	1191	167	69	955
	100.0%	14.0%	5.8%	80.2%
⑤NPOなどを通じて発展途上国等へ寄贈している	1191	4	130	1057
	100.0%	0.3%	10.9%	88.7%
⑥制服・ユニフォームを使用しているが、特に取り組みをしていない	1191	52	42	1097
	100.0%	4.4%	3.5%	92.1%
⑦制服・ユニフォームは使用していない	1191	121	7	1063
	100.0%	10.2%	0.6%	89.3%
⑧その他	1191	12	7	1177
	100.0%	1.0%	0.6%	98.8%

8 循環経済の実現に向けた取り組みについて

（２３）事業所における「循環経済（サーキュラーエコノミー）」の認知度について、最も当てはまるもの１つに〇を付けてください。

①　よく知っており内容も理解している　　②　何となく理解している
③　聞いたことがある　　④　知らない

合　計	①よく知っており内容も理解している	②何となく理解している	③聞いたことがある	④知らない	無回答
1191	45	222	269	602	53
100.0%	3.8%	18.6%	22.6%	50.5%	4.5%

「循環経済（サーキュラーエコノミー）」とは、世の中に限りのあるあらゆる資源・製品・部品などの効率的な利用を進めることによって、付加価値を生み出し続けようとする新たな経済社会システムの概念です。

これまでの世の中は、大量生産・大量消費・大量廃棄を前提とした経済システムであったのに対して、「循環経済」は、製品やサービスの生産段階からリサイクルや再利用を前提に設計し、新たな資源の使用や消費を最小限に抑えるとともに、可能な限り資源を循環利用し続けることによって、資源の浪費に依存しない持続可能な経済発展を目指すものです。
「循環経済」には、事業者による循環性の高いビジネスモデル（循環経済型ビジネス）への転換も含まれます。
循環経済型ビジネスは、事業活動のサステナビリティを高め、中長期的な競争力を確保することにもつながり、「3R」の取り組みを超えた「経済と環境の好循環」を実現する新たなチャンスともいえます。

（２４）事業所の経営理念・方針や環境方針、事業戦略等に「循環経済（サーキュラーエコノミー）」の概念は盛り込まれていますか。最も当てはまるもの１つに〇を付けてください。

①　盛り込んでいる
②　今後盛り込む予定である
③　盛り込んでおらず、今後も予定はない
④　分からない
⑤　その他（※詳細をご記入ください　　　　）

合　計	①盛り込んでいる	②今後盛り込む予定である	③盛り込んでおらず、今後も予定はない	④分からない	⑤その他	無回答
1191	116	166	324	519	6	60
100.0%	9.7%	13.9%	27.2%	43.6%	0.5%	5.0%

（２５）「循環経済（サーキュラーエコノミー）」の認知度向上や、事業所が具体的な取り組みを進めるために、仙台市に求める支援策や仙台市が講じるべきと考える施策がありましたら、ご自由にご記入ください。

９　その他

（２６）仙台市がこれまで取り組んできたごみ処理施策や、今後のごみ処理施策の方向性などについて、ご意見などございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。
ご協力、誠にありがとうございました。

ご記入が終わりましたら、この調査票を同封の封筒に入れ、
令和６年１１月２９日（金）までにご投函ください。
切手は不要です。